

学校法人片柳学園 🔷

大学でも専門学校でも 片柳学園なら

多彩な進路が選べる!



日本工学院専門学校 校友会誌

〈蒲田キャンバス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 **図 0120-444-925** 〈八王子キャンバス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 **図 0120-444-903** https://www.teu.ac.jp/



蒲田キャンパス

デザイン学部 / ●視覚デザイン専攻 ●工業デザイン専攻

- ●リハビリテーション学科 [2021年4月新設(申請中)] 言語聴覚学専攻/理学療法学専攻/作業療法学専攻
- ●看護学科 ●臨床工学科 ●臨床検査学科

大学院 / ●デザイン研究科 ●医療技術学研究科[2021年4月設置(認可申請中・仮称)]※







八王子キャンパス

工学部 / ●機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科

コンピュータサイエンス学部 / 応用生物学部 / ●人工知能専攻 ●先進情報専攻

●生命科学·医薬品専攻 ●食品·化粧品専攻

大学院 / ●工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科







東京工科大学で学ぶ 〈学士〉取得

日本工学院から東京工科大学へ編入 〈専門士〉+〈学士〉取得

日本工学院で学ぶ (専門士)〈高度専門士〉取得











クリエイターズカレッジ

放送芸術科* 声優·演劇科*

演劇スタッフ科●* マンガ・アニメーション科四年制 ◆※*

マンガ・アニメーション科*

デザインカレッジ

ゲームクリエイター科四年制◆※ ゲームクリエイター科*

CG映像科(3年制)* デザイン科(3年制)*

グラフィックデザイン/イラストレーション/ インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻

ミュージックアーティスト科* プレイヤー/ヴォーカリスト/ サウンドクリエイターコース コンサート・イベント科*

音響芸術科* ダンスパフォーマンス科●*

ITスペシャリスト科(4年制)◆※* AIシステム科

情報処理科* ネットワークセキュリティ科* 情報ビジネス科*

秘書・事務/ショップ販売●/ホテル●コース

テクノロジーカレッジ

ロボット科●* 電子·電気科*

一級自動車整備科(4年制)●◆※*

自動車整備科●* 応用生物学科●*

建築学科(4年制)◆※*

建築設計科* 土木·造園科●* 機械設計科*

スポーツトレーナー科三年制 ●*

スポーツトレーナー科●*

スポーツ健康学科三年制●* スポーツインストラクター/スポーツビジネス/

スポーツ健康学科●*

スポーツインストラクター/スポーツビジネス/ サッカー/テニスコース 鍼灸科(3年制)●*

柔道整復科(3年制)●* 医療事務科●*

*職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり ※高度専門士付与学科 ●日本工学院専門学校のみ設置 ●日本工学院八王子専門学校のみ設置

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 **図 0120-123-35** 1 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 **図 0120-444-70** 6 https://www.neec.ac.jp/ 姉妹校:日本工学院北海道専門学校



学校法人 片柳学園

可引念

発行·令和2年7月31日 No.56





片柳鴻先生追悼特別号



Contents

片柳 鴻 学園葬 お別れの会1
近年の片柳鴻先生「想い出」 3
校友会会長 桂田 忠明5
日本工学院専門学校 理事長 千葉 茂6
校 長 前野 一夫7
片柳 鴻先生への追悼Message 8
片柳学園創立者 片柳鴻先生を偲ぶ 17
片柳鴻先生が残した作品 ····· 32
片柳鴻先生の主な画歴 34
校友会だより
令和元年度支部会員の集い
北海道支部
青森県支部/宮城県支部36
山形県支部/茨城県支部 37
首都圈支部/新潟県支部 38
富山県支部/石川県支部 39
長野県支部/岐阜県支部 40
静岡県支部/三重県支部 41
京滋支部/近畿支部 42
岡山県支部/広島県支部 43
山口県支部/大分県支部44
鹿児島県支部/沖縄県支部・・・・・・45
2019年度 校友会企画「特別講演会報告」 46

蒲田校 学科の変遷 5	6
写真でみる 校舎の変遷6	0
第54回 かまた祭 6	1
令和元年度 卒業証書伝達式6	1
懇親会·同窓会等 紹介6	2
地区支部長会6	3
キャリアサポートセンターからの報告 6	4
教職員退職者報告6	5
教員募集のお知らせ 6	5
校友会Facebookのご案内	6
ソーシャルメディアポリシー	7
「校友会ラウンジ」利用規定······ 6	8
かまた題字作家紹介 6	9
個人情報保護についての取組み 6	9
入学金免除制度 7	0
~会員近況メッセージ~ お元気ですか? ······· 7	1
「女子会」「ゴルフコンペ」開催しました!! 8	5
写真で見る懐かしの「日本電子工学院時代」 … 8	6
「再入学優遇制度」のお知らせ ······ 8	7
「教育訓練給付金」のお知らせ ······ 8	8
「若きつくりびと奨学金」のお知らせ 8	9
学校法人片柳学園 各学校のご案内表	4



2019年9月24日、片柳アリーナに於いて、片柳前理事長のお別れの会が行われました。

お別れの会は定刻通り14時に開式されました。導師読経、弔辞拝受、弔電拝受が行われ、葬儀委員長の千葉茂理事長より挨拶がなされました。

ご遺影は前理事長が描かれた絵をモチーフに生花でつくられた祭壇に飾られました。

前理事長には生前より多くの学生さんに見送られたいとの思いがあり、蒲田校・八王子校合わせて約450名の学生が参列しました。

また教職員とともに、教育界や企業関係からも数多くのご参列を賜り、約2,000名の参列者となり、前理事長のお人柄を感じられる場面もありました。

献花は一人ずつ行われ、数多くのご参列により予定の時刻を超えても献花の列が途切れることがありませんでした。













近年の片柳鴻先生「想い出」









1995年 アトリエでの絵画制作風景

創立50周年記念祝賀会での乾杯







2002年 北海道校創立20周年記念祝賀会

2003年 自らの絵を基にしたタペストリーの前で

2003年 石原慎太郎都知事(当時)と 片柳研究所棟を背景に











ロバート・ゼメキス監督に絵画を贈呈

2006年 学園祭でのあいさつ

2007年 蒲田キャンパス 12号館ラウンジにて学生と懇談









2007年 創立60周年記念祝賀会でのあいさつ 2007年 創立60周年記念祝賀会 教職員に送られて思わずバンザイ

2008年 体育祭でのあいさつ

2010年 ギャラリー鴻にて 「片柳鴻回顧展」を開催





2010年 蒲田キャンパス新施設完成記念祝賀会 祝賀会終了後に90歳の誕生日をお祝い



2011年 蒲田キャンパスにて奥様と花見



2012年 卒業証書授与式での祝辞



2014年 校友会通常総会での挨拶







2016年 片柳アリーナこけら落とし公演



2016年 蒲田キャンパス 学牛ラウンジにて学牛と懇談



2017年 旭日小綬章伝達式



2017年 叙勲受章を祝う会でのあいさつ



2017年 創立70周年記念祝賀会の 会場ロビーにて



2018年 ギャラリー鴻で 行われた「特撮のDNA展」にて

片柳鴻先生、長い間本当にありがとうございました。

Message

「片柳前理事長を偲ぶ」



校友会会長 桂田 忠明 放送技術部・昭和36年卒業 セントラル電子制御株式会社・最高顧問

2020年は、世界規模での新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、我が国では緊急事態宣言の発出など未曾有の 事態で始まりました。罹患された方々にお見舞い申し上げるとともに、治療や拡大防止に尽力されている皆様に感謝申し 上げます。本校卒業生の皆様方におかれても、少なからずお仕事、生活などに影響があったのではと案じております。当 校友会でも毎年6月に開催する通常総会を延期するなど、様々な活動が制限されています。一日も早い終息を祈るととも に、今後も訪れるであろう更なる困難も乗り越えていきたいと思います。

さて、早いもので、本学園創立者 片柳鴻前理事長(片柳先生)が 昨年8月15日にご逝去されてから1年近く過ぎようと しております。今の私には片柳先生への「感謝の言葉」しかありません。

昭和34年、国鉄京浜東北線沿いに完成したばかりの日本テレビ技術専門学校一号館の佇まいを見たラジオ少年だっ た私は、ここで勉強したいとの思いで、先生の門を叩きました。

卒業後の昭和48年に「自分が培ってきた技術を生かし、社会の役に立ちたい」と考え、蒲田の地に今の会社を起業し ました。会社に近い事から何かあるとすぐに学校に行き、先生方に相談に乗っていただいたり、多くの優秀な卒業生を社 員として送り込んでくださったりと、大変お世話になりました。それは、片柳先生が望む家庭的な雰囲気の学校だからこそ 出来たことだと思っています。

片柳学園は、テレビ技術からコンピュータ、そしてインターネットなど、社会が必要なものを先読みし、これに役立つ人材 を育て上げて来ました。先生の薫陶を受けた私も、通信機器の開発からスタートし、放送業界、国家プロジェクトへの参画、 現在は防災・防犯といった分野の製品開発等も手掛け、何が社会に必要なのかを常に考えながら会社経営を続けて参 りました。

毎年6月に行われる校友会の通常総会でも、私たち卒業生との邂逅を楽しみにしておられ、懇親会での会話を楽しま れた後、ご帰宅するときは「今日はこれで帰るからね…」と名残惜しそうにされていたことをよく覚えています。また、先生は 卒業生の活躍をよく話題にされ、「今度○○の業界で、○○くんがね…」などと、いかにも自分の事のように喜んでおられ ました。

また、お亡くなりになった前年の10月には、「かまた祭 | 開会式の直後、ご自身の執務室に戻られる途中、校友会ラウン ジに突然おいでになられたことがありました。そして、その場に居合わせた卒業生と楽しそうに語り合っておられました。

先生は口癖のように、「君たちが必ず『この学校を出た』と胸を張って言える学校にする」とおっしゃっていました。そして、 実際にその通りになっていると思います。この国の発展の一端に、数多くの卒業生の皆さんが関わっていることは周知の 事実です。現在もエンターテインメントの世界や、IoTの世界へと、羽ばたく人材を数多く世の中へ送り出しています。社会 に必要なものを先読みし、どんな分野へ乗り出すにしても「技術を通じて社会に貢献する」という私の思いは、先生から 教えて頂いたことです。そして自信をもって「本校を卒業した」と言える今の私は、幸せ者であり先生に対する感謝の念で いっぱいです。ありがとうございました。

この学校に先生が残した思いを、全卒業生との強固なネットワークを基に、伝え続けていくことも校友会の役目だと思っ ています。多くの皆様に校友会の行事へご参加いただき、私たちが本校で学んだことを次世代へ繋いでいこうではありま せんか。

片柳鴻先生のご功績を讃え、感謝の言葉といたします。



理事長 千葉 茂

| 創立者片柳鴻前理事長を偲んで |

片柳前理事長は昨年の初めから何回か心臓に問題を抱え入退院を繰り返すまで、まったく 体調に問題はなく、晩年においても周りの者に「死ぬ気がしない」と冗談を言うくらい、健康であ りました。私が知る限り恐らくこれまでの人生において病気で入院したことはなく、この事態もあま り現実的にはとらえられなかったように見受けられました。闘病中も頻繁に学校に出勤しており ましたし、今回も病気は克服できると信じていたようでした。一回目の東京オリンピック時には菊 池義郎先生からいただいた入場券によって、開会式を会場のど真ん中、天皇陛下の近くで見 たことが前理事長の自慢の一つでしたが、今年二回目となるオリンピックの観戦もさぞ楽しみに していたことと思います。

しかし、年齢的な衰えによる病気の進行には勝てず、医師の適切な治療と家族の懸命な看病にも応えられずに昨年 の8月15日逝去されました。

誠に残念なことだと、学校全体が悲しみに包まれ、前理事長の生前からの希望で執り行われた片柳アリーナでのお別 れの会にも、全国から多くの弔問客にご参列をいただきました。

さて、私が片柳学園に入職したのが、昭和58年の4月。今から37年前で、本当に長い間近くで仕事をさせていただきま した。存命なら今年100歳を迎えることから計算すると、私が入職したときは63才だったはずです。このころの前理事長は、 長年の念願であった、専門学校に加えて理工系4年制大学を併せ持つという目標を実現するために求めた八王子片倉 の12万坪にも及ぶ敷地にキャンパスを開設し、東京工科大学と日本工学院八王子専門学校を開校するという大事業を、 まさに陣頭指揮で行っておりました。

日本工学院専門学校(蒲田校)出身の皆さんには、大田区蒲田駅前の校舎が印象に残っているでしょう。八王子校 の方には発祥の地の話として読んでいただきます。

私が入職した昭和58年には、都心とは違った下町の情緒がまだ残っていて、和弓をやらせてくれる店舗が工学院通り にあったのは、強く印象に残っています。その当時は電子工学や情報処理の学生が大変多い時代でしたが、本校は前理 事長の教育に対するポリシーをみんなで守っていたために、他校の追随を許さない魅力ある学校でありました。何といっても 学校の理念である「理想的教育は理想的環境から」ということを実現し続けてきたその姿勢は大変勉強になりました。

昭和42年に完成した2号館は大変シャレたデザインのロビーを持ち、最上階には本格的ホールを設置し、何より特徴的 だったのは冷暖房完備の校舎であったことです。この時代としては大変珍しい、学牛の学習環境を思いやってのこの校 舎は大変革新的でありました。

学校の理念でもある理想的な環境を備えたキャンパスを実現するために、諸外国の優れたキャンパスや建築物の視察 ヘアメリカ、ヨーロッパへと訪問団を組織して出向いていたのもこの頃でありました。私も何回か同行させてもらいましたが、 一日に何か所も、場合によっては一日で二ヶ国の施設を見たこともあり、とにかく休むことを知らない、一つでもよきものを見 て参考にしたいというその執念とバイタリティはすさまじいもので、自分が同様の年齢になって初めて解る、その夢にかける 意気込みと行動力を改めて思い知らされる思いです。

こうした校舎の準備と並行して、土地開発において、大学の設置認可申請においても、実習機材調達など、金銭の問 題もさることながら、それ以外の問題も次々と起こり、これらすべてを解決できるのは前理事長を措いて誰もできないと改め て思うとともに、その年齢でこれを成し遂げるのは、まさに常人ではないことの一例です。そうした苦労の末に完成した夢の キャンパスも34年目を迎え、私が前理事長に助言申し上げ植えられた新入生を迎えるための桜もかなり大きくなり、春らし い見事な景色が学生諸君を楽しませているのも、思い出の一つです。

ここ数年は老朽化した蒲田キャンパスの再開発に全力投球されましたが、すべての校舎にそれぞれ深い思い出がある、 まさに体の一部を壊されているような思いであったのでしょう。壊されている校舎の光景に微動だにせずに立ち尽くされ ていたり、涙をぬぐうような場面もありました。発祥の地である1号館は過去には多くの水害にも見舞われましたが、学校と

しては日本一の音響スタジオがありました。2号館には多くの芸能人が出入りして全国放送が収録された本格的なホール が、3号館はわが校発展の象徴である城南地区有数の高層ビル、地下にはボウリング場がありました。4号館は専門学校 では稀有な豪華な内装の図書館。5号館1Fは日本で最初のコンピュータ教育をした学園の象徴的なマシン室、2Fより 上はタイムシェアリングシステムで大成功した情報教育の拠点、6号館は柴田病院から譲り受けたわが校の礎ともいえる工 学教育の拠点、その後の建物もそれぞれ強い思い入れのある校舎でした。そして、それぞれの建築工事は、一つとして簡 単に進んだものはありません。そうした思い出の深い校舎を壊してリニューアルをすることを決めたときには、良き仲間でも あり、ライバルでもある文化服装学院の新宿新校舎を目標に、それを上回る校舎を作ることに一心に取り組む前理事長で した。土地の買収や行政との調整など、それはそれは様々な困難を克服して蒲田キャンパスのリニューアルが完成し、誰 からも評価される環境が完成し、目標を達成した達成感と満足感を持っていたことに間違いはありません。そして長年にわ たった蒲田キャンパス再開発の最後の工事で片柳アリーナが完成しました。そこではNHKの番組収録などが感んにおこ なわれ、そのたびに収録の現場を見て、話を聞いてとても喜んでおりました。それが葬儀を執り行った自身の名前を冠した アリーナ、全身全霊をかけて骨身を削る思いで完成させましたが、それがなければまだまだ長生きしていたかも、という思い もありますが、天命と受け入れざるを得ません。

昭和22年、戦争により焼け野原であった大田区の一角に、日本の復興を願い小さな学び舎を立て、最初は近隣の人 たちのために英語やそろばんなど生きるための技能を身に着ける塾を開き、その後は編み物や絵画など創るという領域に 広げ、そして日本の復興の道筋が見えてきたころからは、テレビ技術、放送技術、音響技術、電子・電気、通信そしてその先 にあるコンピュータと、建学時の思いを実現すべく、まさに日本の発展に貢献することを一途に行ってまいりました。

片柳前理事長の戒名は 「天命院殿鴻阿献学創美大居士」

美を愛し、創意工夫を重んじ学業を通して社会に貢献するという、生き方すべてを表した戒名だと思います。



校長 前野 一夫

「片柳鴻前理事長を偲んで」

私が初めて片柳前理事長にお目にかかったのは2018年早春、(独)国立高専機構・木更津 高専の定年退職を前に、本学園への入職のための面接を兼ねて蒲田キャンパス3号館の20 階に伺った時でありました。私の父は明治43年生まれでしたので、片柳 鴻 先生は私の叔父 達の世代とお見受けし、その好々爺たる容貌に素晴らしい印象を受けるとともに、その昔、かの 地で戦火をかいくぐった精神の強さを垣間見、その御健康ぶりに驚いたものであります。

同年にお世話になってから、僅か2年弱の短い間でしたが、日々のキャンパスでのお話や会 議の折のお話に、教員であった私の父や叔父の言葉にもどこか相通ずるものがあり、いつも懐

かしく毅然とした雰囲気を感じておりました。本学園を創業し、我が国の科学技術の発展を先取りするように教育体制を 確立し、学生・教職員と共に活動し、蒲田キャンパスに代表される今日の学園の発展・降盛まで牽引した、その雄大な構想 力と具体的な展開力、実行力と持続力を支えていたパワーの源泉について、大学と高専の教育経験を有する私も、もっと もっとお伺いしたかったことがありました。

奇しくも令和元年に太平洋戦争終戦の日と同じ日の朝に旅立たれた片柳 鴻 前理事長、天国で待つ戦友・知人たち に、現代日本の繁栄と発展の歴史を担った人材教育に対する74年間の大活躍の成果を土産に、胸を張って会いに行 かれたことと確信いたします。

片柳 鴻 先生には、我が国の繁栄の後の様々な混迷状態が現れつつある現代こそ、私達が心迷うとき、空から常に 「あの日々を忘れず、新しく強い心に戻れ。真実はひとつ。若者に沿い、芸術の心、産業実学への精神を失うな。」と叱咤 激励し、本学園を担う私達が未来の日本に向けて産業教育の大きな構想を描き、地道な努力を重ねることができるようお 導きください。

創立者・校友会名誉顧問 片柳 鴻先生への追悼 Message



校友会副会長野里 和弘

「 片柳鴻先生ありがとうございました 」

大正9年10月8日(1920年)誕生日の片柳鴻先生、謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。 令和2年の今日、『片柳学園70年の歩み』を改めて拝見し、偉大なる功績は1985年の藍綬褒章、 2017年の旭日小綬章の受賞に鑑みても明らかです。

青森の野里は、1934年生まれ86歳、片柳鴻先生との忘れられない思い出が沢山あります。その中でも学生時代の事と、東芝小向工場に入社する際のことが印象に残っています。

先ず、初めて蒲田の学校の門をたたいた時のことです。二階建ての校舎に『第10期入学生募集』の乗れ幕と『日本テレビ技術専門学校』の文字が大きく見えていたのを、鮮明に覚えています。

私が上京して、蒲田の学校へ着いた時には雨が降っており、学校へ送った荷物を引き取り、背 負って寮まで向かおうとしていました。すると、声を掛けてくれた人がいました。そしてその人は、「タク シーで行く距離でもないから」と、親切にも傘をさして寮まで連れて行ってくれたんです。

当時、私のいた学生寮は、学校が民家を借り上げたもので、8畳間に6人…というのが当たり前でした。後日、その親切に傘をさしてくれた人が理事長、片柳鴻先生だったと知り、感謝したことは言うまでもありません。

次に、東芝へ入社する際のお話です。昭和31年当時、東芝は入社するのがとても難しい人気企業だったのですが、片柳鴻先生の紹介・テレビ研究科10期の枠で入社試験を受けることができました。

また、学校で学んだ技術が必要とされており、好待遇で東芝の小向工場へ入社させていただくことができました。入社後も、ラジオやテレビを組み立てるコンクールなどで優勝できたのも、学校で学んだことが活かされた結果だと思っております。

第1回校友会総会は、平成2年11月3日に蒲田校で開催されました。それ以来30年以上も校友会副会長という大役を仰せつかり、務めてまいりました。総会では、いつも冒頭で片柳鴻先生がご挨拶をしてくださいました。学生だけではなく卒業生の私たちまで大事にしてくださる片柳鴻先生のいるこの学校に入学して、本当に良かったと思っています。

こうやって幸せな時間を過ごして来られたこと、全て片柳鴻先生のおかげです。感謝してもしきれません。本当にありが とうございました。



校友会副会長新潟県支部長植木 敏郎

「片柳鴻前理事長を偲んで |

私は、校名が日本電子工学院の時代に、高度成長の波に乗り一生懸命勉強しました。その当時は夜間があり、立体製図という名前に憧れ、仕事より面白かったので専念しました。夜間なのに3人の女性がいて、授業が終わると、喫茶店でお茶を飲んでからアパートに帰った楽しい思い出もあります。夏休みが少しあり、図面の宿題がたくさん出され、汗をかきながら描いていました。授業は厳しく、社会に出て役立つことが目標でした。卒業後Uターンし、株式会社コロナでは立体製図が製造部門で役立ち、講師を頼まれうれしく思いました。

通学時、片柳理事長にお会いしたことはきっとなかったでしょう。仮に会っていても理事長と分からなかったと思います。初めてお会いしたのは、初代の新潟県支部長 鈴木さんから役を引き継ぎ、通常総会の前に集合写真を撮るときです。正直なところ、凄い威光を感じました。何とも言えない外に

発散するエネルギーも感じました。人数が多いのでカメラマンからOKが出るのに時間がかかります。理事長もニコニコしながらじっと待っているのが印象的でした。総会で理事長の挨拶は長かったのですが、話に引き込まれました。「来年も諸君と会うことを楽しみにしている」の言葉が聞かれなくなり、残念でたまりません。

今回、理事長の思い出を書くにあたり、いただいた2冊の『蘇る記憶をたどる』を読み返しました。片柳学園の発展は若き日の軍隊時代の経験が土台にあることが分かりました。私の父親も理事長より1歳年下ですが、ビルマ戦線まで行ったと聞いています。今思えば戦争の話を詳しく聞くべきでした。理事長の正確な記憶が後世に役立っています。

学園設立の創美学園の名前は、私が高校時代に新聞等で見た記憶があります。校名が時代の波に乗るように変更されて発展してきました。現在の日本工学院専門学校を誇らしく思います。理事長なら今、全世界で騒がれているグローバル化を否定する新型コロナウイルスを乗り切る方法を示されるように思えてなりません。雲の上から叫ばれていることでしょう。心で聞き取り新しい方向を見つけたいと思います。

『片柳学園は永遠に不滅である』



校友会副会長静岡県支部長奥川宏

「 片柳鴻先生ありがとうございました 」

○片柳先生ご指導大変ありがとうございました。九十歳を超えてもお元気で、「東京2020」と「百歳」を目指して日々を充実して過ごす姿を応援しておりましたのに残念です。厳しい仕事のお疲れを癒し、ゆっくりお休みください。

私は工学院への進学で、片柳先生の理想や志に触れることで、充実した人生を送ることができました。大感謝です。

○先生は入学時の「偉い人」という印象から、校友会員として接し「苦労の多い人生の貴重な大先輩」に変わり、関わりは18歳から数えて50年になります。卒業20年後に校友会静岡県支部の手伝

いをし、年1回の校友会通常総会での先生の講話を楽しみに「青春の思い出の地」であり「無線国家試験の地」蒲田に通いました。校友会行事に参加する中で、先生の絵画に触れ、八王子や蒲田の大壁画に感動しました。壁画高所手直しはご自身で行なわれたとか、すごい情熱です。会誌「かまた」表紙絵画も楽しみでした。頂いた著書も、戦争体験は従軍同志九割が戦死をするという壮絶な記録でした。国営放送朝ドラ制作陣の取材がくるほど、戦後からの蒲田の歴史を体現し、地域の人々との関わりを広く深く繋いだからだと思います。

○工学院の二年間は、仮面ライダーの敵「ショッカー」がコンピュータールームを飛びまわり、工学院ホールで有名歌手を追いかけ、正門で過激派アジ演説を聞き、三島由紀夫自決の報に驚き、二年次の夜間ソフト実習で夜の蒲田に驚き、ハワイ大学夏期講習感想を一時限話し、学園祭でハワイ大紹介にかこつけ航空会社ポスターを販売し、七万円売り上げて打ち上げを盛大に実施、同級生の急逝にクラス代表で参列、形見分けは遠慮したが彼の思いは胸に秘め、都会の孤独と戦い将来への夢を膨らませてくれたよい時間を川崎市の借り上げ寮で過ごしました。

○先生逝去の報を受けて、いましばらく校友会活動を頑張ります。見守ってください。ありがとうございました。



校友会副会長 熊本県支部長 清田 茂信

「片柳学園前理事長片柳鴻先生を偲んで」

私が片柳学園に入学した昭和46年当時、熊本から東京まで寝台特急でおよそ20時間以上を要していました。朝日が昇る頃に富士山を仰ぎ見、そして昼頃に学校の2号館の大壁画を列車の窓越しに見て、上京した実感と心がわくわくするような高揚感を覚えたことを今でも思い起こすことができます。

学園では電子計算機部ソフトウェア科に在籍し、3号館の教室と実習用大型電子計算機のある2 号館を行き来して勉学に勤しみました。

当時、電子計算機教育を全日制で1年以上の長期にわたって行っている学校は少なく、しかも最新の大型電子計算機を実習機として導入しているところは無かったと記憶しています。

その実習用機材の設備投資額は、周辺機器一式で(当時の価格で)1億2千万円もしていたことをずっと後に知り、驚きを隠せませんでした。

また、昭和44年に完成したばかりの近代的な建物の3号館地下には、当時流行していたボウリング場もあり、毎日のように通って学園生活と青春をエンジョイしていました。

片柳前理事長の教育理念である「理想的教育は理想的環境にあり」の恩恵を充分受けて、幸せな学生生活を過ごしていたものだと、今更ながら感じる今日この頃です。

この度の執筆の為、「片柳学園70年の歩み」や校友会誌「かまた」を読み返してみて、我が母校の素晴らしさと、片柳 先生の先見の明と、教育にかける思いをあらためて感じ取った次第です。

これから先、校友会 通常総会で先生の訓話が聞けないと思うと本当に寂しい限りですが、先生の教育理念や生き方を胸に刻み、私の残りの人生に活かすべく頑張っていく所存です。

ご冥福をお祈り申し上げます。



首都圈支部 副支部長 工藤 俊一郎

校友会堂任幹事

「 片柳 鴻・名誉顧問を偲ぶ |

片柳鴻·前理事長·校友会名誉顧問(以下"先生"と表記させていただく)が幽明境を異にされて数ヵ月経過したが、未だに片柳先生との思い出が走馬灯のように頭をよぎる。沢山の思い出の中から3点に絞り披露させていただき、片柳先生を偲ぶ言葉としたい。

片柳先生との初めての会話は、卒業直前の昭和40年3月下旬、本校CM制作のため北海道放送 (HBC)のインタビューを受けた日であった。北海道出身の私に白羽の矢が立ったのであろうが、HB Cのアナウンサーとディレクターの前であがってしまい、何を聴かれ、どう答えたか全く記憶がない。(同年のお盆休みに故郷で高校の同級生数人に会ったら、異口同音に「君はラジオで随分かっこいい事を言っていたな!」と言われたので、幾分かは効果があったのではと思うが…。) インタビューから解放されると片柳先生が待っていて下さり、「君はどこに帰るの?送っていくよ。 | と仰られて、片柳先生

が運転する真っ赤なスポーツカーのフォード・マスタングの助手席に五反田駅近く迄乗せていただいた。片柳先生は、運転しながら「2号館が完成したが、次は階段教室があるもっと大きな校舎を作りたいし、いずれ大学を開校したいと考えている」と明言された。これが、昭和44年11月に完成した旧3号館であり、昭和61年に開校した八王子キャンパスの東京工科大学と専門学校である。勿論、旧3号館の1階には、階段教室が設けられていた。

二つ目は、現3号館の建築が決まった時期で、評議員会の末席にいた私は、会議が終わると何度か理事長室に呼ばれ、片柳先生は「片柳アリーナ」の模型を示し、「新校舎と共に、このアリーナを建設すべきと考えるが、周りは中々賛同してくれない。君はどう思うか?」と聞かれた。私は、旧2号館の「日本電子工学院ホール」から毎日曜日の昼、TBSが人気歌手を揃えた全国放送の「ロッテ歌のアルバム」を生中継していたことを思い出し、「こうしたアリーナがあれば、民放各局は必ず利用しますよ。」とその都度答えた。そして後日、「日本テレビ副会長の間部 耕萃氏にも相談するので、君も同席して欲しい。」と言われ、平成19年7月5日、片柳先生の以前のご自宅であった田園調布の「国際交流館」で、間部さんとご一緒に美味しいディナーで歓待頂いた。片柳先生と間部さんとの交際は永く、日本テレビ「ズームイン!! 朝!」の制作に本校が協力したことにも繋がっている。因みに間部さんは、私が日本民間放送連盟の事務局長に昇格した平成16年4月に、同連盟の副会長に就任され、私が役員を退任した24年3月、同時に間部さんも連盟の副会長を退任されていて、深いご縁があった。日本民間放送連盟は、毎月、理事会と会長・副会長会議を開催していて、私は会議終了後毎回、間部副会長を車迄お送りした。その際、間部さんから頻繁に「片柳理事長は、お元気?」と聞かれた。そして「大変お元気です。先日の評議員会では、学園運営に関し滔々と持論を述べておりました。」などと報告すると、間部さんはその都度、笑顔で「それは良かった」と言って車に乗られた。間部さんは、7年前の平成25年5月に他界されたので、今頃お二人は天国で、懐かしい思い出話に花を咲かせていると思う。なお、日本テレビは、早くから「欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞」等の収録に「片柳アリーナ」を利用している。

三つ目は、校友会でのご縁である。片柳先生は、常に卒業生を大切にされると共に、テレビ学校時代の古い卒業生に会うことをとても楽しみにされていた。全国及び韓国、台湾の各支部長が出席し毎年6月に開催する通常総会には、本来は休みの土曜日にも拘わらず登校され、支部長らに親しく声を掛けていただくと共に、会議冒頭にご挨拶を頂き、支部長らとの集合写真に納まっていただいた。こうした折、現3号館の建築が決まり旧1号館は取り壊されると伺った。旧1号館は、昭和33年完成の当時珍しい扇型の校舎で、屋上の「日本テレビ技術専門学校」の看板が特に目立つものであり、この校舎に憧れて入学したと言う卒業生が、私を含め多かった。そこで、取り壊すなら校友会が買上げ、屋上に「校友会会館」と表記すれば、片柳先生が実践する卒業生を大切にする学校であることを広く世間に周知できるのでは、と提案したしかし、先生は即座に、「この建物を残すには、現行の建築基準法に合致させねばならず、膨大な経費を要する。代わりに新校舎の12階に校友会の部屋を提供しよう。」と仰って下さった。後日、レイアウト図面を持参すると、「そんな空疎な事務室ではなく、卒業生がいつでも利用でき、気楽にゆったりと過ごすことが出来る、空港のビジネスクラス用ラウンジ風にすべき。」さらに、「名称は『校友会ラウンジ』が良い。内装は私に任せて欲しい。調度品は学園から提供する。私の絵も提供しよう。」と仰っていただき、片柳先生が描いた「桂林の朝」が掲げられた「校友会ラウンジ」が実現した。

このように、片柳先生は常に社会のニーズをいち早く察知し教育科目に取り入れ、真に社会に貢献する人材育成を断行すると共に、卒業生に気を配り、卒業生を大切にする偉大な教育者でもあった。私たち卒業生は、こうしたご恩を決して忘れず、それぞれの分野で引き続き社会に貢献して行きたいと思う。片柳先生、本当にありがとうございました。(合掌)



校友会常任幹事 茨城県支部長 廣瀬 憲治

「 片柳鴻先生ありがとうございました |

昭和45年4月 大田区体育館 日本電子工学院入学式 私は新入生として参加しておりました。 ちょうど50年前です。それまで片柳鴻先生とはお会いしたことはありませんでしたので、特に関心がありませんでした。授業が始まるようになりしばらくして、学校内にボウリング場の設備が有り、学生も職員の方々もプレイしているのが分かりました。まさか理事長先生がその中におられるとは思ってもいませんでした。楽しい学校、面白い学校と思いながら勉強することが出来ました。

卒業後しばらくして校友会発足の知らせが届き、学校が懐かしく、参加していました。あるとき茨城県支部長が体調を壊し、代わってほしいとの申し出が有り、交代することに。そして通常総会に出席することになり、毎年学校へ行くようになりました。理事長先生の優しく、楽しい話を聞かせていただき、通常総会が楽しみになりました。

あるとき理事長先生から、戦争中のインパール作戦の話をして頂きました。衝撃でした。日本は焼け野原でした。そこで終わるのが普通です。でも先生は皆のためにと、学校を創られたそうです。今蒲田に、当時では考えられない規模で素晴らしい学校が出来ています。理事長先生の思いがここにあります。学校は私たちの心の拠り所となっています。

これからも学校に協力していきたいと思います。

片柳鴻先生有難うございました。

心からのご冥福をお祈り申し上げます。



校友会地区幹事岩手県支部長阿部 富美雄

「片柳鴻前理事長への感謝」

私は、オリンピックも終わり、カラーテレビが世間に出回り、本格的にカラー放送が始まり、テレビ時代が到来したときに日本工学院専門学校に入学しました。

田舎から出てきて驚いたのは、最高の設備が揃っていて、多くの学生がいたことです。そして、初めて見る日本工学院ホールは圧巻でした。この学校で学べる喜びと、希望に心弾ませながら毎日を過ごしました。

入学して1年過ぎないうちに2号館にコンピューター室が出来ました。学校からのテレビ中継も始まり "最先端を行く電子の専門学校"と自慢でした。この先どのように変わっていくのかな、もっと進化するのだろうな、と思ったものでした。

卒業して校友会に携わり、毎年、蒲田の学校に行くたびに新しく変わっていきました。八王子校も、テレビ、映画のロケ地にもなるほど芸術的な素晴らしい学校となりました。

2016年6月に現在の蒲田キャンパスが完成し、片柳アリーナの杮落としにおいては、アリーナ両壁面に展示してある絵画 (※注)に圧倒されました。全国どこを探しても、アリーナ内部に絵画が展示してあるということはないでしょう。前理事長の画家としての情熱を感じました。(※注 通常、絵画は別室に保管してあります。)

学生時代には会うこともなかった前理事長、校友会の通常総会に出席して、初めて身近で会うことが出来ました。優しそうで、品格、風格があり、私とは違う世界の人だと感じました。

今も思い出されるのは、戦争で苦労なさったお話です。現在では経験することの出来ない貴重なお話でした。

戦争での大変辛い経験があって、それを乗り越えて、終戦後に蒲田で美術学校を立ち上げ、テレビ専門学校、そして 工科大学を設立。蒲田キャンパス、片柳アリーナが完成、と大きな事業を成し遂げられ、素晴らしい学校を築き上げられた 前理事長の多くの功績に触れながら、校友会活動や多くの経験ができたことに心から感謝しています。

これからも、ますます片柳学園は発展していくことと思います。

片柳 鴻さま ありがとうございました。



校友会地区幹事 長野県支部長 峯村 理雄

「片柳鴻前理事長を偲んで |

私が日本工学院専門学校(JEFF本電子工学院)で学んで、現在に至るまでに「片柳前理事長は、 私の生き方の道標になった方し、何度となく思うことがありました。

学校の創立者でもあった前理事長の片柳鴻様が「創美学園」を創立された昭和22年に生まれ た私は、高校を卒業して、専門学校で電子技術を学んで社会に出て働きたいと思い、日本電子工 学院の電子工学部に入学することを決めて上京致しました。

それからの学校で学んでいたことが、私の将来を決定付けるとは思ってもいませんでした。在学中 に、テレビ局の下請けのテレビ番組制作会社でアルバイトをしていた時に、長野にも民放テレビ局が 出来て、アルバイトをしていたテレビ番組制作会社も、そこで「テレビ番組制作 | や「送出 | などの部門 を請け負うので、働いてみないか、とのお話がありました。

故郷に帰ってからも学校で学んだ技術を活かすことが出来るということは、この上ない幸運な事であったと思います。 片棚前理事長と在学中にお会いすることは稀で、もちろん、お話をさせていただいたことも有りませんでした。ですが、学校 を卒業して、数十年経って校友会 長野県支部長に任命されてからは、毎年開催される校友会の通常総会で、片柳前 理事長から、高齢になっても人生の導きを賜る様なお話を拝聴することが出来ましたことは、私にとっては仕事や人生の 励ましになり、人生の大きな糧でもありました。

私より二十数年も年上の方でしたが、今まで励ましのお言葉をいただき、人生を歩んでこられたことに多大なる感謝をし ております。

日本工学院では、技術を学んだことと共に人生の道標も学ぶことが出来たのも、前理事長の片柳鴻様のおかげだと思 い、これからもこの気持ちを忘れることなく生きていきたいと思います。

あらためて片柳鴻前理事長のご冥福をお祈り申し上げます。



校友会地区幹事 福岡・佐賀支部長 穴見 誠

「 故片柳鴻先生の思い出 追悼の意 |

日本工学院専門学校 創立者 片柳鴻先生が令和元年8月15日に98歳でご逝去された事を 聞き、心からご冥福をお祈り申し上げます。

私は日本工学院 電子工学部に昭和43年4月入学して45年3月に研究科を卒業。卒業後、丁 度50年に成ります。

在学中、東京五輪のNHKテレビ放送で先輩が協力、活躍したと聞きました。テレビは白黒からカ ラーへ、真空管は半導体(トランジスター)に変わりつつあり、アポロ11号が月に、人類が第一歩を踏 み出した技術革新の時代でした。

学校には大型電子計算機(コンピューター)が導入され、ソフトウエアコース、ハードウエアコースがあ り、コボル・フォートラン・アッセンブラー…私には新鮮な言葉が飛び交いました。

当時、電気・電子は男性の世界でしたが、ソフトウエアコースで女性のプログラマーを養成し、女性へエレクトロニクスの 道を開いたのだと思います。

現代、半導体はトランジスターからIC→LSI→超LSIと進化しました。コンピューターは小型・超高速・高性能になり、 IoT・AI・5Gへと進化しました。

先生が先を見越した、"最先端の教育環境"を整えていただき、基礎から現場に通用する実学教育のお陰で、広く社 会に貢献できた事に感謝いたします。

学校を訪問して、画伯:片柳鴻 先生の絵画を見る事が楽しみです。

「絵画は額が大切だ|「教育環境は額だ|と、お聞きした事があります。

我々卒業生は、「教育環境 |という「額 |の中に描かれた作品ではなかろうかと思います。

本年、令和2年は、新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し、学校は休校、経済は世界中が底の抜けた状態です。 新型コロナウイルス感染症に対し、先生がどのような対処をするのか、お話を聞けないのが残念です。

日本工学院卒業で良かった。有難う御座いました。



校友会会計監査 三重県支部長 平井 正博

「 片柳 鴻 前理事長の思い出 |

約50年程前、電子工学部10期研究科在学中の私は、かまた祭で最新のTVカメラを使って実習 風景を紹介していました。

その時に丁度TV収録(生放送)も有り、歌手の「ヒデとロザンナ」さんがゲストで来ました。かまた 祭の屋台の焼きそば店主を片柳前理事長が演技されて、ヒデさんが『おじさん・・焼きそば二つ下さ い!!」…と 言ったところへ、私が登場して『理事長、お電話がかかってます』…前理事長が『今、忙 しいので、君が代わりに要件を聞いて下さい『って返事に、ロザンナさんが『えーっ、この人がこの学校 の理事長??』・・・と言うコントをさせて頂きました。翌日クラスメートから、『平井君、理事長とのコント、TV で見たよー』と言われました。研究科の卒業時は諸先生方や片柳前理事長の御理解も有り、教職 員として学園の広報部に採用されました。旧3号館の10階がオフィスで11階が理事長室でした。帰

り際に『お疲れ様・』とよくお声掛け下さいました。ある時、「ヒデとロザンナ」のコントの話をしましたら、片柳前理事長もよく 覚えていらっしゃって、『私は、忙しいので代わりに電話に出て…なんて言った事ないけど…』と笑みを浮かべておっしゃっ てました。約4年程教職員として片柳前理事長にお世話になり、寿退職で郷里の三重県に戻りました。其の後、十数年 後、校友会が各支部を置いて正式にスタート。私は、三重県の代表として通常総会に出席、ある年の懇親会が蒲田駅前 であり、学園に戻る時、久し振りに片柳前理事長と二人で並んで歩き、『君は、関西の方だったね・・』『はい、三重県です』 『あぁ伊勢神宮のあるいい所だねー』と楽しく会話したのを思い出します。

近年は校友会の通常総会でお会いし、目が合うと『元気にしてますか??』とお声掛けして頂いておりました。

この様に個人的に沢山の思い出や感謝が有ります。しかしもっと記する事が有ります。

それは、高校生だった時、東京には、この種の専門学校が4~5校有りました。資料や学校見学をして、蒲田の片柳学園 を選んで入学した事、学園は蒲田の地でどんどん発展し、片柳氏の教育理念の基、母校が大きくなり、卒業牛として大変 嬉しく思います。もし高校生の時、他の専門学校を選んでいたら、母校の衰退又は母校が無くなっていたかもしれません。

末筆ながら重ねて故 片柳 鴻 前理事長に感謝と御礼を申し上げまして、つたない追悼文といたします。



校友会会計監査 群馬県支部長 山口 剛

「 片柳鴻前理事長ありがとうございました |

片柳鴻前理事長、98年間の長い人生お疲れさまでした。

私は蒲田で通信技術を学び、大手オーディオメーカーで働くことができました。これもひとえに時代 の先を行く教育のおかげです。

その後、学校を卒業して十年後に群馬県支部の支部長になりました。毎年蒲田に行くたびに、校 舎はきれいになり、新たな施設も増えていくことにとても驚きました。

特に、片柳アリーナの完成記念公演にお呼びいただいたときのことが印象に残っています。4000人収容可能なその大 きさは圧巻で、外観、内観ともにとても美しいものでした。先生が培ってきたデザイン設計のノウハウの集大成といえるので はないでしょうか。

学科も次々に増え、卒業生である私もわくわくさせていただいてます。 本当に私たちの学びの舎をここまで大きく成長させていただき、心より 感謝申し上げます。また、支部長全員に先生から絵をいただくことがあ りました。絵画に造詣の深い先生の絵はすばらしく、今も自宅に大切に 飾っております。片柳鴻前理事長ありがとうございました。

この度は誠にご愁傷様でございます。心よりお悔やみ申し上げます。





校友会顧問 佐藤 博治

「追悼 片柳 鴻 様 |

「突然の手紙でびっくりされると思いますが、やはりお便りをさせて戴きます。最初は、理事長が執筆された『片柳学園70年の歩み』を読ませて戴き、その所感と言いますか、感銘を受けた事をお伝えしたいと、ペンを執ろうと考えました。が、余りにも失礼かと思い留まっていました。しかし先の校友会総会での理事長の我々に対する心遣いに接し、どうしても私の思いを伝えたく、認(したた)めさせて戴きます。 | 数年前、こんな書き出しで鴻前理事長に手紙を差し上げました。

「校友会通常総会の折、挨拶の最後で理事長は、わざわざ演壇から降りられ、私たちに『お元気で・・・』との言葉を掛けて戴きました。高齢であり、最後まで、楽な姿勢でご挨拶を戴ければ良いのに若輩の我々に対しての心配りは、本当に敬服いたしました。何気ない振る舞い、心遣いに尊敬の念

を感じた次第です。この一連の所作に人生の先輩、学校経営者としての『心』を感じました。

また、著書の中で、戦後の荒廃した時代に学園を創立した思いや、次々と校舎を建て、壊し、新しい学部を作り、時代に即した教育環境を作っていく、何故にここまで新規事業を立ち上げていくのか疑問も感じていましたが、ほんの少しですが理事長の思いに近づけた感じがした次第です。

余談ですが、著書の中に数行ですが、蚊帳を調達する件があります。これには思わず頷きました。と言うのは、私は今でも夏になると蚊帳を愛用しています。家族5人が、一つ蚊帳の中で就寝した子供のころ、あの想い出が詰まった風景を思い出すからです。」

取り留めのない内容の手紙です。その後は、故郷へ帰り、運良く地元の放送局で職を得た事など、私の半生を紹介させて戴きました。

何気ない行動の中に品位を感じさせて戴いた鴻理事長、人と成りを私たちに教えて呉れた鴻理事長に対し、尊敬の 念は冷める事がありません。

改めて、片柳鴻前理事長のご冥福を祈ります。



校友会顧問 大谷 正勝

「 創立者・前理事長 片柳鴻先生の思い出 」

私は教員として、定年後は非常勤講師として、学園に通算43年間お世話になりました。

この間、学生への教育活動を通して多くを学ぶことができ、誠に実りの多い学園生活でありました。 これも偏に創立者・前理事長である片柳鴻先生の、どなたにも分け隔てなく接し、導いてくださった 賜物と感謝申し上げる次第です。

先生は学園発祥の地、蒲田に第一歩を記されて以来70有余年、稀有な才能を駆使されあらゆる 困難を乗り越え、蒲田、八王子、登別に一大学園を築かれました。

この偉大な事業を成し遂げられた根源は、学園諸行事での挨拶等からの推察ではありますが、 「戦争を潜り抜けるなど厳しい時代を歩まれた経験から、これからの社会の発展、世界の平和のためには若人の教育が最も大切である」との判断がお有りになったからと思っております。

世人からみますと、先生は及びもつかない足跡を残されましたが、日頃は大変気さくで何方にも慕われるお人柄でした。 過日を振り返りますと、先生の思い出は走馬灯のように脳裏に去来しますが、お人柄を示す一事を披露したいと思います。

昔日のことですが、ある方の入院見舞いのために外出準備をしておりますと、先生は私も見舞いに行くので同乗しなさいとお声がけくださいました。電車で参りますと辞退しましたが、再度おっしゃるのでご厚意に甘え同乗させていただきました。車内は暑いだろうと冷房を入れて下さいましたが、先生を拝見しますと何とひざ掛けで覆っていらっしゃるのです。

この様に、何時もご自身より先に周りの者へ気配りくださる心の優しい方でした。この事は私にとり、先生の心根に触れた忘れられない一コマとなっております。

先生の相手を気遣う振舞は枚挙にいとまがなく、多くの方が随所で感じておられたのではないでしょうか。

長年にわたって先生のもとで、多くの方々と学園発展の一翼に関われたことは誠に幸いなことでございました。 ここに先生の在りし日のお姿を偲び、小からご冥福をお祈りいたします。



校友会顧問 平松 義雄

「 片柳学園創立者 片柳鴻様を偲ぶ |

片柳学園創立者、片柳鴻様が令和元年8月15日、98才にてご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。

終戦後間もない昭和22年、一面焼野原となった戦災の傷跡も生々しく残る蒲田の一角に戦災の 灰塵を払い、学舎を建て、創美学園を創立し、絵画、洋裁教育を始められたのが片柳学園沿革の 第一歩であります。

昭和28年2月、NHK東京テレビ局がテレビ放送を開始すると、テレビ技術者の養成が急務であると考えて木造二階建て校舎を建築し、学校長に大塚雄二氏を迎え、昭和28年9月、日本テレビ技術学校を開校しました。

片柳理事長は「理想的教育は理想的環境にあり」との理念に基づき、最新の設備を整え、学科を新設されました。 昭和33年、全国にテレビ放送局が相次いで開局すると、当時放送局にしか無かったイメージオルシュコンテレビカメラ 装置等テレビスタジオ装置一式を一号館2階に設置、テレビスタジオ実習室とし、昭和33年10月、放送技術部を新設しました。

更に、昭和41年、我が国の電子計算機台数は3,000台に達すると、将来コンピュータ教育が必要と考え、昭和41年5月、日本電気の大型コンピュータNEACシリーズ-2200-モデル200を導入、二号館2階の1室を改造して電子計算機教育センターとし、万全の体制を整え、同年10月、電子計算機部ソフトウェアコースを新設しました。

また、創立当初は芸術分野の教育を中断し技術教育に専念されましたが、芸術分野の教育は常に片柳理事長の心組にあり、今後は工学と芸術の総合教育が必要と考え、昭和50年、新たに芸術学部を設け、三号館地下2階ボウリング場を解体してテレビスタジオに改造し最新のスタジオ装置を導入、昭和50年4月、放送制作芸術科を新設しました。

昭和52年、創立30周年を記念し、専門学校として理想的実験・実習設備の充実を図るため、工学部実習棟として六号館を建設、更に、芸術学部の実習設備の充実を図るため、三号館地下2階の電気工学科実験室を移設し、第二テレビスタジオに改造し、最新のテレビスタジオ装置を導入、更に、一号館1階、2階に最新の録音スタジオを新設しました。

また、創立30周年記念事業として、専門学校として初の、独立した約5万冊の蔵書を誇る図書館が昭和55年3月完成致しました。

昭和54年7月、北海道登別市長より片柳理事長宛に学校を誘致したい旨の要請を受け、検討の結果、北海道進出を決定、昭和56年10月、本部棟、教室棟等が完成し、翌年4月、新入生570名を迎え入学式が挙行されました。

昭和47年、片柳理事長は専門学校教育だけでなく総合的高等教育機関として大学設立構想を打ち立て、昭和55年春、八王子市片倉町の一角に建設用地を取得しました。建設に先立ち、世界の近代的大学としてアメリカ、カナダの大学を視察、それを糧として、模型を造り慎重に計画し、芸術的情操教育の一助として、随所に彫刻を点在させ、片柳理事長の描かれた陶壁画が各所に嵌め込まれ、昭和61年4月、東京工科大学が開学、昭和62年4月、八王子専門学校が開校し、素晴らしいキャンパスが昭和63年10月完成しました。完成すると再確認のため、昭和63年10月、再びアメリカ、カナダを視察され、前回視察の際は、規模は小さくとも内容で世界一のキャンパスを造るのだと言われましたが、今回の視察の最後に一言「間違っていなかった」と言われたことが今も忘れることが出来ません。

平成22年、蒲田キャンパス再整備計画として近隣の皆様の協力により用地を買収し、蒲田地区のランドマークタワーとして地下1階、地上20階建て新校舎三号館が平成22年2月完成。片柳理事長は、卒業生の皆さんへの感謝の気持ちを込め、皆さんの憩いの場として、12階学生ラウンジの一郭に「校友会ラウンジ」を設けられました。

更に、創立70周年記念事業としてセントラルプラザの地下4階に4,000名収容の多目的ホール「片柳アリーナ」と、実習棟、クラブハウス棟、が平成28年6月完成致しました。

片柳理事長は、永年に亘る功績により昭和60年春、叙勲において藍綬褒章、平成29年春、叙勲において旭日小綬章を賜りました。

長年に亘り社会の要請に応え、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、 東京工科大学、東京工科大学附属日本語学校の5校を設立され、素晴らしい功績を残されました。

片柳理事長の功績総てを語り尽くすことはできませんが、在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈り致します。

(合掌)

2017 (平成29) 年6月10日(土) 第28回 校友会通常総会記念写真 3号館1階 エントランスホールにて







2018 (平成30) 年10月27日(土) 校友会ラウンジを訪れた片柳先生



1920(大正9)年~2019(令和元)年

片柳浮園創立者片柳鴻先生を偲ぶ

片柳学園創立者、片柳鴻先生が令 和元年8月15日、98才にてご逝去さ れました、謹んでお悔やみを申し上 げます。

片柳鴻先生は永年に亘り社会の要 請に応え、専門学校として日本工学 院専門学校、日本工学院八王子専門 学校、日本工学院北海道専門学校と、 東京工科大学、東京工科大学附属日 本語学校5校の設立に全力を尽くさ れ素晴らしい功績を残されました。

そこで今回、片柳鴻先生の歩んで きた軌跡を年表と共にご紹介するこ とといたしました。



年月日

1920(大正9)年

10月8日 析木県安蘇郡植野村に、四人兄弟(姉一人)三男として生まれる。

1936(昭和11)年 ■画家をめざして単身上京。藤倉工業に一時勤務後、東京芝浦電気株式会社が新設す る学校の機械工学科に入学。



16才 画家を目指して 单身上京

● 大きな夢を持って上京する

将来の希望を目指し、16歳にて叔父を訪ねて単身上京する。東武線浅 草雷門駅で下車し、タクシーに乗り、運転手に行先のメモを渡す。一抹 の不安を抱えながら、無事に叔父の家に到着。挨拶を交わした後、6畳 間へ通され、そこが私の部屋となり、しばらく厄介になる。



放電管技術課勤務する。





東芝勤務時代▶

年月日		主な出来事	
1941(昭和16)年 2月	20歳になり、徴兵され国民の兵 役義務を果たすため、赤坂一ツ 木町の東部62部隊入営。 以降軍事訓練を受ける。		
7月	戦地に派遣され、中国河北省渤 海に上陸。天津、石家荘、太古を 経由して太原に向かう。		
12月	真珠湾攻撃、大東亜戦争が勃発		6 65
	し、船団を組んでタイに到着。 	習志野演習場にて 軽機関銃の演習	入隊1カ月のある日
1942(昭和17)年 2月	ビルマに入国し、モールメンに向かう	5.	
5月	ビルマ平地作戦における戦死者全員	はの遺骨を宰領する命を受け	ける。
7月	ビルマのラングーン港より大阪港に グーン港に戻り、各部隊に復帰する。		せ、10日間の休暇後ラン
9月	インパール作戦の前哨戦のため、イ 務機関へ配属される。	ンド国境近くのカンゴーに	到着。中隊に復帰後、特
1944(昭和19)年 3月	インパール作戦開始。当初有利に作り	戦を展開したが、戦局が不利	川になり、その後敗走する。
1945(昭和20)年 8月	モールメンまで撤退し、新たな命令 虜収容所において8ヶ月間の捕虜生		え。タイのナコンパトム捕

● 東芝に復帰する

8月 東芝の蛍光灯技術課に復職勤務し、大森山王の東芝社員寮に居住。

1946(昭和21)年6月 神奈川県浦賀港にて復員。その日のうちに故郷に帰る。

蛍光灯技術課のメンバ―は全員以前と変わって いる。昼食後記念写真を撮る。東芝川崎のこの 場所は現在の川崎市の発展に協力し、市街地と なり超高層ビルが建ち並び近代都市に発展、変 化している。尚、現在東芝本社は東京湾に面し た芝浦に超高層ビルを建設、シンボルタワーに なっている。戦後のサラリーマンは、当時衣類が 不足しており、軍隊帰還兵は元の軍服を利用し て通勤していた。



1947(昭和22)年 | 『創美学園』創設。絵画を勉強したく画家の先生に相談すると、自分で学校をつくり絵画 の勉強をしたらと助言され、学校教育に携わる出発点となる。終戦後間もない昭和22年、 一面焼け野原となった戦災の傷跡も生々しく残る蒲田の一角に戦災の灰塵を払い、学 舎を建て、創美学園を創立されたのが片柳学園沿革の第一歩です。

年月日

主な出来事

1949(昭和24)年

二足の草鞋は無理と東芝を退職し、学園づくりに専念。編物に加え、珠筧、英語などの教育 の発想が浮かぶ。片柳鴻デザインのセーターを美空ひばりさんが購入し、注文が殺到する。

1950(昭和25)年 珠算科と英語科を開設。珠算界の最高権威を顧問に迎え、生徒数が1.000名を超える。 この年結婚し、その後娘2人が誕生。

● 結婚生活

私は結婚することになり、家を建てなくてはと思ったが、校舎増築に資金を使い果たし、住まいを立 てる資金もなく大工の棟梁小林さんに、金は一銭もないが住居を建てたいと相談したところ、建て ましょうという返事だった。私は初め冗談かと思い、再度「本当に一銭もないのですがそれでも建て て頂けるのですか、なぜ故ですか」と尋ねると「信用していますから」との返事だった。私は、その言 葉に信用というのは無形の大きな財産であると思った。さっそくお願いし、小さな家だったが私の 住居としては十分だった。信頼のもとに住居が完成し、結婚後その新居で娘2人が誕生した次第で ある。その後、棟梁の小林さんには予定の期日より早く借金を返済し、その後も長期にわたり交際 し、お互い協力し合いともに発展した。私はこのことを一生忘れず今日まで感謝している。また、こ のことを後輩への教えとして、社会生活において信用こそ最も大切なことであると伝えている。人 間社会において最も重要なことは信頼されることである。

1952(昭和27)年 地元の要望に応え、幼稚園部を開設。

1953(昭和28)年 『日本テレビ技術学校 □ 設立。テレビジョン本放送が開始されたこの年に、我が国の発展 成長に貢献するために、テレビ技術者養成を開始する。



● 日本テレビ技術学校の開校

我が国でテレビ放送が開始されると、テレビ技術者の養成が 急務であると考えられ新校舎を建設し、実習設備として17 **时テレビが25万円と高価な時代に、テレビ受像機、オシロス** コープ、スィープゼネレータ、マーカーゼネレータ各6台、テ スター10台を揃え、昭和28年9月、日本テレビ技術学校を開 校されました。当時はテレビの放送時間も1日4時間と短く、 テレビも高価であり、第1期夜間部入学生も当初予想の80名 よりはるかに少なく経営も苦しく、片柳理事長自ら立て看板、 ポスターを作り、自転車やリヤカーで都内はもとより、神奈川、 埼玉まで足をのばし看板を立て、ポスターを貼るなど学生募 集活動をしました。

学生募集に走る片柳鴻先生

1954(昭和29)年 読売新聞社社長、正力松太郎氏がテレビ普及のため都内55ケ所に200台を超す街頭テ

レビを設置し、プロレス等の放送で街頭テレビには黒山の人だかりとなりテレビの普及 に貢献された。

1955(昭和30)年 編物科、洋裁科、英語科の申し込みを停止、幼稚園は移転し、創美学園を廃園とする。 この頃、東芝のテレビ受像機組立作業に本校が技術協力。産学協同の端緒を拓く。

1956(昭和31)年 学校法人の認可を受け、理事長に就任。テレビ 技術者養成の専門教育機関として、名実ともに 体制を整える。

● 通勤前の一時

田園調布に住まいを移してから間もなくの頃、早朝出 勤時には家族が玄関前で見送りをしてくれた。或る日、 子供二人と共に玄関先に出て三人で撮った一コマ。



18 片柳鴻先牛を偲ぶ

年月日

主な出来事

1957(昭和32)年 プレビ受信契約数も50万台を突破し、入学生も急増したことから隣接地561㎡(約170 坪)を購入。当時は年4回入学式、卒業式が行われていたため12月の卒業式を1週間繰 り上げ、購入した土地に木造2階建て校舎を移設し、翌年1月15日までに完了し16日無 事、新入生を迎え入学式を挙行することが出来ました。

1958(昭和33)年 く1号館の建設>

年々入学生が増加し入学希望者に対応するため、 移設した跡地に鉄筋4階建て延べ面積2.364㎡ (715坪)の新校舎1号館を建設、昭和33年9月完成 しました。その後、昭和42年、5階に増築しました。 く放送技術部の誕生>



1号館完成

昭和33年、全国に民間テレビ放送局が相次いで開局し、放送技術者、無線従事者の不足 が予想されることから、当時、放送局にしかなかったイメージオルシコンテレビカメラ装 置、音声調整卓、テープレコーダー等最新のテレビスタジオ装置一式を1.000万円で購 入、1号館2階に設置してテレビスタジオ実習室とし、昭和33年10月、テレビ専門部卒業 生を入学対象とした放送技術部、修業年限1ヶ年、第二部(夜間部)を新設された。



● 田中角栄総理大臣と対談

全国工業専門学校各種学校協会を結成すべく 調査の結果、当時対象校は工業系では15校でし た。私共の学校にこ来校頂き、第1回の会合を開 催する。会議の結果、全国工業専門学校各種学 校協会と命名する。協会の会長に衆議院議員の 田中角栄先生を推奨し、目白のこ自宅を訪問し て会長就任を嘆願する。先生はこ承諾くださり、 その時の一コマです。その後、田中先生は内閣 総理大臣に就任された。本校の入学式にも来賓 としてこ出席頂き、学生諸君に貴重なこ祝辞を 頂く。

1959(昭和34)年4月 新入生から高校卒業生を入学対象とした放送技術部第一部(昼間部)、第二部(夜間部)、 修業年限2ヶ年の学科を新設し入学生が飛躍的に増加しました。

> 入学式は1号館4階の教室間仕切りを撤去し、入学式会場とする予定が、入学生の急増 により急遽、池上の大田区々民会館に変更したが、式場に入りきれない父母、新入生の ため別室にテレビモニターを設置し、テレビカメラを式場に持込み、入学式の進行状況 を逐一別室にテレビ中継し父兄から驚きの歓声があがり、翌日の新聞にテレビ入学式が 大きく報道され話題となりました。

9月 運輸省航空局と航空協会の依頼により羽田東京国際空港から航空機の離発着状況を日 本橋三越本店の航空展覧会々場にテレビ中継する依頼を受け、本校のテレビカメラ装 置により、放送技術部一期生が5日間にわたり1日4~5回の航空機離発着状況を三越の 航空展覧会々場にテレビ実況中継し、大成功をおさめました。

1961(昭和36)年4月 第二級無線技術士国家試験免除校として、各種学校唯一の認定校となる。 まだ東名高速道路が開通していない時期に、山梨県の山中湖畔に土地2.380㎡(720 坪)を購入し、片柳理事長自らブルドーザーを運転し整地を行い、木造2階建て客室8室、 応接室等を設け職員、学生の厚生施設として山中荘を建設。

年月日

主な出来事

1964(昭和39)年

オリンピック東京大会のNHK技術補助員として、本校学生がテレビ実況中継に参加。 本校の教育は電子工学全般に亘るまでになり、『日本電子工学院』に校名を改称する。

● 東京オリンピック開会式に参列する

東京オリンピックの開催にあたり、国を挙げて その対策に取り組む。陸上競技場を始め道路 網、その他の開発が一斉に進められる。私は 仕事の都合で、都心によく出掛けると道路工 事の都合により一方通行になり、進入が出来 ず迂回しなければ通れない道路が、あちらこ ちらにありました。また、道路に面した家は建 て替えられ、以前より立派な街に変貌し、見事 に生まれ変わる。オリンピック開催に万事万 端整い完了し、無事開催することが出来まし



た。私は衆議院議員の菊池先生よりオリンピック開会式の貴重な特別席の入場券を頂き、開会式 を拝見する。各国国旗を先頭に進行する様子を本校学生がカメラに収めた一枚です。





オリンピックの中継に 協力する本学園学生

★ 東京オリンピックのテレビ中継 TOPIC

工藤 俊一郎さん(昭和40年卒) 北海道出身。放送技術部12期卒

私は、昭和38年から40年まで放送技術部に在籍したが、忘れ得 ぬ思い出は、昭和39年10月の東京オリンピックのテレビ中継に 関わったことである。当時は敗戦後のわが国の高度成長ぶりを 世界に示そうとの意気込みから、まさに国をあげての取り組みで あった。そしてその映像はNHKから海外の諸放送機関に提供す ることになり、中継要員として本校から30名前後の学生が応援 することになった。私もその一員として、カラー中継班に配属さ れ、主としてカメラの設置・調整に携わった。カラーカメラは、初 の国産のイメージオルシコン2本による分離輝度方式で、カメラ ヘッドだけで125kgもあり、4人がかりで運んだ。このカメラは現 在とは大きく異なり、放送の数時間前から 電源を入れ、中継車 内のVEからのインカムを通じての指示により、小生等が調整す るのだが、調整個所が多いのみならず、なかなか本来の色が出 ず泣かされた。また予備機は1台もないため、慎重に取り扱わな ければならなかった。開会式リハーサルの際、雨が降り始めたが、 各人に配給されたレインコートをカメラに被せ、スタッフは濡れ るに任せるありさまであった。しかしながら、開会式当日は晴天 にも恵まれ、色鮮やかなカラー放送が実現した。当日夕刻の再放 送をNHK内副調整室で観ていて、いく筋もの涙が頬を濡らした ことを思い出す。その後のカラー受像機の普及、放送の発達には、 目を見張るものがあった。その一端に関わることができたのも、 本校で学んだことによるものであり、心底から感謝している。

(片柳学園50年の歩みより抜粋)

1965(昭和40)年

く新校舎2号館の建設>

昭和39年、1号館隣接の旅館、ローラー スケート場、卓球場などを買収し、新校舎 を建設。昭和40年8月、地下2階、地上8 階建て、延べ面積6.069㎡(1.836坪)の 近代的校舎2号館が完成しました。新校 舎は全国の学校としては初の全館冷暖房 空調設備を完備し、地下1階に300名収 容の学生食堂、地下2階に高圧実験室、最



2号館完成

片柳鴻先生を偲ぶ

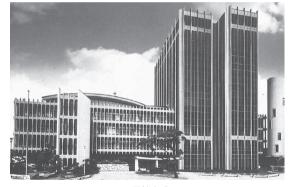
上階に客席数 919席の大ホールが設けられました。また、清瀬名誉校長からメキシコに 行かれた際、素晴らしい壁画の大学があったので本校もシンボルとしての壁画をと進言 され、鉄道沿線でもあり車中より望見できるよう新校舎6·7·8階南側壁面を約180㎡(縦 12m×横15m)の巨大なモザイク壁画「宇宙への希望と平和」で飾ると、斬新な建物とし て話題となりました。しかし、昭和54年、6号館建設にともない壁画が見えなくなること もあり取り壊しましたが、現在は八王子キャンパスのメディアホールの外壁に再現され ています。

1966(昭和41)年 【〈電子計算機部ソフトウェアコース新設〉

当時我が国の電子計算機台数は3.000台に達し、コンピュータ時代の到来が叫ばれ、片 柳理事長は今後コンピュータ教育が必要と考えられ、自ら東芝、日本電気の電子計算機 工場を視察され、昭和41年5月、実習用電子計算機として日本電気(NEC)の大型コン ピュータNEACシリーズ2200-モデル200を日本電気の協力により破格の安値で購入 し、2号館2階の1室を改造して電子計算機教育センターとし、万全の体制を整えました。 10月、我が国初のコンピュータ教育として電子計算機部ソフトウェアコースー年制、第 二部(夜間部)を新設、第一期生69名が入学し、我が国初の本格的コンピュータ教育が スタートしました。当時、誰もコンピュータがこれほど普及するとは予測しなかったと思 います。

1969(昭和44)年 | く新校舎3号館の建設>

片柳理事長は2号館が完成す ると次の計画として、2号館 屋上から周りを見渡すと目の 前に鬱蒼(うっそう)と茂った 森があり穂積氏の屋敷が目 に入った。早速交渉に入ると、 持ち主が長岡市の長岡産業 株式会社とわかり、長岡市に 赴き、交渉の末、土地4.347 ㎡(1.315坪)を確保し、仮登



3号館完成

記を済ますと1週間後に大田区が森林公園にしたいので譲ってくれないかとの話があり、 お断りすると、樹木をできるだけ残すよう指導され、今も各所に楠等の大木が植え替え られ残っています。当時入学生が急増し教室が不足したため急遽購入した土地に、新校 舎建設に支障のない場所に新たにプレハブ校舎 (8教室)が建てられた。新校舎建設が 始まり、地下2階、地上低層部4階、高層部11階、延べ面積14.412㎡(約4.360坪)の斬



教職員ボウリング試合で優勝

新なデザインで、地下2階にボウリング場、 4階に体育館、2階に視聴覚放送センター を設け、最新の視聴覚教育システム等が 導入された。当初は、4階低層部までを一 期工事、5階から11階までを二期工事と 予定していましたが一気に一期工事で完 成させ総工費18億円となり、昭和44年 11月、新校舎3号館が完成し、在校生も 8.000名に達した。

年月日

主な出来事

TOPIC

★ 色円板カラーテレビと水冷教室

梅田 光陽さん(昭和43年、45年卒)

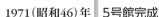
昭和43年テレビ専門部卒(11期)、45年電子計算機部卒(4期)

「京浜の地に築きたる…」で始まる校歌が頭をよぎります。あの頃、テレビという箱が私の好 奇心を刺激し、とにかくテレビを理解したいと思い、いくつかの専門学校から学校案内を取 り寄せ、どこで学ぼうかと思案しているところに、創立が昭和22年と書かれた日本電子工学 院の案内が目にとまりました。私の誕生と創立が同じ年であることに無意識に反応したわけ です。それから14年間、学生として教師としてお世話になり、今もなお卒業生の求人就職面 で、大変お世話になっております。長いようで短かった学生時代、テレビ専門部では、ラジオ やテレビの動作原理や故障修理を学び、そして強烈に感動したのは、RGBの色円板をブラ ウン管の前で回転させるというカラーテレビに出逢ったときでした。その頃、社会にはコン ピュータの波が押し寄せ、向学心に燃えた団塊の世代の若者も、どっと工学院に押し寄せて きました。気がついたら私もその仲間に入っていました。突貫丁事のプレハブ校舎は、なん と屋根に水をまくという人工降雨による水冷校舎でした。その中で「1+1=10となります」 なんて聞かされていたことが、今でも懐かしく思い出されます。そして、明日も成長を続け る片柳学園を見るにつけ、我が母校にエールを贈るとともに、未来に向かって巣立つ若人の 夢を大切にする、そんな企業の創造をめざし、同窓社会人の一人として一層のファイトが湧 (片柳学園50年の歩みより抜粋) いてきます。

1970(昭和45)年 く一日体験入学>

3号館が完成すると片柳理事長は、どんなに立派な校舎を建て最新の教育設備を整え ても、学校案内書やパンフレット等を見ただけでは理解できないため、遠方の学生は学 校に宿泊し、実際に実験・実習を体験させ、見学して頂く一日体験入学を実施するよう提

案され、早速一日体験入学を実施しました。 現在は各学校が一日体験入学をしているが、 「一日体験入学」は片柳理事長の発案であ り、本校が最初であります。

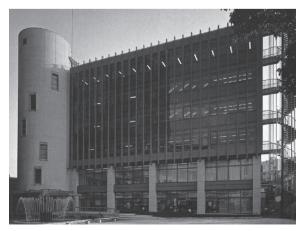


1972(昭和47)年 | く新校舎5号館の建設>

3号館隣接地を購入し、6 階建て延べ面積2.759㎡ (835坪)の新校舎5号館 が昭和47年12月に完成し ました。新校舎は3号館と 池の上を渡る廊下で結ば れ、1階は2号館の電子計 算機を移設し、更に大型電 子計算機NEACシリーズ・ モデル500を新規に導入 して電子計算機教育セン ターとし、2階にカードパン チ室、就職相談室、6階に 視聴覚放送センター、製図 室等が設けられました。



1971(昭和46)年 5号館完成



1972(昭和47)年 6号館完成

1975(昭和50)年

く芸術学部の設立>

創立当初は芸術分野の教育を中断し技術教育に専念してまいりましたが、芸術分野の 教育は常に片柳理事長の心組みにあり、今後の教育は工学と芸術の総合教育が必要で あると考えられ、昭和50年4月、新たに芸術学部を設立し、放送制作芸術科第1部(昼間 部)、第2部(夜間部)修業年限2年制と映像・デザイン・美術科第1部(昼間部)修業年限2 年制を新設された。放送制作芸術科の新設に先立ち3号館地下2階のボウリング場を解 体し、テレビスタジオに改造して最新のカラーテレビカメラ装置(TK-301A)3台、SCR 調光装置、音声調整卓等最新のテレビスタジオ設備が導入されました。







第3地下テレビスタジオ

テレビスタジオでの制作実習

テレビスタジオ調整室

1976(昭和51)年 学校教育法改正に基づき、校名を『日本工学院専門学校』と改称。

1977(昭和52)年 創立30周年記念式典举行



創立30周年記念式典でのあいさつ▶

1980(昭和55)年 く専門学校として理想的実験・実習棟の建設>

専門学校として実験・実習設備の一層の充実を図るため、昭和52年、創立30周年記念と して片柳理事長より、柴田病院から譲り受けた土地に、地下1階、地上6階建て、延べ面 積5.983m(約1.810坪)の実験・実習棟を建設するから専門学校として理想的実験・実 習設備を整えなさいとの指示があり、各学科実習担当者と打ち合わせ、シールドルーム、 無響室、電源・通信ケーブルの配線ピットを床に設ける等各学科の要望に沿った実験、実 習設備を整えた新校舎6号館が昭和55年3月、完成しました。更に、芸術学部の実習設 備の充実を図るため、3号館地下2階電気工学科実験室を実習棟に移設し第二テレビス タジオに改造、1号館1階2階に本格的録音スタジオが新設されました。

<図書館の建設>

創立30周年記念事業として、 専門学校として初の、独立し た図書館、鉄筋2階建て延べ 面積803㎡(242坪)、5万冊 の蔵書を誇る図書館が昭和 55年3月完成しました。



図書館と希望の泉

年月日

1982(昭和57)年

主な出来事

< 日本丁学院北海道専門学校の開校>

昭和54年7月、北海道登別市中浜市長より片柳理事長宛に一通の手紙が届きました。 その内容は6万坪、又は3万坪の十地を提供する故、本校を誘致したい旨の要請であっ た。市長からの要請であることから8月6日、安藤、高橋、平松3名の職員が登別市を訪 れ中浜市長の案内で現地を視察したが、市街から約4km離れ、道路は登坂・砂利道で狭 く、提供された土地は旧農家の牧草地で荒れはて、このような場所に開校しても学生確 保は難しいと考え、その旨を片柳理事長に報告しました。9月末に片柳理事長自ら村井 建築設計事務所村井所長と確認の為現地を訪れ、その結果、この場所では学生確保は 困難との結論に達し、中浜市長に登別進出を辞退する旨を伝えると、中浜市長から学生 確保は市が責任を以て募集しますから是非進出して頂きたいとのことで、その後、検討 の結果、11月北海道進出を決定された。翌年4月、登別市と185,000㎡(約56,000坪) の土地譲渡契約を行い、11月地鎮祭、引き続き土地造成工事、杭打工事を行い、翌年春、 雪解けを待ち本格的建設工事を再開し、待望の本部棟、教室棟、テニスコート、正門、庭 園が完成し、10月12日落成式が行われ、『日本工学院北海道専門学校』は昭和57年4 月、第一期生570名を迎え入学式が挙行されました。懸念された新入生の応募状況も 順調なため、第二期工事として体育館、実習棟が建設されました。



地鎮祭での片柳理事長



落成披露宴で挨拶をする片柳理事長



北海道キャンパス

TOPIC

★ 学園の教育理念、実力のある技術者をめざして

坪 義勝さん(昭和59年卒)

北海道出身。北海道校土木工学科第1期生

私は、札幌市豊平区にあります総合建設業、株式会社和泉組に勤務して13年目の土木技術 者です。職場では第一線の現場責任者として悪戦苦闘しながら毎日がんばっています。卒業 後13年もたちますと、同窓生と仕事関係で出会う機会が多くなり、北海道校が道内で確実 に実績を積み重ねてきたことを実感します。

私の従事している建設業界では、今までは構造物などをどんどんつくることで業界が成り 立っていましたが、これからは現在あるものに付加価値をつける時代となってきました。個 人についても、いかにその個人に付加価値があるかが企業の評価になっています。私自身。 自分に付加価値をつけるために建設関連の資格取得に励んでいます。こういう姿勢は在学 中にしっかりと教育された賜物と考えています。

実社会にあって工学院を客観的に企業側から見ますと、その時代、そしてこれから到来する だろう時代のニーズを先取りした学科を設置し、優れた教師陣を揃えて即戦力を身につけ た卒業生を社会に送り出してきています。この点が、50年間実社会に高く評価されてきたと ころだと思います。

私も絶えず時代に敏感になるように心がけ、上手にその時代の流れに乗ってその中で常に 新しい発想をもってがんばっていくつもりです。 (片柳学園50年の歩みより抜粋)

1983(昭和58)年



撮影の合間の記念撮影

映画「ふしぎな國・日本」の撮影に自宅を使用し た際、休憩の合間に私の家族と出演者との記念 写真の誘いがあり、居問の一角で撮りました。そ の時のメンバーです。長期に亘る撮影の後、完 成し、果たして映画館での評判が気になるとこ ことでした。雑談の中で、森繁久彌さんは相変わ らずの調子で、話題が豊富で笑いが絶えない休 憩中の一コマです。

1985(昭和60)年

<多年教育事業に携わりその功績により藍綬褒章受章> 昭和60年春、叙勲において藍綬褒章を賜りました。

褒章の記によりますと、「多年教育事業に携わり、施設の充実を図って子弟の育成に努め、 教育の振興に寄与した。まことに公衆の利益に興し、成績著名である。よって褒章条例に より、藍綬褒章を賜って善行を表彰された」とあります。





ホテルオークラで開かれた片柳理事長藍綬褒章祝賀会

褒章の記

1986(昭和61)年 〈東京工科大学の開学〉

永年に亘り専門学校において中堅技術者の養成を行い多くの卒業生を社会に送り出し ましたが、昭和47年、片柳理事長は専門学校教育だけでなく総合的高等教育機関とし て大学設立構想を打ち立て、当時都心は大学施設拡充の規制があり東京都下に用地を 求め、昭和55年春ようやく八王子市片倉町の一角に待望の建設用地380,000㎡(約10 万5千坪)を取得された。早速キャンパスの建設に先立ち国内の主な大学施設を視察さ れ、更に昭和56年6月、世界の有名な大学としてアメリカ、カナダの近代的大学と著名な 建物を20日間にわたり視察し、更に翌年は歴史的に由緒あるヨーロッパ10ケ国を視察、 それを糧として慎重に計画し、失敗は絶対に許されないことから多くの模型を造り、慎

重に検討を重ね決定された。建設工事が始 まると、片柳理事長は毎週水曜日、朝9時 には現場に赴き工事現場を視察し、午後は 設計事務所、施工業者と打ち合わせ会議 を行い、終わると再び工事現場を廻られた。 また、芸術的情操教育の一助として、随所 に30数点の彫刻を点在させ、片柳理事長 の油絵を適所に展示し、陶壁画やタペスト リーも各所に填めこみ、芸術的キャンパス とされました。昭和61年春、第一期工事が 完成すると、『東京工科大学』を開学し第一 期生358名を迎え入学式が挙行された。



年月日

主な出来事

1987(昭和62)年

春、第二期丁事が完成すると、『日本丁学院八王子専門学校』を開校。学園創立40周年 を迎え、「現代社会の変化に即応し、広く社会に頁献し得る人材を育成する」という一貫 した教育理念のもと教育環境を整え、開校する。第一期生1.007名を迎え日本武道館 に於いて、日本工学院専門学校との合同入学式が挙行された。





日本工学院八王子専門学校 第1回入学式。日本武道館において日本工学院専門学校と合同で行われた

1988 (昭和63)年10月 八王子キャンパスが完成し落成式が挙行された。八王子キャンパスが完成すると果たし てこれでよかったのか再確認のため10月、再びアメリカ、カナダを視察され、前回視察 された際は素晴らしいと感じたキャンパスも今回は素晴らしいと感じなかった。それは 八干子キャンパスが如何に素晴らしいかであり、片柳理事長は前回視察の際は、規模で はアメリカ、カナダの大学には及ばないが、規模は小さくとも内容で世界一のキャンパ スを造るのだと言われましたが、今回視察され、最後に一言「間違っていなかったと」言 われたことが今も忘れることができません。



完成した東京工科大学・日本工学院八王子専門学校 全景





26 片柳鴻先牛を偲ぶ

1989(平成元)年

| 日本工学院専門学校または前身校を卒業した者等で構成されている「校友会」の活動が 組織化され、本学園の情報ネットワークをさらに強化することとなった。それを象徴した のが校友会総会の開催である。総会の開催に先立って、「日本工学院専門学校第1回校 友会首都圏支部総会」が開かれたのは5月28日。八王子校を会場に、役員の選出、支部 会則の審議などを行いました。



第1回校友会首都圏支部総会

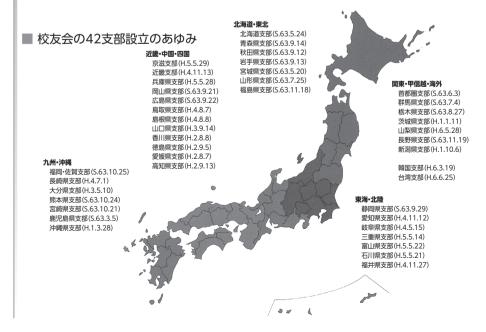
1990(平成2)年 11月3日には待望の「日本工学院専門学校第1 回校友会総会|が蒲田校図書館において開催 された。閉会後、懇親会が開かれ、歓談のひと ときがもたれた。

> 片柳鴻理事長・校友会名誉会長は挨拶の席上で 「校友会の充実した発足によって、ようやく専 門学校の百年の基礎が固まったものとうれしく



第1回校友会総会での記念撮影

| 存じます。結実した校友会の役員の方々の姿を見渡すとき、創立時からの苦労を懐かし く思い出します。今後一層の発展へ、着実な努力を続ける情熱がほとばしるのを感じて います」(要旨)と述べた。



年月日

主な出来事

1991(平成 3)年 ▮ 北海道校創立10周年記念式典

1993(平成5)年 東京工科大学に大学院を開設。

TOPIC

★ 留学生活をサポートしてくれた学校

ワサンタ・リヤナガマゲさん(平成5年卒・平成8年卒)

スリランカ出身

私は電気工学科と臨床工学科の2学科で合計5年間学んだので、学校の歴史の10分の1に 同席したことになります。在学が長かったのと外国人であることから、多くの先生方に特別 なご配慮をいただきました。先生方は、先進技術を学ぶだけでなく、広く人と知り合い異文 化を学ぶようご指導くださいました。そういう個々の先生が持つ魅力や、学生に対するきめ の細かいご指導が、この50年間を支えてきたのだと思います。発展途上国からの私費留学 生の多くは、学費や生活費を得るためにアルバイトを余儀なくされているのが実情です。そ のハードな生活のために身体を壊す人もいるほどです。私もそんな経験をし、もう帰国以外 にないという時がありましたが、先生方と学校のご推薦により学外の団体から奨学金を受 けることができ、勉強を続けることができました。それによって得られた貴重な時間を国際 交流に向け、行事に参加して多くの心ある日本の方々と知り合いになれたのも、私費留学生 としては大変ぜいたくな経験でした。現在私は、語学力を活かして災害時に救護作業をする 「東京都防災語学ボランティア」に登録し、また、東京都の国際化に関わる問題を考える「外 国人都民会議」の第1期公募委員13名の一人に選ばれました。忙しい勤務の他にあえてこ ういうことをするのは、学生時代の延長線上に今も自分があるからです。歴史ある日本工学 院専門学校の卒業生として、今後も努力していきたいと思っています。

(片柳学園50年の歩みより抜粋)

1997(平成 9)年 創立50周年を迎え、学校法人名を『片柳学園』に改称。 創立50周年記念国際シンポジ ウム、祝賀会を盛大に開催。またこの年、米国マサチューセッツ工科大学との交流協定に 調印する。







● 交流協定調印後握手を交わす

米国工学系大学トップであるマサチューセッツ工科大学 (MIT)交流協定を調印した。この提携は情報・人材・学術 の交流を目的に両学園の恒久的な友好関係の発展をめ ざして締結されました。マサチューセッツ工科大学のポー ル・E・グレー理事長と私と学園幹部数名の立ち合いの元、 提携を行った時の記念撮影写真です。

年月日

主な出来事

2002(平成14)年 北海道校創立20周年記念祝賀会開催

2003(平成15)年 片柳研究所棟を八王子キャンパスに設立。最先端施設・設備のもと、産官学連携の共同 研究がスタートする。蒲田キャンパス再整備事業開始。

2005(平成17)年



● ハリウッドの巨匠へ絵画を贈呈

ハリウッドの巨匠、ロバート・ゼメキス監督に絵画を贈呈し ました。南カリフオルニア大学との提携関係を結ぶなど、 活発な国際交流を進める中で、ロバート・ゼメキス・セン ターにゼメキス氏か選んだ作品を贈呈しました。

2007(平成19)年 蒲田キャンパス再整備Ⅰ期工事として、アニメ・デザイン館、医療系実習棟、ギャラリー鴻 (こうのとり)が完成。『東京工科大学附属日本語学校』を蒲田キャンパスに開校。

10月 片柳学園創立60周年記念祝賀会開催





2010(平成22)年 <蒲田キャンパス再整備計画> 蒲田キャンパス再整備計画として近隣 の用地買収を行い、敷地面積18,555㎡ (5.612坪)に蒲田地区のランドマーク タワーとして地下1階、地上20階、延べ 面積57,581㎡(17,418坪)の新校舎3 号館が平成22年2月完成しました。



2016(平成28)年 創立70周年記念事業として4,000名 収容の舞台付き多目的ホール「片柳ア リーナ」、公式バスケットボールコート4 面分の室内競技場としての体育館、クラ ブハウス棟、実習棟、セントラルプラザ が平成28年6月完成し、10月9日、片柳 アリーナ完成記念特別公演「~感謝の 調べ~|コンサートが開催されました。





片柳アリーナ完成

クラブハウス棟完成

年月日

主な出来事

2017(平成29)年 ┃ 春、叙勲において旭日小綬章を賜りました。「永年に亘る私学教育の振興に貢献した功 績により旭日小綬章を授与する」とあります。

> 片柳理事長は永年に亘り社会の要請に応え、専門学校として日本工学院専門学校、八王 子専門学校、北海道専門学校と、東京工科大学、東京工科大学附属日本語学校5校の設 立に全力を尽くされ素晴らしい功績を残された学校経営者として活躍され、私達の誇り であります。今後は、学校職員が片柳理事長のご遺志を継ぎ、更なる発展を目指し邁進 されることと存じます。





10月 片柳学園創立70周年記念祝賀会開催





● 家族記念撮影

祝賀会開宴前、玄関ロビーに華やかな飾りが目 に入りその時家族と共に写真を撮る。豪華絢爛 のグランドプリンスホテル新高輪「飛天」の間の 建築設計は、当時有名な村野藤吾先生の作品と 知り、流石であると見直しました。

2019(令和元)年 8月15日 永眠 満98歳。 戒名 天命院殿鴻阿献学創美大居士

> 片柳鴻先牛の功績総てを語り尽くすことはできませんが、 在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈り致します。(合掌)

片柳鴻先生が残した作品

片柳鴻先生が残した作品を紹介致します。







若者よ大望をいだけ(1979年) 【第1回日洋展出展作品】 蒲田キャンパス3号館1階に展示

第1回日洋展出展作品。学園創立30周年記念事業として、また教育設備充実の一環として図書館の建設をすることになり、正面玄関、2階吹き抜けの空間の突き当りの壁に300号の絵を描くことになりました。最初、構成に当たり三つに分け、男子像・女子像・富士山を背景にそれぞれ別に描き、全体の構図をまとめ描き上げた作品です。最初題名に迷いましたが、若者の教訓になる希望に満ちたダイナミックなモチーフとして構成し、「若者よ大望をいだけ」と題名をつけました。モデルは男子寮生の中から選び、女性はプロのモデルを使い、背景に苦慮したが、日本の象徴である富士山を背景にしました。富土山を眺める角度を選び、箱根乙女峠より御殿場を見通した場所が最適と決め、現場に行き50号のキャンバスに写生し、アトリエで300号に描き替え人物を挿入し出来上がった作品です。因みに300号の大きさは縦2.18メートル×横2.91メートルになります。





プラハの音楽家(2002年) 【第16回日洋展入賞作品】 セントラルプラザに展示

早朝、ベルリン飛行場を出発してプラハの空港に到着し、空港より直接車でプラハ城へ向かい、プラハ城を見学しました。世界の名城と言われているだけに重厚な佇まいで、その遺産と歴史の壮大さに圧倒されました。長時間を費やした城の見学の後、休憩を取るためにヴルタヴァ川の対岸のレストランに行くことになり、その途中カレル橋を渡ると、橋の中程で5人の大道芸人が楽しそうに演奏していたので、立ち止まって暫くの間、聴くことにしました。中央のトランペットを吹く老人がリーダーらしく、その風采に魅力を感じて、是非描いてみたいと思い、後日写真を元にして描き上げた作品です。後に知人に聞いた話によりますと、10年程前から橋の上で演奏を続けているグループとのことでした。その絵をアレンジして、彫刻家亀谷先生に制作を依頼した作品です。



バレリーナ(1980年) 【第12回 日展入選作品】

バレリーナの代表作家ドガの作品に感動し、バレリーナに挑戦しました。幸いにも、本校演劇科の卒業生で現在プロのバレリーナとして活躍されている方を本校の教員より紹介していただき、モデルをお願いしました。さすがプロだけにポーズの取り方やメイクアップの仕方も慣れたもので、ジーパン姿でアトリエに来て、僅か数分で完璧なバレリーナ姿に早変わりして、控室から現れた時は別人のようでした。その優雅な雰囲気を表現すべく筆を執りましたが、なかなか納得いくように描けず苦労しました。衣裳はモデル本人が持参した中から、一番良く似合っていたブルーの衣裳を選び、また、バックについてかなり悩みましたが、先生のアドバイスもあり、華やかなモデルに調和するように配慮して描いた作品です。

ハリウッドの巨匠、ロバート・ゼメキス監督に、 片柳理事長作の絵画を贈呈



映画監督ロバート・ゼメキス氏 Robert Zemeckis



贈呈作品「バレリーナ」の前で握手を 交わす片柳理事長とゼメキス監督



自作についてゼメキス氏に 解説する片柳理事長



「映画と絵画の共通点」を語る ゼメキス氏とデイリー学部長



2005年2月南カリフォルニア大学「ロバート・ゼメキス・センター」にて贈呈セレモニーを実施。大ヒット映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー 』「フォレスト・ガンプ/一期一会』などで知られるハリウッドの巨匠ロバート・ゼメキス監督に本学園の片柳理事長が自ら描き上げた絵画を贈呈。2005年2月25日に、そのセレモニーが米国南カリフォルニア大学「ロバート・ゼメキス・センター」にて、多くの関係者列席のもとで盛大に執り行われました。今

回贈呈された絵画は、片柳理事長の多くの作品の中からゼメキス氏本人がとくに気に入った一点を選んだもので、これは片柳理事長にとっても初の日展入選作ということもあり、大変思い出深い作品です。片柳学園は2001年より南カリフォルニア大学と提携関係を結ぶなど、活発な国際交流を進めていますが、今回の絵画贈呈は、こうした活動の根底に人間同士の温かな心の交流と信頼関係があることを物語るものと言えるでしょう。



片柳鴻先生が残した作品

片柳鴻先生の主な画歴

	7 1 1/1 1.478 ===	× 11 0 11	
	52歳の手習いとして洋画の筆を執る		第3回 新日洋展出品「武蔵野の風景」
1975(昭和50)年	第20回 新世紀美術協会展初入選「ふる里の道」 F120号		F100号 第10回 清流展出品「五月の富士」
	第20回新世紀美術協会展初入選 「民家」 F30号	1990(平成 2)年	F15号 口展会方
1976(昭和51)年	第21回 新世紀美術協会展入選 「休日のS嬢」 F60号	1990(十成 2) 4	第22回 日展入選「ベニスの朝」 F100号 第4回 新日洋展出品
1977(昭和52)年	第22回 新世紀美術協会展入選 「装い」 F100号		「ローテンブルグの風景」 F80号 第11回 清流展出品
1979(昭和54)年	新世紀美術協会準会員となる 第23回 新世紀美術協会展入選	1991(平成 3)年	「富士吉田浅間神社No.1」 F100号 第23回 日展入選「水門のある風景」
	「娘とマネキン人形」 F50号 第1回日洋展出品 「若者よ大望を抱け」 F50号		F100号 第5回 新日洋展出品「ショーウィンドー」 F100号
	白亜美術協会設立運営委員となる		第12回 清流展出品
4000 (1777, 177, 177, 177, 177, 177, 177, 17	第3回 日洋展入選「ひととき」 F50号	1992(平成 4)年	第24回 日展入選「釧路の朝」F100号
1980(昭和55)年	第12回 日展初入選「バレリーナ」 F80号 第4回 日洋展三越奨励賞受賞		第6回 新日洋展出品 「ふる里の道」 F120号
	「エーゲ海エギナ島」 F30号 第2回 白亜美術協会出品	 1993(平成 5)年	第13回 清流展出品 第25回 日展入選「ベニスの風景」
	「外出前」P50号		F100号
	夏期日洋展招待出品「古い倉庫」 F60号 第1回 清流展出品		第7回 新日洋展出品「夏の湖」 F120号 第14回 清流展出品「高原の夏」 F20号
1981(昭和56)年	第13回 日展入選「幕間のひととき」	1994(平成 6)年	第8回 新日洋展出品「蘇州の運河」
	F100号 第5回 日洋展入選「麗」 F50号		F120号 第15回 清流展出品
	第2回 清流展出品		第13回 肩派展古品 「五月の富士・忍野村」 F20号
4000 (1777,177,177)	第3回 白亜展出品「オフィス」 F50号	1995(平成7)年	第27回 日展入選「高原のホテル」
1982(昭和57)年	第14回 日展入選「稽古場」 F100号 第6回 日洋展入選「アトリエ」 F50号		F100号 第9回 新日洋展出品「夕景」 M100号
	第4回 白亜美術協会		第16回 清流展出品「花」 F20号
	参議院議長賞受賞「山荘」 F50号 第3回 清流展出品	1996(平成 8)年 	第28回 日展入選 「雨季のチェンライ(タイ王国)」 F100号
1983(昭和58)年	第15回 日展入選「嫁ぐ日」 F100号		第10回 新日洋展出品「大連の朝」
	ホテルオークラ 平安の間 個展 第7回 日洋展入選「古都トレド」 P50号		F120号 ホテルオークラ 平安の間 個展
	北海道校体育館壁画		第17回 清流展出品「真夏の午後」
	「登別の大地」縦2.7X横21m 第4回 清流展出品	1007(亚战 0) 年	F20号 第29回 日展入選「桂林の朝(2作目)」
1984(昭和59)年	第4回 肩派展正品 第16回 日展入選「東京の夜」 P100号	1997(平成 9 7年	第29回 日展八選「任体の朔(21F日)」 F100号
	第8回 日洋展入選「盛装」 F100号		第11回 新日洋展出品「風景」 F120号
1985(昭和60)年	第5回 清流展出品 第17回 日展入選「工房」 F100号	1998(平成10)年	第18回 清流展出品 第30回 日展入選「朝食のひととき」
. 5 00 (12) 12 00 / 1	第9回 日洋展入選「窓際」 F100号		F100号
1986(昭和61)年	第6回 清流展出品「しゃくなげ」 F20号 第18回 日展入選「布を纏うマネキン」		第12回 新日洋展出品「四月のシカゴ」 F100号
1300(11)101)+	F100号		第19回 清流展出品「東京の夜明け」
	第10回 日洋展入選「川のある風景」 F100号	1000(亚战11)在	F15号 第13回 新日洋展出品「蘇州の風景」
	第7回清流展出品	1999(平成11)年	第13回 新日洋展山田 無列100周京] F100号
1987(昭和62)年	日洋会会員	2000(###40) ##	第20回 清流展出品「山中湖畔」 F20号
	第19回 日展入選「マネキン人形」 F100号	2000(平成12)年	第14回 新日洋展出品「夕景」 M100号 第21回 清流展出品「帯広の夕景」 F15号
	第1回 新日洋展出品「遊餐」 F100号	2001(平成13)年	第22回 清流展出品
1988(昭和63)年	第8回 清流展出品「黎明富士」 F20号 第20回 日展入選「湖畔」 F100号	2002(平成14)年	「昼下がりのシャンゼリゼ通り」 F15号 第16回 日洋会委員功労賞受賞
. 500 (20/1005) —	第2回 新日洋展出品「ベニスの風景」	2002(19013)+	「大道芸人(プラハ)」P100号
	F60号 第9回 清流展出品「登別の牧場」 F20号		第23回 清流展出品「忍野村の風景」 F20号
1989(平成元)年	日洋会委員	2010(平成22)年	蒲田キャンパス ギャラリー鴻 回顧展
	第21日 日日 7 8 (十七) 5100日	I .	

校友会だより

2019年度

支部会員の集い

2019年度支部会員の集い(総会・懇親会)は、全国で200人を超える卒業生が集い、さまざまな 趣向で開催されました。自己紹介、近況報告、役員の改選、懇親会での情報交換など、各支部とも 有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい 思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとときがもたれました。今後も世代をこえた地元 校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。







■設 立:昭和63年6月24日

■支部長:平井 康美

第16回 北海道支部会員の集い

開催日:2019年9月22日(日) 出席者:7名

会場:旭川市「コートホテル旭川」

●支部総会 15:00~16:00 進行 平井支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]平井 康美(再任)

[副支部長]鈴木聰(再任)、橋本篤(再任)

上村 雅彦(再任)

[会 計]平井 康美(※暫定で支部長が兼任)

4. 会則改訂

第13条 1.「役員会は、毎年1回、支部長が連絡し、 会議を行う。」に変更。

5. 課題・今後の予定について

■登録会員:1035名



●懇親会 16:00~18:00

日本工学院北海道専門学校から、福井誠校長先生と小川昌 宏先生がご参加くださいました。また、テレビ放送技術科を卒 業された大原さんが初参加です。歓迎します。昨年度は胆振 東部地震で停電となった直後でしたが、札幌での懇親会に13 名の参加がありました。北海道校は、地元の登別・札幌・東京で の就職が多いので、同窓会もこの3箇所で順に行っている。北 海道校の同窓会や学園祭、平井支部長にお越しいただいてい る。皆さんも是非いらしてください。とお誘いいただいた。

第21回 日展入選「古城」 F100号

■設 立:昭和63年9月14日

■支部長:木村 照雄

■登録会員:724名

第16回 青森県支部会員の集い

開催日:2019年9月21日(十) 出席者:7名

会 場:青森市「青森国際ホテル」

●**支部総会** 18:00~19:00 進行 野里支部長

- 1. 開会あいさつ 野里支部長
- 2. 大塚課長あいさつ(教育・学生支援部 課長)
- 3. 事務局からの報告
- 4. 支部活動報告
- 5. 役員改選

[支部長]木村 照雄(新任)

[副支部長]小笠原實(再任)、斉藤敏也(再任)

鈴木隆(再任)、佐藤晃(再任)

[会計] 斉藤 敏也(新任)

[会計監査] 小笠原 實(新任)

[幹事]高橋峰樹(再任)、八戸正志(再任)

[顧 問]野里和弘(新任)

※青森県支部設立以来、初めての支部長交代となった。

6. 会則改訂

第9条 2.副支部長 「4乃至6名 | に変更。

第9条 「6.顧問 1名」を追記。

7. 課題・今後の予定について



●懇親会 19:15~21:00

木村新支部長の乾杯でスタート。今回「顧問」となられた野 里前支部長の、学生時代や校友会に関わることになった経緯 などの思い出話に盛り上がった。その後、各参加者の学生時 代の話に皆が耳を傾けつつ、どんな学生時代だったかの報告 会となった。大塚課長も話に加わり、和やかな雰囲気で会は 進み、野里顧問のご挨拶で中締めとなった。

宮城県支部

■設 立:昭和63年5月20日 ■登録会員:546名

■支部長:清水 幸男

第16回 宮城県支部会員の集い

開催日:2019年11月30日(土) 出席者:13名 会場: 仙台市「Goccho Sun(ごっちょおさん) |

●支部総会 18:30~19:10 進行 清水支部長

- 1. 学校からの報告 大塚課長(教育・学生支援部 課長)
- 2. 事務局からの報告
- 3. 支部活動報告
- 4. 役員改選

[支部長]清水 幸男(再任)

[副支部長]橘内 英二(再任)、東 光彦(再任)

米本 正広(再任)、村上 征一(再任)

千葉 繁喜(再任)、早坂 浩二(新任)

[幹 事]工藤浩(再任)、鈴木良徳(再任)

菊本 節子(再任)

- 5. 会則改訂 なし
- 6. 課題・今後の予定について
- 7. その他





●懇親会 19:10~22:15

東副支部長の乾杯のご発声にて懇親会は始まりました。

自己紹介で、菊本さんがベガルタの歌を歌って盛り上がり ました。福島県支部がかまた祭の校友会主催イベントへ参加 したとの話があり、宮城県支部でも来年2~4月のいずれか に学校見学会の計画をしようと盛り上がりました。

閉会のあいさつを千葉副支部長にお願いし、一本締めで閉 会しました。

各自数名で二次会を開催したようです。

山形県支部

■設 立:昭和63年7月25日

■支部長: 桶口 祐七

第16回 山形県支部会員の集い

開催日:2019年9月28日(十) 出席者:10名

会場:山形市「山形国際ホテル」

●支部総会 17:30~18:00 進行 桶口支部長

- 1. 支部長あいさつ
- 2. 事務局からの報告
- 3. 役員改選

[支部長]樋口 祐七(再任)

[副支部長]鈴木 幸雄(再任)、大沼 智尋(再任)

庄司 一豊(再任)、柴崎 勝(再任)

鈴木 正豊(再任)

「幹事]石川智昭(再任)、菅野寛(再任)

烏 国治(再任)、佐村 政行 (新任) ※山形県支部会則:

第4章 第9条 3項

「出席者を幹事とする」による

4. 会則改訂 なし

●講演会 18:00~19:00 講師: 高村 さくら テーマ 「アニメーションの歴史と発声練習」 ※講演内容はHP「校友会NeT」に掲載いたします。



●懇親会 19:00~21:00

■登録会員:631名

講師の高村さんも懇親会に参加してくださいました。

先ほどの講演会にて「役者になる人は必ずやる」という 『外郎売(ういろううり)』を声を出して読んでいた皆さん、 声を出すと体が振動して運動していることになり、若々しく いられるとのことでしたが、その効果なのか、皆さん口が大 きく動くようになり、会議・講演会の時より一段と表情が明る くなりました。

昔も今も、最新の設備があること、一流の講師から教わる 機会があったことなど、学生時代の思い出話に花が咲き、今 後の学校の更なる発展を願って、集合写真を撮影した後、お 開きとなりました。

茨城県支部

■設 立:平成元年11月22日

■支部長: 廣瀬 憲治

第16回 茨城県支部会員の集い

開催日:2019年11月16日(日) 出席者:23名

会場:水戸市「わさびの花」

●支部総会 16:00~17:00 進行 廣瀬支部長

- 1. 開会あいさつ
- 2. 事務局からの報告
- 3. 支部活動報告
- 4. 役員改選

[支部長]廣瀬 憲治(再任)

[副支部長]佐藤修一(再任)、海老沢照男(再任) 黒澤 恵子(再任)、鈴木 良一(再任)

島田 俊男(新任)

「幹事」山崎操(再仟)、熱田 芳一(再仟) 鈴木 宏信(再任)、染谷 実(再任) 須之内 紀夫(再任)、小林 浩之(再任)

- 5. 会則改訂 なし
- 6. 課題・今後の予定について



■登録会員: 2901名



●懇親会 17:00~19:00

鈴木副支部長の発声により懇親会が開始されました。 人数が多いこともあり、あちこちで話が盛り上がっていまし た。支部総会と懇親会、合わせて19回目となりました。

「今後も、毎年会う機会を作りたい」など、様々な話題で盛 り上がっているうちに終了しました。

二次会も6割以上の方が参加し、更に盛り上がりました。





校友会だより/支部会員の集い 校友会だより/支部会員の集い 37

首都圈支部

■設 立:昭和63年6月3日

■支部長: 桂田 忠明

■登録会員:48148名

第16回 首都圏支部会員の集い

開催日:2019年11月2日(土)

会 場:日本工学院専門学校 3号館10階 31017教室

●支部総会 14:00~14:30 進行 事務局(大两)

- 1. 平成29年度および平成30年度事業報告
- 2. 平成29年度および平成30年度収支報告・監査報告
- 3. 役員改選

[支部長] 桂田 忠明(再任)

[副支部長] 工藤 俊一郎(再任)、平川 進(再任)

[会計] 脇俊博(再任)

[会計監査] 住谷 国治(再任)

[幹 事] 村田 淳一(再任)、高尾 浩一(再任)、鈴木 啓利 (再任)、菊地 一雄(再任)、稲垣 昭夫(再任)、 竹生田 昭男(再任)、村林 大(再任)、小野寺 月美 (再任)、藤井 隆徳(再任)、猪口 眞美(再任)、谷 勇作(再任)、鈴汀 敬太(新任)、篠崎 優(新任)

●懇親会 17:00~18:30

首都圏支部役員は「かまた祭」校友会参加行事、校友会主催「卒業生の集い」のスタッフとして懇親会の企画・準備・運営を行いました。

会場:日本工学院専門学校 1号館1階 フーズフーII



当校卒業生である相沢早苗さんの司会により、まずは桂田会長のごあいさつで懇親会がはじまりました。千葉茂片柳学園理事長、講演会の講師としてお越しいただいた村尾信尚さんのごあいさつと続き、前野校長による乾杯のご発声で歓談が始まりました。20代から80代までの100人以上の卒業生にご参加いただき、普段は広く感じるフーズフー(学食)も狭く感じるほどでした。恩師や友人と久しぶりに再会した方々、大きく変わった学校の様子に驚きながらも蒲田の街を懐かしんでいる方々、会場の至る所で楽しい話で盛り上がっていました。

その後は、かまた祭実行委員会の学生へのプレゼント贈呈や、ゲーム大会などが行われ、「日本工学院専門学校校友会教職員会」代表の細川先生や遠山副校長のごあいさつと続き、平川常任幹事の閉会あいさつで、1時間30分、内容盛りだくさんの懇親会がお開きとなりました。

「これだけでは話し足りない!」と、蒲田の街へ繰り出してい く方々も大勢いらっしゃいました!

新潟県支部

■設 立:平成元年10月6日

■支部長:植木 敏郎

第16回 新潟県支部会員の集い

開催日:2019年10月12日(土) 出席者:14名

会場:新潟市「静香庵(せいこうあん)」

●支部総会 11:30~13:00 進行 植木支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]植木 敏郎(再任)

[副支部長] 長谷川 和智(再任)、最賀 一久(新任)

柳健一(新任) 幹事1池衛(東任) 片所克

[幹 事]池 徹(再任)、片所 克徳(再任) 小林 謙一郎(再任)、平井 美江子(再任) 佐藤 美樹(新任)、竹之内 まつ子(新任)

4. 会則改訂 なし

●懇親会 13:00~15:00

放送制作技術部6期ご卒業の本田さんのご発声にて懇親 会が開始。

各々、学生時代のエピソードを話しながら、ランチコースを 堪能しました。

蒲田校元職員 阪本さんより、蒲田校の変遷、前理事長はじ した。

■登録会員: 2476名



め教職員の方々がどれだけの熱意をもって生徒と向き合ってきていたか、などの報告をいただきました。

昨年度は支部総会の無い年でしたので、県内3箇所で「新之介」という懇親会・忘年会を実施。集まった人の中にスマホなどでLINEアプリを入れている方が居れば、LINE LIVEを使って各地で中継できる。ぜひ次回も参加してください。と、お誘いもありました。

2年に1度の支部総会、県内7か所くらい回って、また今回 新潟なので、次はどこにしようか。など、時間の許す限り、皆さ んで思い出を語り合い、様々なお話を楽しみました。

近藤さんの一本締めで第16回会員の集いを終了いたしま した

富山県支部

■設 立:平成5年5月22日

■支部長:石黒 明

第14回 富山県支部会員の集い

開催日:2019年11月30日(土) 出席者:7名

会場:富山市「旬和席いちいちつう」

●**支部総会 17:00~17:30** 進行 石黒支部長

- 1. 支部長挨拶
- 2. 事務局からの報告
- 3. 支部活動報告
- 4. 役員改選 全員再任
- 5. 会則改訂 なし

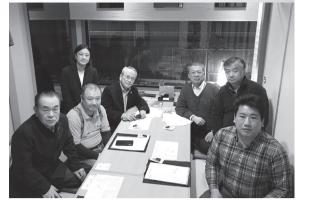


●講演会 17:30~18:15

講師: 佐藤 博治(校友会顧問・徳島県支部顧問) 「卒業してからの仕事とテレビ業界について」 ※講演内容はHP(校友会NeT)へ掲載いたします。

●懇親会 18:15~20:00

八木顧問(富山県支部顧問・テレビ専門部卒)と今回講演していただいた佐藤顧問(徳島県支部顧問・放送技術部卒)は、昭和38年の同年卒業ということで意気投合。



テレビ放送技術科卒の高畠さん、今回初参加、歓迎いたします!

情報処理科卒の津田さんは、学生当時、学科の先生にとてもお世話になったと感謝されていました。

昨年は忘年会を実施、今年は佐藤顧問を招いての講演会、 来年はまた忘年会を実施したいが、何かやりたいことがあれ ばアイデアをください、と石黒支部長。

大いに盛り上がり、ほとんどの方が二次会へと繰り出していきました。

二次会から副支部長の金尾さんがお仕事終わりで参加されました。

石川県支部

■設 立:平成5年5月21日

■支部長:正田 降浩

第14回 石川県支部会員の集い

開催日:2019年10月12日(土) 出席者:6名

会 場:金沢市「ホテル金沢 北の庄屋」

●**支部総会 18:00~18:30** 進行 正田支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選 全員再任
- 4. 会則改訂 なし
- 5. 課題・今後の予定について
- 6. その他



●懇親会 18:30~21:00

懇親会前に会場にて集合写真を撮りました。 寺本顧問の乾杯の挨拶で懇親会が始まりました。

参加者全員、順番に近況および在学当時の蒲田を語っていただきました。

多彩な話題で話が尽きない中、終了予定時刻となりました ので、松下副支部長より締めの挨拶で、二年後またお会いす る約束をして閉会しました。

台風で公共交通機関が計画運休される中、参加予定の6 名全員にご参加いただき、ありがとうございました。

■登録会員:343名

■登録会員:520名











校友会だより/支部会員の集い

校友会だより/支部会員の集い

■設 立:昭和63年11月19日

■支部長: 峯村 理雄

■登録会員:3166名

第16回 長野県支部会員の集い

開催日:2019年10月19日(十) 出席者:18名

会 場:長野市「ホテル信濃路」

●支部総会 15:00~16:50 進行 峯村支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選 全員再仟
- 4. 会則改訂 なし
- 5. 課題・今後の予定について

●テレビ局見学 17:00~17:40 長野放送のスタジオ等を見学しました。





●懇親会 18:00~20:00

事務局 大西様の乾杯から宴が開始しました。

長野県が推奨する「残さず食べよう!30・10運動 |を採用 し、乾杯から30分と宴終了前10分は、席を立たず目の前の 料理を残さず食べる事に取り組んだ。

宴の中では、初めての参加者からマイクを順に廻し、自己 紹介・近況報告・学生時代の思い出・お願い(職はありません か)等、大いに盛り上がり、次回の再会を皆で約束しました。

峯村支部長の中締めにより閉宴しました。

■設 立:平成5年5月19日

■支部長:柴田 達夫

第13回 岐阜県支部会員の集い

開催日:2019年12月7日(土) 出席者:5名 会 場:高山市「糀屋柴田春次商店 二之町店」

●支部総会 15:30~18:00 進行 事務局(大西)

- 1. 支部長よりあいさつ 番場支部長
- 2. 学校からの報告 大塚課長(教育・学生支援部)
- 3. 事務局からの報告
- 4. 支部活動報告
- 5. 役員改選

「支部長]柴田 達夫(新任) [副支部長]番場日出喜(新任)、清水佐幸(再任) 岩田 政仁(再仟)、馬渕 嘉彌(再仟) 松田 行道(再任)

「幹事]井上賢(再任)、滝昌司(再任) 近藤 勝弘(再任)

6. 会則改訂 なし

第9条 3項 幹事「3名」に変更。

7. 課題・今後の予定について





●懇親会 18:00~20:30

支部総会の会場は、新支部長の柴田さんのお店で開催しま した。懇親会の会場は、当初の予定を変更して「居酒屋 和田」 で開催しました。乾杯の後は、今後の岐阜県支部の方向性に ついて話し合いました。(愛三岐統合はどうか、またはそれに 向けて3支部が合同で「会員の集い」を開催してみるなど)

2020年3月14・15日の地区支部長会についての場所の 確認、出席者(副支部長)の確認なども行いました。学校の教 育・学生支援部 大塚課長から現在の学校の様子を聞き、色々 と質問が飛び交いました。終了後、2次会として高山ラーメン を食べに行きました。番場支部長より、今回の支部総会で26 年間務めた支部長職を交代したことについて、学校や校友会 への思いを熱くお話していただきました。

静岡県支部

■設 立:昭和63年9月29日

■支部長: 奥川 宏

第16回 静岡県支部会員の集い

開催日:2019年10月20日(日) 出席者:12名

会場:静岡市「ホテルアソシア静岡」

●**支部総会 17:00~17:30** 進行 奥川支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選 [支部長]奥川 宏(再任) [副支部長] 大須賀 和夫(再任) 会計兼務 [副支部長] 石川 征雄(再任) 会計監査兼務
- 4. 会則改訂 なし 第9条 2項 副支部長「若干名」に変更。 5項「顧問 若干名|を追記。 第12条 6項 「顧問は本会運営に 助言を行う。」を追記。
- 5. 課題・今後の予定について

[顧 問]間瀬 貞(新仟)

6. その他



●懇親会 17:30~19:00

■登録会員:3381名

蒲田は「映画の街」から「工学院の街」へと変わった。

一昨年の支部総会時にかまた祭参加の話があり、今回参 加者の中から1名が参加した。以前、海外のIKEAで100万 円あったらどういう部屋を作るのか、というコンテストみたい なものがあった。外資系勤務なのに、英語でプレゼンができ れば…と後悔しました。5年前・7年前に電子・電気科を卒業さ れた澤田兄弟から「かまた祭が台風で中止になってしまった」、 「かまた祭での電線を這わせていました」という話から「実は かまた祭に15回くらい行ってます | や「かまた祭の準備で家 に帰れない日もあった」など、かまた祭にまつわるお話が沢山 出てきました。また、奥川支部長と同年卒業の3人で記念写真 も撮りました。

■設 立:平成5年5月14日

■支部長:平井 正博

第13回 三重県支部会員の集い

開催日:2019年10月19日(土) 出席者:4名

会場:四日市市「みやび」

●支部総会 18:00~18:30 進行 平井支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選 全員再任
- 4. 会則改訂 なし
- 5. 課題・今後の予定について







■登録会員: 156名



●懇親会 18:30~20:20

五味副支部長の乾杯のご発声で懇親会はスタートしまし た。参加者は顔なじみで、終始和やかに進行しました。

平井支部長より、故前理事長 片柳鴻様の思い出話等、又 感謝の調べに参加してとても良かったとの感想。

皆様の現況のお仕事の報告やエピソード、私達の学生時 代の時と今どきの若者の違い、学園の発展と昔の校舎の話、 等々、学生時代から何十年も経った今も、時を忘れて話は続 きます。蒲田校でやっていた「ゴジラ展」を見に行った…との お話も出ました。

最後に会場入口にて記念写真を撮り、解散となりました。

校友会だより/支部会員の集い 校友会だより/支部会員の集い 41

京滋支部

■設 立:平成5年5月29日

■支部長: 菅原 進

■登録会員:181名

第15回 京滋支部会員の集い

開催日:2019年9月29日(日) 出席者:6名

会 場:京都市「和食舞」

●京都御所見学会 14:30~17:00

京都鉄道博物館を見学予定であったが、京都御所の見学 会へ変更。

●支部総会 18:15~19:10 進行 菅原支部長

- 1. 開会のあいさつ 菅原支部長
- 2. 大塚課長あいさつ(教育・学生支援部)
- 3. 事務局からの報告
- 4. 支部活動報告
- 5. 役員改選

[支部長]菅原 進(再任)

[副支部長]内田 幸治(再任)、東田 孝明(再任) 太田 克彦(新任)

6. 会則改訂 なし

7. 課題・今後の予定について



●懇親会 18:15~21:00

大阪では集まりにくいという要望があったことから、今回は 6年ぶりに京滋支部単体で開催。菅原支部長のご発声で懇親 会がスタート。京都はもちろんだが、滋賀県の方にも参加し て欲しい。リニアモーターカーの話題からiaicaの話、参加者 (太田さん)のタイをはじめとする東南アジアでの仕事の話 など多岐にわたる話題で盛り上がった。支部総会から懇親会 の時間になっても、次回の開催地や、どうしたら滋賀県の方に 参加していただけるかなど、今後の校友会について議論が続 いた。時間になり、次回の開催地での再会を約束して解散。そ の後、支部長ほか2名で2次回を開催した。

■設 立:平成2年6月4日

■支部長:東恒八

第14回 近畿支部会員の集い

開催日:2019年9月28日(土) 出席者:11名 会場:大阪市「バンダリアト

●支部総会 18:30~19:30 進行 木村副支部長

- 1. 本日のスケジュール
- 2. 支部長代理あいさつ 東副支部長
- 3. 大塚課長あいさつ(教育・学生支援部)
- 4. 事務局からの報告
- 5. 支部活動報告
- 6. 役員改選

[支部長]東恒八(新任)

[副支部長]中澤 広(新任)、仲 均(奈良)(再任)

當眞嗣正(大阪)(再任)、駒井 誉頼(大阪)(再任) 石井 勝美(奈良)(新任)、和田 修一(大阪)(新任) 今西 康裕(大阪)(再任)、児玉 徹(和歌山)(再任) 木村 宏(大阪)(再任)、成尾 洋之(和歌山)(再任)

「顧 問] 佐々木 政幸(新任)

7. 会則改訂

第9条 2項「副支部長 12名」に変更。 3項「顧問 1名」を追記。

8. 課題・今後の予定について

■登録会員:373名



●懇親会 19:30~21:30

本日、ラグビーワールドカップで日本がアイルランドに勝っ たという速報で楽しく始まりました。當眞副支部長の乾杯の 発声でスタートしました。出席者の自己紹介(学生時代の話、 近況など)近畿支部・京滋支部・兵庫県支部との今後の在り方 について、支部総会の時間だけでは足らず、難波や天王寺な どに場所を変えて開催してみてはどうか、など、様々な話が出 てきて、和気あいあいと話をし、お開きとなりました。その後、 一部の方は2次回へ向かいました。

岡山県支部

■設 立:昭和63年9月21日

■支部長: 尾崎 章夫

第16回 岡山県支部会員の集い

開催日:2019年11月16日(十) 出席者:11名

会場: 岡山市「サン・ピーチ OKAYAMA I

●支部総会 15:00~17:00 進行 小原副支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]尾崎 章夫(再任)

[副支部長]石見 哲昭(再任)、瀧本 喜八郎(再任) 小原 道牛(新仟)

事]浦上 雅男(再任)、妹尾 昶(とおる)(再任) 大賀 勝司(新任)、倉谷 正治(新任)

今吉 正行(新任)、横山 裕昭(新任)

[顧 問] 白石脩(再任)

4. 会則改訂 なし

5. 課題・今後の予定について





■登録会員: 296名

●懇親会 17:00~20:00

■登録会員:406名

白石顧問の開会の挨拶に続き小原副支部長の乾杯の音頭 で始まりました。学生時代の懐かしい話(学校の建物、かまた 祭、寮生活等)、学校の周辺の変りように驚きました。岡山を代 表する民芸品の「い草」の商売をしている。「岡山」を表す手話 は「い草」を引っ張り合う仕草なので、絶やさぬようにしてい きたい。春の「津山花見の会」を毎年楽しみにしています。一 緒の寮だった友人と一緒に参加することができました。もう一 人いるので、次回は3人で参加できるように声掛けします!な ど、話は尽きませんが、終了の時刻となり、「津山花見の会で また会いましょう」と、解散となりました。

■設 立:昭和63年9月22日

■支部長:福岡 孝司

第15回 広島県支部会員の集い

開催日:2019年9月14日(土) 出席者:9名

会 場:広島市「吉水(きっすい)」

●**支部総会** 16:00~18:00 進行 福岡支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]福岡 孝司(再任)

[副支部長]上川 哲哉(再任)、堂前 克文(再任) 田中信夫(再任)、小迫正俊(新任)

門田 積(福山市担当)(新任)

[会計]植田和明(再任)

[幹事]重盛教志(再任)

4. 会則改訂

「顧問 |を役職から削除

「副支部長 4名」から「副支部長 若干名」へ変更

- 5. 課題・今後の予定について
- 6. その他



●懇親会 18:00~21:00

相鉄グランドフレッサ広島 15F 日本料理「吉水」にて会員 の集い後、支部長の乾杯と共に行われた。

眺めも良く、広島市内(平和公園・原爆ドーム等)がよく見え る会場で和やかに行われた。

来年、福山で懇親会を開催しようかと話が盛り上がった。





校友会だより/支部会員の集い 校友会だより/支部会員の集い 43

山口県支部

■設 立: 平成3年9月14日

■支部長:早川 一夫

第15 回 山口県支部会員の集い

開催日:2019年9月15日(日) 出席者:8名 会場:山口市「IZAKAYA土火土火山口湯田店」

●支部総会 18:30~21:30 進行 早川支部長

- 1 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]早川 一夫(再任)

[副支部長]浅井 雅博(再任)、山下 学(再任)

亀井 政一(再任)、上野 純一(再任)

右田 祥二(再任)

[幹 事]河村博樹(再任)、岡村清春(再任)

椎山 博通(再任)、高場 浩(再任)

「顧 問] 平岡 征男(新任)

4. 会則改訂

(役員)第9条 [4.顧問]名 |を追加。

5. 課題・今後の予定について



●懇親会 18:50~21:00

■登録会員:192名

亀井副支部長の乾杯の発声で懇親会に入った。美味しい料 理、お酒をいただきながら、学生時代の寮生活、学校周辺の街 並みの想い出話から4K、8Kの放送技術、スマホ等の通信技

術の進歩、と卒業生なら ではの話題で、卒業年度 も昭和41年から昭和64 年と離れてますが、蒲田 校の素晴らしい仲間の集 いで有意義な時間を過ご すことが出来ました。



大分県支部

■設 立:平成3年5月10日

■支部長:佐藤浩

第15回 大分県支部会員の集い

開催日:2019年11月23日(土) 出席者:13名 会 場:大分市「JR九州ホテル ブラッサム大分」

●**支部総会** 15:30~16:35 進行 佐藤支部長

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選 全員再任
- 4. 会則改訂 なし
- 5. 課題・今後の予定について
- 6. その他

●講演会 16:35~17:45

講師: 吉岡 さくら(81プロデュース所属) テーマ「早口言葉を用いての発声について」 ※講演内容はHP(校友会NeT)へ掲載いたします。

●懇親会 18:00~20:00

佐藤支部長の乾杯の発声で懇親会が始まりました。

今回、宮崎県支部の支部長からオススメされて吉岡さくら さんを講師としてお迎えしました。吉岡先生にも懇親会へ参 加頂き、講演会の内容の話で盛り上がり、ツーショットで写真 をお願いされる方もおられました。学生時代のことや卒業し ■登録会員: 191名



て入った会社のこと、今のお仕事のこと、お友達やお子さんの こと、などなど講演会のおかげで活舌良くお話されていまし た。「情報通信科と電気工事科の2学科卒業しました」「学校 で学んだことが仕事に生かされています」「Doctor-Xで大学 病院になっているのが蒲田校の今の3号館!」などのお話や、 来たり来なかったりですみません!次回からは毎回参加しよう と思います!など話に花が咲きました。東京に行く機会が時々 あり、現在の学校を見学したいけれど一人では行きにくいの で、大分県支部で「かまた祭」見学ツアーを企画してもらいた いとの意見もありました。大分県支部でLINEのグループを作 りたいとのお話も出ました。林副支部長の中締めのご挨拶と 一本締めで終了いたしました。

■設 立:昭和63年3月5日

■支部長:久山 順一

第16回 鹿児島県支部会員の集い

開催日:2019年11月23日(十) 出席者:7名 会場: 鹿児島市「ジェイドガーデンパレス |

●支部総会 17:00~18:20 進行 上 園副支部長

- 1. 支部長挨拶
- 2. 事務局からの報告
- 3. 学校の様子
- 4. 支部活動報告
- 5. 役員改選 全員再任
- 6. 会則改訂 なし



●懇親会 18:30~21:00

与論町の福地さんによる乾杯でスタート。

お住まいの立地から"沖縄県支部会員の集い"に数回参加 されたことがある福地さんから9月に沖縄県支部に参加され た時の様子を伺った後、参加者の近況報告。

「病魔に侵されたが今でも元気に生活している」「学生時 代はカラーテレビ・冷蔵庫が売れ始めたころで懐かしい上後 職定年制を終えたが、学校で習ったことを活かして今も頑

■登録会員:605名



張っている」「現在の仕事に至る様々な経験について」など、 多くの貴重で幅広いお話が飛び交った。吉村さんも先日まで 福岡県に住んでおり、前の週に参加された"福岡・佐賀支部の 集い"の様子を伺った。

「学牛委員会のネットワークを生かしてはどうか」「(鹿児島 県の)女性の会を作ってはどうか、山形屋では"紅花会"という 組織があり盛り上がっているようだ はどの意見がでた。

終了の時間となり久山支部長のご挨拶で終了した。

■設 立:平成元年5月27日

■支部長:山川 光雄

開催日:2019年9月14日(土) 出席者:27名

第16回 沖縄県支部会員の集い

会場:那覇市「ホテルロイヤルオリオン」

●講演会 17:30~18:40

講師: 賀数 仁然氏(琉球歴史家、ラジオパーソナリティ) テーマ:琉球・沖縄の歴史文化

それは…元気が出るエンターテインメントである! ※講演内容はHP「校友会NeT」に掲載いたします。

●支部総会 18:50~19:20 進行 崎山 英則幹事

- 1. 事務局からの報告
- 2. 支部活動報告
- 3. 役員改選

[支部長]山川 光雄(再任)

[副支部長]仲村 義明(再任)、徳田 永伸(再任)

上汀洲 博(新任)

[幹 事] 﨑山 英則(再任)、比嘉 政則(再任) 赤嶺 維栄(再任)、屋良 朝秋(新任) 當眞敦(新任)

「幹事 八重山]山盛 健 二(再任)、太田 盛男(再任) [幹事 宮古]武島 秀喜(再任)、仲宗根 優(再任) [顧 問]喜屋武 光信(再任)

- 4. 会則改訂 なし
- 5. 課題・今後の予定について

■登録会員: 1074名



●懇親会 19:30~21:00

山川支部長の冒頭の挨拶後、喜屋武顧問の乾杯のご発声 予定でしたが、片柳前理事長のご逝去のことに触れ、乾杯で はなく献杯としました。講師の賀数氏にも懇親会に参加して いただき、先ほどの講演に続き、琉球の歴史について沢山の 情報もいただきました。地元 沖縄の人でも知らなかったこと が多くあり、皆さま興味津々な様子でした。前回に引き続き、 与論町(鹿児島県)より福地氏(町議会議長)が遠路はるばる お越し下さいました。終始和やかに会も進み、大変有意義な 懇親会でした。皆さま、酔っぱらう前に全体集合写真(約30名 参加)を撮りました。与論町の福地氏も含め、9名は2次会へ とくりだし、カラオケ大会で大盛り上がりでした。24時に終了 し、次の再会を期し、各自三々五々自宅へ…。

校友会だより/支部会員の集い

日本工学院専門学校校友会企画 特別講演会報告

「平成でやり残したこと、 令和でやるべきこと 」

村尾信尚 さか 講演会 令和元年11月2日 + 31005教室

村属信仰さん プロフィール

1955年 岐阜県高山市生まれ

1978年 一橋大学経済学部卒業後、大蔵省(現財務省)に入省

外務省在ニューヨーク日本国総領事館副領事、三重県総務局 長、大蔵省主計局主計官、財務省理財局国債課長、環境省総

合環境政策局総務課長などを経て、2002年退官

2003年10月より関西学院大学教授 2006年10月~2018年9月

「NEWS ZERO」(日本テレビ系列) メインキャスター



村尾 信尚さん

▲司会·進行 相沢早苗さん

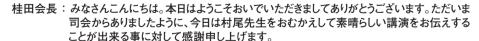
第54回かまた祭の初日11月2日(土)、15:00から「NEWS ZERO」元メーンキャスターの村尾信尚さんをお招きして、「平成でやり残したこと、令和でやるべきこと」というテーマでお話をしていただきました。



▼ 相沢さん -

みなさんこんにちは。本日、12年間に渡りまして「NEWS ZERO」のキャスターを務められてこられ、日本テレビの"夜の顔"といいますか"報道の顔"としてお馴染みだった村尾信尚さんに「平成でやり残したこと、令和でやるべきこと」をテーマにご講演頂きます。

その講演に先立ちまして日本工学院専門学校校友会会長の桂田忠明より皆様にご挨拶をさせ て頂きます。



校友会には、当校の卒業生が約15万人居るわけでございますが、この様に学園祭に合わせまして講演会を催しております。毎年素晴らしい先生をお迎えして講演させて頂いております。今日は最後までごゆっくりと楽しまれていってください。

相沢さん:先ずは村尾先生のプロフィールを簡単にまとめさせて頂きました。こういったプロフィールを拝見しただけでもほんとに色々な引き出しをお持ちの方だなというのが皆様にもお分かりいただけるかと思います。私たち女性キャスターも、色々なお話をする時に、村尾さんがおっしゃるように「より短くより易しくより静かに」ということがニュースの基本原点なのかなと思っていて、私達の師匠でもあるという方ですね。それでは村尾信尚さんどうぞご登場ください。



▼ 村尾信尚さん

みなさんこんにちは、村尾でございます。司会の相沢さんからですね、お褒めの言葉を頂きまして恐縮しておりますし、この学校に私は今日初めて来たんですけども、この立派な設備、それから学生さんの生き生きとしたお顔や表情を見まして、こんな素晴らしい学校で今日私が90分位お時間を頂いて講演できることを光栄に感じております。相沢さんの語り口を聞いてお分かりいただける様に、非常に流暢に話されますね。(それに比べて)私の語り口は"とつとつ"と、またあまり呂律(ろれつ)もまわってませんし、アクセントも昔から「お前は変だぞ」とよく言われたんです。(笑)

さきほども(私の)経歴がありましたように、実は私は学校を出てから「アナウンサーになりたい」とか、「キャスターになりたい」という思いでここまでやってきた訳では全くなくて、「NEWS ZERO」のキャスターは51歳から始めました。それまでは私がテレビで話すなんてことは思いもよりませんでした。中国のことわざに「人間万事塞翁が馬」と、いったい色んな出来事が幸福なのか不幸なのかよくわからない。とにかく人間いろんな事がある。そういうなかで、人生そういうものだと思いますけど、私もまさに「人間万事塞翁が馬」で、まさかキャスターになったり、あるいはこうやって皆さんの前でお話できるとは夢にも思いませんでした。という事で先ずは色々資料を準備してきましたが、話の前半は"何故私がこういったふうになったか"を、お話させて頂いたほうがいいかと思います。

私は学校を出まして、あんまり評判のよろしくない大蔵 省、今の財務省に就職をいたしました。「国のために公共的 な仕事をしたい」と、公務員を目指しました。公務員をやっ ていたのですが、私の人生で大きな転機があったのは38~ 39歳・不惑の年の少し前だったんですが、大蔵省の本省から 「村尾、三重県の総務部長に赴任してくれ | と辞令がありま した。霞ヶ関の人事は、大学出て役所に入って何年かはずっ と霞ヶ関勤務ですが、やはりいつも同じパターンで仕事して いたらその人の視野も広がらないし、大体30歳の後半くらい になると海外か地方自治体に出向という形で出されるんで すね。私も三重県の総務部長に出たんです。それが私の大 きな転機になったのは、私が赴任した1995年という年でした。 1995年というのは阪神淡路大震災が1月にあった年なんで す。私が赴任したのはその夏以降だったんですけども、たまた ま私が三重県に赴任して少したった時に、三重県の市民オ ンブズマンの方々が三重県庁に対して「職員の"出張命令 簿"、この記録を公開せよ」と要求があって三重県の職員が 公開したんですよ、市民の皆さんに。その出張記録の1枚に こんな記述があったんです。「1995年1月17日。阪神淡路大 震災の日に、三重県庁の職員が新大阪から九州方面に新幹 線を使って行きました」という記録が出てきたんです。これを 新聞記者が「あの阪神淡路大震災の日に新大阪から新幹 線は1本も出ていない。これは何だ ということになって、"カ ラ出張"つまり出張には実際行っていないのに、職員が出張 に行きました、という嘘の記載をして出張旅費をごまかしてい た、それが分かり県内大騒ぎになって。私はそういったスキャ ンダラスな事を一手に扱う総務部長だったものですから、私 のところに三重県の県民のみなさんからお叱りの電話、抗議 の手紙「こんなことをやっている三重県にもう税金は払わな い」といった内容で大変なことになって、私の上司、三重県 知事の北川正恭(きたがわまさやす)※1さんという改革派の 知事さんだったのですが、知事に相談して「もうこれは膿を全 部出し切りましょう」という事で、県庁の職員に「これから何月 何日までに、カラ出張やった人は正直に手をあげて僕に教え てくれ」と言い。そして「その期日までに教えてくれたら、それ は全部組織がやったことにして皆さんの名前は一切公表しま

せん。これは組織ぐるみでやったことにします。ただ、その期日を過ぎて後で分かってしまったら個人名を公表します」と調査をやったところ、出るわ出るわ、ものすごい額で、2年半位で11億6千万円やってたんですね。これは私もびっくりしました。そして全部公表しました。というのも公表して。そして返済計画も公表しました。これから10年かけて金利も含めて12億ちょっと。これを職員全部で返します。



現役の部長職、これからの10年間の間に部長になった人は給与から例えば毎月2万円差っ引いていく。運がいいか悪いか退職しちゃった人は退職金から例えば100万円三重県に返してもらう。というようなことで10年かけて完済したというような事。これが私の大きな転機になりました。

私はとにかく役所に入って「日本を良くしたい、地域を良くしたい」と思ってやってきましたが、やはり身内の中で色んな事が行われていた。曇りガラスの中で、住民の皆さん、納税者の皆さんに見えないとなると、色んな悪いこともやっていた。私もこれからは役所を変えるんだったら役所の中の改革ではなくて、住民の皆さんと外部の目を取り入れた改革をしていかないと駄目だ、ということを三重県の時に痛感したんですね。それから改革派の知事さんでしたから、知事と一緒になって行革をやりました。行革は徹底的にやりました。組織の改革ですから三重県の職員には本当に嫌われました。当時、私に付いたあだ名が"江戸から来た悪代官・村尾""デーモン村尾"だとか言われながら、一生懸命三重県で改革をしました。恨まれ、嫌われ、3年間の三重県総務部長を終えて大蔵省に戻ってきました。

それからは主計局で予算を担当しました。主計官という事で、私が担当したのは通商産業省、今の経済産業省と外務省の予算を担当しました。その後に理財局で国債課長をしました。国の借金の国債です。国の大借金課長でした。もう国の予算というのは主要先進国中、最悪の財政赤字。借金なんですね。財政赤字というのは別の言葉で言えば、将来の子供たちへの大増税になります。これ借金ですから、誰かがいつかどこかで返さないといけません。若い人たちにとって他人事じゃない話なんです。そういうことを次の世代の人たちに伝えたいという思いがだんだん私の心の中に膨らんできて。そのときに先ほど言った様な体質の霞ヶ関だとか永田町、「こういう所で私なりに動いてもなかなか限界があるな」と思い始めたころに国債課長が終わり、そして環境省の総合環境政策局で地球温暖化にも携わりました。地球温暖化はほんとに若い人にとっては他人事ではない問題なんです。

ちょうどその頃に三重県で私の上司であった北川正恭さんから「選挙に出ない?」「知事に立候補しない?」というのが聞こえてきて。あれだけ私、嫌われていたのですが、三重県の県民の皆さんから「何のしがらみも無い村尾さんが知事としてやってくれないか」といった話があって、私も中央省庁での限界も感じて生きていく中で、その声に背中を突き動かされる。そんな思いがありまして、霞ヶ関を飛び出しました。「選挙に出る」と。選挙に出るにあたっては、とにかく一切の既存の政党の支援は受けない、純粋に無党派という事で出ました。24年間役所には勤めたんですが、そのときにもらった退職金が1480万円でした。この1480万円を持って三重県に行きました。家族は猛反対でしたので単身赴任で三重県に行って、

選挙をして、結果は負けました。退職金も"ゼロ~♪"って感 じですね。

「退職金も無くなる、仕事も無くなる、これからどうしようか」 と思ったのが2003年でありました。ただ、これからどうやって 食べて行こうか、となった時に、たまたま私の知人が関西学 院大学の先生をしていて、"関西学院大学"、関西では有名 な学校なんですが、関東の方では知名度も十分ではなかっ たので、「関西学院大学の東京オフィスを作るので村尾さん そこの教授をやってくれないか? という本当に有り難いお 言葉をいただきました。もしその時に日本工学院から声が掛 かっていたら私は日本工学院の先生になっていたと思いま すけど。当時、関学の東京オフィスに勤めることになりました。 当時1年契約という事で、今まで契約更新しながら関学の先 生をしております。

こうやってようやく落ち着いたかなと思っている時に、「村 尾さん、三重県で立候補した時に大蔵省出身だということで 嫌なヤツが立候補してきたな、と思っていたけど、話を聞くと 非常に青臭いことばかりを言っていて、この人はとてもじゃ ないけど当選はしないな、と思ったけど、その気概に惚れた んで、私の知っている人がテレビ局に居るので、一回テレビ に出たらどうですか?」という話があったんですよ。それで私 も「地域を変える。世の中を変える」といったことをしたいと 思っていたので、「私でよければテレビのコメンテーターか何 かで出して頂ければ という事で出たのが土曜日の朝にやっ ている「ウェークアップ! | ※2という番組があって。今だと司会 が辛坊治郎さんがやっている番組※3があるんですが、私が 初めて出たときは桂文珍さんが司会をされていました。それに 初めて私はテレビに出たんですね。今でも忘れません、文珍 さんが「村尾さん緊張していますね。テレビで生で話すコツ はインパクトのあることをコンパクトに言うんですよしと。桂文 珍さんに言って頂いたんですが、この言葉、今でもそのとおり だと思います。それから幸運にも各局で声が掛かってコメン テーターをやっていたんですが、3年くらいたって2006年の夏 に日本テレビの報道局から「村尾さん一回ご飯でも食べませ んか」という話があって。六本木の中華料理屋で日テレの報 道局7~8人とご飯を食べたんです。その時に報道局の関係 者から「村尾さんまた今度選挙に出るおつもりはあるんでしょ うか?」と聞かれ、「体でどこか調子の悪いところはあるんで すか? などと色々と聞かれるんですね。 「選挙はもう懲りまし たしという話をしました。「お蔭様で身体は、今どこも悪いとこ ろはありません」と話しました。それから一ヵ月後くらいに日本 テレビから「村尾さんお話があるんですが」と呼ばれ日本テレ ビに出向き、担当者が「実は日本テレビは過去52年間、夜の ニュース番組は『きょうの出来事』※4というのをずっとやって きました。このニュース番組をそろそろ畳もうと思います。つ いては新しいニュース番組。これは若い人が見る。若い人が 聞くニュース番組。若い人向けに作るニュース番組を作りた いと思います。村尾さんどうですか、この考えはしということで。 「それは本当にいいことだ。私も大蔵省で、あるいは環境省 で仕事をしていて財政赤字の問題、地球温暖化の問題、こ れはこれからの子供たちお孫さんたちが避けて通れない課題 だと思います。私も三重県知事選挙に出て痛感したのは若 い人たちがなかなか投票所に行ってくれない。こんなことで は将来日本が心配でたまらないんで。そういう若い人たちの 為のニュース番組を作るのでしたら、私は何でも手伝います よ。例えば原稿書くとか、コメンテーターやるとか、そういうこ とで協力させてもらいたい」と言ったら向こうも、「ありがとうご ざいます。村尾さん、私どもに共感してもらえるのでしたら私 どもで頼みたいのですが、村尾さんにお願いしたいのはメイ ンキャスターをお願いしたいんです」と言われたんですね。私

は「ちょっと待ってください。私はその時50歳。50歳のおじさ んで、あんまり評判の良くない財務省出身で、しかも選挙に 負けて三重県民からはもうお前は駄目だと言われたこんなお じさんが、テレビの画面の中央に座って若い人たちに語りか けても誰も聞いてくれないじゃないか」と言いましたら、「そん なことは村尾さんに言われなくても分かってます」と、「ですか ら村尾さんの隣には小林麻央さんを付けます」と。小林麻央 さん、癌で亡くなられてほんとに残念ですが、「小林麻央さん を付けます。それから月曜日には"嵐"の櫻井翔君を付けます。 それからご意見役としては星野仙一さんを付けます。そういう ように村尾さんの周りには大きな浮き袋を付けます。その浮 き袋につかまって、ニュースという大海原に飛び出してみま せんか」といって。スタートしたのが「NEWS ZERO」※5であ りました。

最初はほんとに評判悪 かったですね。大体ニュー スでですね、役人上がりで 選挙に落ちた人間が真ん 中に座って、周りをタレン トで固めている。そんなこ とでニュースがしゃべれる のかという事で、散々な評 判でした。視聴率もニュー スゼロじゃありませんけど 「視聴率ゼロ」とよく言わ



れました。そういう中でもなんとか死に物狂いで頑張ってきた 12年間ではありました。最初も、私は自分の言いたいことも いっぱいあるもんですから、私が言う。そして周りがどのような 反応をするのかと、非常に気になってもいました。色んなメー ルが来ます。私もそれを見させて頂いたんですけど。悲しいこ とに私の言っていることへのレスポンスというか、反応がほと んど無いんですね。どんな反応が来てるかというと、「村尾さ んがこの前フリップを使って説明していたが、その時の指の 爪が伸びていた」と、「切ったほうがいいんじゃないんですか」 とか、「櫻井翔くんとネクタイの柄があっていませんでした」と か、「髪の毛が乱れていたので、もう少し整えたほうがいいん じゃないんですか」とか、やはり見た目なんですね。見た目が すごく大事とか。正直、テレビに出るまで、私は見た目は気に していませんでした。キャスターになってから初めて、上着に ハンカチをさしました。あのポケットチーフも普通のハンカチ ではなくて、それ用の物があるのもキャスターになって初めて 知りました。今まで気を使っていなかったのですが、その時ス タイリストさんとかメイクの方に言われたのが「村尾さんがど んなに自分の言いたいことをしゃべっても、視聴者の心の中 に届かなくちゃ駄目なんです。そのためには身なりはちゃんと やってもらわないと、テレビを見ている人は "ちょっとネクタイ が"とか"ちょっと髪型が"とか気になっちゃうと、その人がど んなに良いことを言っていても見ている人に届かない。だか ら私たちメイク、スタイリストたちがしっかりやっているんだよ と。なるほど、メイクさんのパワーやスタイリストさんのパワー、 こういう方々がテレビを支えているんだなと痛感いたしました。

そういうことで50歳を過ぎて、それまで経験をしたことが無 いようなこともいっぱいありました。12年間、夜の11時から始 まる番組だったんですが、私は夕方の4時から会議をずっと やりました。4時からやっていたんですが、テレビ局の人のとこ ろへ役人上がりの私が行っているもんですから、"アウェイ" という感じなんですけども。そこで色んなニュースの内容を 大激論しました。これは12年間繰り返していました。最初のと きに、ある有名女優さんの結婚式があるということで、4時の 会議でスタッフからはそれを「NEWS ZERO」のトップに持っ てくるという事で打ち合わせの資料が配られたんですね。私 は、それは駄目だと。「NEWS ZERO」はニュースなんだから。 女優さんのニュースをやること、これは全く反対しない。でも トップに持ってくることはないんじゃないか、と。トップは政治 や経済、そういう硬いニュースをもってくるべきじゃないかと 大喧嘩しました。彼らは、わかりました。村尾さんの案通り政 治経済をトップに持ってくると。しかし現実、視聴率が悪いん です。例えば仮に5%とすると、1%100万人が見ているとし て、政治のニュースで始まる最初は5%で500万人しか見て いません。その後、大女優さんの結婚式になると視聴率がグ ンと跳ね上がって10%くらいになる。1000万人の人が見る。 こういうふうに始めるか、最初に結婚式から始めると視聴率 は10%から始まる。そして2番目に私が提案したニュースを始 めると一気に急降下で視聴率は落ちる。ただ問題は最初に 10%から始めると徐々に9%、8%、7%・・・5%まで落ちる。そ の分だけ視聴者の数は増えているんですね。最初に5%から と最初に10%からのグラフを渡されて、「村尾さん、どっちを 選びますか? と言われて、結婚式からで行こう。ということに なったんですが、この様に初めて私もテレビの世界に身をお いて「なるほど面白いな」と思いました。

先ほど相沢さんの方からも「より短く、より易しく、より静か に」とありましたけども、私もほんとに我流で、アナウンサーと してのしゃべり方とかしっかりした訓練は受けてませんが、12 年間で私が体得したのはその3つでした。とにかくテレビは、 皆さん方でご存知の方が多いとおもいますけども、時間との 戦いなんですね。私は1時間のニュース番組をやっていまし たけれども、「こんばんは」から「また明日」まで、私、実質何 分くらいしゃべってたと思います? 番組の中で。大体平均す ると2分半~3分ですね。それくらいしかしゃべりませんでした。 しゃべりたいことは山ほどあるんですが、2分半~3分にまとめ る。これは大変な作業でした。4時の会議が大体5時半~6時 くらいに終わったときに、私は自分のしゃべる事は、自分で原 稿を書いていましたけれども、自分が最初に書いた分量の原 稿は自分が納得してその時間に収めるように、大体1/5まで に削っていく。そんな作業を毎日やっておりました。「より短く」 というのはものすごく重要であります。

次に「より易しく」というのは「ラヴ・ミー・テンダー」のテンダー (優しい)じゃなくて、「Easy to understand」要するに「理 解するのに易しく に意欲をかけました。例えば 「地方交付税 交付金 | が来年度10%増加します。よくテレビとか新聞で言 うんですけども、「地方交付税交付金」という言葉を知って いるのは、私は100人中1人か2人だと思います。「地方交付 税交付金」というのは例えば、兵庫県西宮市のような自治体 に、国が使い道を決めないで渡すお金のこと。これを「地方 交付税交付金」という。こういうことをちゃんと言わないと視 聴者の皆さんは何のことか分からなくなる。だから私はできる だけ専門用語は使わない。安全保障法制の時にも「存立危 機事態 |とか「集団的自衛権 |とか難しいことがいっぱい氾濫 しました。で、私がこれだけは使おうと思ったのが「集団的自 衛権」でしたけども、それ以外の言葉は中学生でも分かる言 葉を使いながら解説した記憶がありますけども、とにかく易し く話をするという。

最後に「より静かに」なんですが。私は最初「皆さんの心の 中に届くには、笑ったり怒ったり泣いたり、感情を表現豊かに やったほうが自分の気持ちが相手に届くな」と思ってやって いたんですが、どうも届いていない気がしました。やはり淡々 と、むしろ控えめに。当然ニュースに接して自分の感情は起 こるんですけども、その感情は極力出さずにセーブして客観 的に静かに語ったほうが、どうも視聴者の皆さんよく聞いてく

ださるんじゃないか、というのが私の感想です。こういう会場 でも、私が興奮してしゃべっていると皆さん引いていくんです よね、だんだんだんだん。むしろ私が淡々と静かにしゃべって いる方が、皆さん方も乗り出して聞いてくれる。そんな思いも あって、私、この3つを語りの三原則という事でやらせて頂い たんですが。私も「NEWS ZERO」をやりながら何を考え、そ して「平成」という時代、それから「令和」という時代に何を 思っているのかということを、これからお話させて頂こうと思 います。



まず私が一番気になっているのは、日本の人口がこれから どんどん減っていくということです。既にご承知だと思います が、2015年に1億2千700万人の人口が50年後の2065年 には8.800万人に、4.000万人弱減るということ。これは国立 社会保障人口問題研究所の出生率も平均程度、死亡率も 平均程度の推定に基づいて出した数字ですけども、この50 年間の減少4000万人弱。これを50で割ると1年間にいった いどれだけの人が日本列島から消えていくのか。ということに なりますが、78万人、約80万人弱です。80万人の人が今後 50年間に渡って日本列島から消えていく。この80万人という 数字はですね、県でいうと福井県。福井県が大体80万人の 人口ですから福井県まるごとの人口の規模が毎年減ってい く。減っていくのは何を意味するのかというと、牛乳を飲む人 が減っていく、電気を使う人が減っていく、車に乗る人が減っ ていく、道路を使う人も減っていく。一方で洋服を作る人、自 動車を作る人、そういう方も減っていく。つまり、消費も減っ ていきますが、生産も減っていく。経済活動がどんどん縮小 していくということになります。これが大きなインパクトになっ ている。もう既にきていますけどね。人手不足について安倍 さんはこれを「アベノミクス」の成果だと言いますが。私は「N EWS ZERO」でも言いましたが、そもそも人口が減っている んだから当然の話であります。【図1参照】

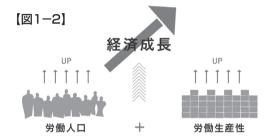
【図1】日本の人口の推移

	2015 年	2065 年	15年→65年
総人口 (万人)	12,710	8,808	約 78 万人 / 年減少
a:15~64 歳 (万人)	7,728	4,529	約 64 万人 / 年減少
b:65歳以上(万人)	3,387	3,381	42 年ピーク(3,935)
a/b	2.28	1.34	働く世代の負担増

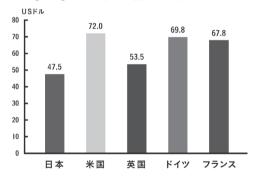
さらに私が注目しているのは、この表をご覧ください。総人 ロを2つのグループに分けます。aというのは15歳から64歳 の働く世代の人口です。bは65歳以上の人口ですが、これの

● 令和元年度「会員の集い」(特別)講演会報告

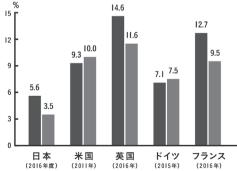
「a/b」これは何を意味しているかというと、65歳以上のお 年寄り1人を支えるのに何人の若い人たちが必要かというこ とになります。2015年で2.28人、今2人の若い人たちで1人 のお年寄りを支えている構図になっている。2015年時点で も世界の平均は4前後です。ですから、もう日本は既に少子 高齢化の中に世界でもいち早く突入していますから、これだ けでも低いのですが、それが2065年になると、もう約1なんで すね。ですから本当にこれから若い人たちにとっては大変な 負担になります。お年寄りを1人自ら支えていかないといけな い。というわけで、日本の子供たちの将来は非常に厳しいこ とになるわけなんですけども、こういうことを考えると私は基 本的には日本経済はこれからも成長して行かなくては、とても じゃないけれどもお年寄りを養うに足る経済力は維持してい けない。これからの日本の経済成長は必要と考えますが、経 済成長をするにあたって必要な条件は2つあります。1つは 「働く人の人口」これが増えること。もう1つは一人当たりの 「労働生産性」が増えること、もし仮に働く人が減っていて もそれを上回る労働生産性の上昇があれば経済成長はする んです。とにかく、この2つが要因になると思います。



【図2】時間当たり労働生産性:2017年



【図3】 開業率(左)・廃業率(右)



先ずはこの「労働生産性」から見ていきたいと思いますが。 これは労働者1人あたりの時間当たり労働生産性。私がこれ

から議論する数字というのは基本的には国際機関の数字や 日本国の政府の数字、あるいは公的機関の数字を基にして 議論して行きたいと思いますが、日本生産性本部※6の出し ている数字ですけども。この表【図2参照】の中に、日本、アメ リカ、イギリス、ドイツ、フランスと書いてありますが、G7という と後はイタリア、カナダがあります。G7諸国の中でも日本が 一番労働生産性が低いですね。1時間働いて日本は47.5ド ル位の価値しか生み出しませんけどアメリカに至っては72ド ル。日本は労働生産性が低いって事なんですが、その背景に は色んな要因があると思います。私が1つ指摘しておきたい のはこちらの表です。【図3参照】

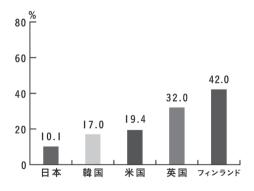
先ほどと同じ国が同じ順番で並んでいますが、これは開業 率と廃業率。新たに会社を起業する、お店を開く、これは開 業率。廃業率とは今まであったお店を畳んでしまう、今まで あった工場を止めてしまう、という廃業率。これを見ると、日本 というのは開業率も廃業率もG7中最低ですね。人間の体 でいえば古い細胞がなかなか死なずに新しい細胞がなかな か出てこない。新陳代謝がよくない、ということになる。私は 日本の労働生産性が低い、色んな原因がありますが、これは その1つだと思います。ここに経済産業省関係の人が居ると まずいかもしれませんが、「私はどうも日本の産業政策で、色 んなところで消費者からは『この店もう撤退したほうがいいん じゃないの』『もうこの会社はいいものも作ってないし止めて もいいんじゃないの」と市場からどんどん淘汰されていくべき なんですけども。」それを私は、前に主計官として通産省を 担当していたからよく知っていますけども、"物つくりなんとか 補助金"とかですね、地域で"〇〇商店街活性化補助金"と かいう補助金がいっぱい私達の税金から出しているんです が、そういう補助金がそのお店で働いている人には確かに有 り難いかと思いますが、そういうことで古い体質のお店や企 業がいっぱい私達の税金で生き延びている、ということが私 は一つ大きな原因だと思います。私はどうせ税金をつかうの であれば、そういうお店は消費者が「もうこれは駄目なんだ」 というのであればどんどん退散して頂いて、そこで働いてい た従業員を新たな分野で転換するための教育、そういうこと に私は税金を使って欲しいんだけれども。 "雇用者" じゃなく て "雇用者を雇っている企業" を守っちゃうとこういうことにな るのではないかという、私の一つの考えであります。こういう ことばっかり私も三重県で発言してきたりやってきたので、商 工部の皆さんには嫌われてきたり、選挙では落ちるんですけ ども、こういうこともしっかり考えなくてはいけないというのが 私の考えでもあります。

ここで今お話しておきたいのは、「日本を動かすには二つ の券があればそれで十分だ」ということを私は若い学生たち に言っています。一つはもちろん"投票用紙"、これはA党B 党C党あるんだったら政党を選択する。それによって政党も 変わりますし、という意味での投票用紙。もう一つの券は"日 本銀行券"。お財布の中にあるお札ですね、日銀券。これを どこの企業に投票するのか私に言わせると、日ごろ皆さんが 行っているショッピング、買い物というのは日銀券による投票 行動だとおもいます。例えばですね、スターバックスが「プラ スチックのゴミの投棄を止めよう」と、「スターバックスで出 すプラスチックストローは止めます」となった時に消費者の 皆さんが「スタバ、いいことやっているじゃないか。これからは スタバでコーヒー飲んでみよう」。ということで、スタバのお 店に行ってコーヒーを飲むということは、つまり自分の日銀券 を、今、企業の中で環境にやさしいこと、それから女性の役員 が多く出てる、あるいは子育て支援をやっている企業に対し て消費者がそういうことはいいことじゃないかという。その商 品を買ってみようと、消費者自身が消費行動を起こして動い

ていることでありまして。そういう日銀券は、私は社会を動か す大きなツールになっていると思うんですね。だから消費者が 「もうこれは買わないよ」と言っているものを、生きながらえさ せる事、これはほんとにどうなのかと思います。

今、私は労働生産性の話をしましたが、働く人の問題につ いてに入りたいと思いますが、働く人がどんどん減っていく中 で、私は徹底的に、これから重要なのは"女性の皆さんの社 会参加"だと思います。これは象徴的な数字としてあげさせ て頂きましたが、日本、韓国、アメリカ、イギリス、フィンランド、 国会議員に占める女性議員の割合です【図4参照】。女性の 進出は、私は、これは本当に何とかしないといけないと思いま す。私は24年間霞ヶ関で、男性社会の中で働いてきました。 その後の12年間は「NEWS ZERO」で、これは男女フィフ ティフィフティでした。スタッフも。どっちが効率的で優秀だっ たのかというと圧倒的に「NEWS ZERO」です。霞ヶ関の男 性だけの社会、しかも同じような教育環境で育ってきた人間 ばっかりがいるこの集団は、想定外な出来事が起きると全く 駄目です。今まで決まっていたことを闇雲に守っていくだけ。 IOCがマラソンを札幌に変更しました。いいか悪いかは別と して、日本はとにかく「東京に決まっちゃったんだから」という。 あのIOCの決定は賛否両論ありますし。いろいろあると思い ますけども。とにかく土壇場でああいう決定をしていく、という 発想は、少なくとも霞ヶ関には無かったですね。どんどんこれ から世界が動いていくという時にああいう男性だけの社会意 思決定、あれは私は本当に致命的だと思います。一方で「N EWS ZERO というのはテレビ番組ですから、生放送で色 んな反応が返ってくる訳ですね。それについて臨機応変に対 応していく。あのときに私も女性の皆さんの発想、アイデアで どれだけ救われたのかわかりません。と、いう意味でも女性の 皆さんの職場、社会への進出、これによって初めて私は日本 の組織も良くなるという思いがあります。

【図4】女性国会議員数の割合:2017年

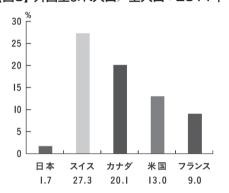


この女性の話が1つと、もう1つは外国人労働者でありま す。これは、その国の総人口における外国生まれの人の割合 なんですが、日本は1.7%、スイスが27.3、カナダが20.1、アメ リカが13.0、フランス9.0という【図5参照】。

私もカナダの大使館の関係者と話をしましたけれども、カ ナダは毎年、移民は人口の2割は入れるという方針を決めて います。日本はまだまだ移民というところまでは程遠く、労働 力として入れるとしていますが、カナダは将来のカナダを背 負ってたつ人材を外国生まれの人に求めている、というよう なことをちゃんと言っています。必ず5人に1人は外国生まれ の人を入れています。今のカナダのトルドー首相※7ですけど も、トルドー首相の最初の内閣の閣僚名簿を見たときに驚



【図5】外国生まれ人口/全人口:2011年



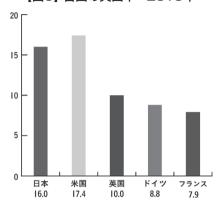
いたんですが、男女半々なんです。外国生まれの人も相当 大臣の中に入ってきている。多様性が強みだというのを示し ているのがカナダでありました。今日、ラグビーワールドカップ 決勝戦※8でありますけれども、日本のチームも多国籍軍で 頑張りました。あのときに正直いって皆さんの心の中に「何で こんな人が入っているの? 日本人だけの姿を見たかったわ」 と思っている人は、私は少なかったと思います。やっぱりあれ だけ「ワンチーム」と皆がこぞって応援したように、それがラグ ビーだけじゃなくて日本社会全体にそういった空気を生み出 していくことが出来るのか、これが大きく問われる事だと思い ます。日本人の中には、外国人が入ってくると、っていうこと で懸念を示す人もそれは少なくありません。これは大いに議 論すべきなんですけども。このことをちゃんとやってもらわな いといけない、というふうに思います。

そしてもう一つ私が非常に心配しているのが「格差の拡 大」なんですね。これは各国の貧困率【図6参照】って書いて ありますが、貧困率っていうのは、例えば101人の国があると します。101人の国で1番収入の少ない人から大金持ちまで 順番に並べていったときに、51番目の人、ちょうど中間に位 置する人の所得の半分以下の人が、101人の中で何人居る か、って事を示したのが貧困率です。平均値でみると、断トツ にお金持ちの人が一人でも居ると、平均値が上がってしまう。 ですから中間に居る51番目の人の所得の半分以下の人が、 全人口101人の中で何割居るかという。これでいくとアメリカ がトップなんですね。17.4%、要するに貧富の差があるという こと。日本は16%、アメリカに次いで2番目なんです。この格 差の話、2010年で数字が古いんですが、リニューアルされて いる数字をちょっと見ると、この傾向は変わっていません。格 差が開くっていうのは、中国の昔のことわざに「足らざるを憂

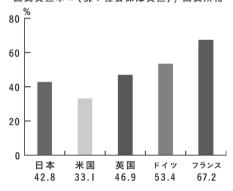
● 令和元年度「会員の集い」(特別)講演会報告

えず、等しからざるを憂うしという言葉があります。皆が皆貧し かったら社会にあんまり不安は起きないんだけれど、一人で も有利な人、合理的な理由も無いのに優遇されている人が 居ると社会は混乱する。との例えでよく使われますが、私はこ の格差という問題は非常に重要だと思います。

【図6】各国の貧困率:2010年



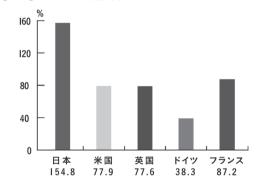
【図7】各国の国民負担率:2016年 国民負担率 = (税+社会保障負担)/国民所得



この国別を念頭に置いて、次の表を見てもらうと、これは 各国の「国民負担率」【図7参照】、例えば100万円の所得が あった時に「あなたは税金と社会保険料、いくら納めているん ですかしという割合であります。日本は100万円の所得がある と、税金と社会保険料で42.8万円納めてますが、フランスは 67.2万円つまり7割弱、税金と保険料で取っていかれる、そ んな国なんです。だけどもやはり先ほどの格差の話で見ると 「国民負担率」が高い国ほど格差は大きくないんですね。そ れはある意味当然といえば当然で、国という所が仲介して、 お金持ちから多く税金を取って貧しい人にそれを分配して いるという、政府の所得再分配の機能があるからこうなるん ですけども。こういう話、これからは格差も開いてくる。それか ら気候変動、環境の問題もあります。災害も多発しています。 政府の役割はこれから大きくなる一方だと思います。

ここからちょっと私も本業にしてたんで、お話ししたいのは、 政府の借金のことなんですね。申し訳ございません、私は易 しい言葉を使うべきなのに、難しいタイトルがずらっと並んで いるので謝りますけれども。【図8参照】先ず「一般政府」とい うのは国だとか東京都だとかあるいは富山市などと国と地方 自治体全部を合わせたお役所ですね、それを「一般政府」と 言います。「純債務残高」と書いてありますが、どこのお役所 も大体借金をしています。国も借金しています。だけど、役所、 企業もそうですけども借金と同時に、一方で資産を持ってい ます。例えば、国であると借金多いですけども、国有地、国有 林を持っているし国道というのは国有財産です。空港という のも国有地です。羽田・大阪もそうです。というように国は財 産も持っているんで、国の借金から資産、財産を引いた純粋 の借金の事を「一般政府純債務残高」と言います。これが分 子にきている。それで分母に訳のわからない「GDP なんてい う言葉、これ皆さん聞いたことあるかと思いますが、経済の大 きさなんですね。GDPというのは例えばですね、ある一つの パン屋さんがある。そこでパンを作っている。そして原材料の 小麦粉を40円で仕入れてきてパン1個を作って、そのパンが 100円で売れると売り上げが100円です。売り上げから原材 料40円を引いた60円、これがGDPです。このようにパンだと か洋服だとか車だとか、色んな意味で原材料に労働、機械、 価値を高めていって商品を作るわけですが、この100円-40 円=60円分、これを日本列島、一年間で、色んな人がこうい う経済活動をしている、これを合わせたものがGDP、「国内 総生産 |と言います。これは何を意味しているかと言うと、そ の国に見合った経済規模はGDPと言う経済の力が有るわけ ですが、それに比べてその国の役所が抱えている借金、これ がどの位有るんだ、この棒グラフが高ければ高いほどその国 の実力以上に借金が多い、ということを示していますが、日本 はG7諸国中ダントツなんですね。GDPの1.5倍も役所の借 金残高があるんです。しかも、これは資産を差し引いたネット ※9でもこれくらいの借金が有る、ということになります。

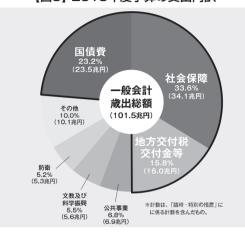
【図8】一般政府純債務残高/GDP:2019年



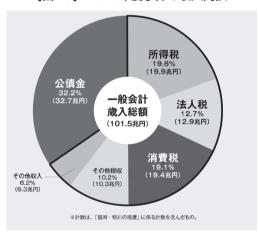
申し訳ございません「お前は財務省の回し者ではないか」 なんて言われるかも知れませんが、ちょっとここだけ話を聞い ておいて頂きたいのですが、今年度(2019年度)の国の「一 般会計」の予算。【図9参照】これまた「歳出」なんて真ん中 に書いてありますが、「支出」です。"兆円"って書いてあると、 皆さんテレビだと必ずチャンネルを回しますから"兆円"と書 いてありますが "万円"と思ってください。そうすると、例えば 国の台所は101.5万円、今年は約100万円支出しますよ、と。 じゃあ、その101.5万円を何に使っているのかと言いますと、 先ずは「社会保障」34.1万円、これは年金だとか医療だとか 家庭で言えばおじいさん、おばあさんの年金だとか介護だと か、そういう社会保障に33.6%、3分の1位です。2番目の大 きなグループは何かと言うと、国債費なんです。100万円のう ち23.5万円は「国債」。国債費というのは、私はそこの課長を していました、これは過去の借金の返済利払い、ローンの支 払いですね。これは4分の1です。3番目は、先ほど私が説明し た「地方交付税交付金」、色んな地方都市に国が使い道を 定めないで渡す、簡単な言葉で言えば"地方への仕送り"で す。今、2019年度に動いている国の予算のほとんどがおじい さん、おばあさんのケア。過去の借金の利払い。それから地 方への仕送り。ほんとうに日本の東京で、防衛問題だとか災

害復旧だとか教育だとか、そういうことに使えるお金というの は、実は100万円の4分の1。この20数万円の中でやってい るというのが現状なんです。ノーベル賞もらった学者さんが ですね、もっと基礎研究のお金を使うべきだ。と言っています が、私もその通りだと思います。が、余りにも借金の利払いだ とか、社会保障がどんどん大きくなり過ぎて、そういうところに なかなかお金がいかないのが現状です。

【図9】2019年度予算の支出内訳



【図10】2019年度予算の収入内訳



じゃあ101万円をどうやって国民の皆さんから頂いている のか、収入の話なんですが。【図10参照】101万円の中で本 来であれば「一般会計 | というのは国民から頂いた税金で もって、皆さん方にサービスをするというのが大原則なんで すね。だから全部これ、税金でやらなくてはいけないところを、 大体62万5千円位が税金なんです。62万5千円の税金の中 でも所得税は19万円位、個人の所得にかかる所得税が大 体19万円、約20万円弱。法人税、会社の利益にかかるのが 大体13万円位。そして消費税、10%に10月からなりましたが、 それが20万円位でこういう税金が合わせて62.5万円。本来 ならば、こういう税金のなかで国民の皆さんにサービスを行う のが大原則だと思います。だけどもなかなか皆さん「101万円 も使いたい、使いたい」と言うもんだから、その他収入ってい うのがあるんですね。例えば家でいえば、「もう給料だけでは 足りないから、使わなくなった家具だとかピアノ、これを売って 少し支払いにあてよう」という。その他の収入というのは、例

えば国有財産を売ったり、そういう事をしている。それでも足 りないものですから「公債金」、これ借金であります。「国債」 の発行によって得られる収入を公債金と言います。国債を今 年度だけでも101万円の中の32.7万円は「公債金」、つまり 将来の子供たちへの増税であります。それでもって、賄って いるというのが、実は今の日本の姿であります。

【図11】借金(公債)残高

	1998年度末	2019年度末	
普通国債	295 兆円	897 兆円 🛨	一・国民一人当たり 約713万円
^{うち} 4 条公債等	187	282	· 対 GDP比 I58%
特例公債	108	614	

※ 特例公債:将来世代に資産を残すことなく、負担のみを残すもの。 財政法の特例として発行。

今までは、2019年度だけの話をしていたんですが、【図11 参照】平成年間ずっと借金をしてきたもんですから、積もり積 もって2019年度末にはどれくらいになっているかと言うと、全 部で897兆円くらいの借金になっている訳です。この借金も 2つ、「4条公債」「特例公債」と2つ書いてありますが、あえ て言えば、良い国債というのはこの「4条公債」です。4条と いうのは「財政法 |という財政に関する法律の4条にこういう 規定が有るんですね、「公共事業に使う為に借金するのは、 まあ、いいでしょう というような事が書いてあるんです。何で 公共事業に使う借金はいいのかと言うと、道路を作るとその 道路は私たちの世代だけではなくて子供たちが使う、孫も使 う、耐久年数が60年とか100年あればそれくらい使えます。だ から、子供や孫も使うから、そういう資産として残るものは借 金してもいいですよ。と、いうのが財政の法律に書いてある。 それに基づいて出す国債が「4条公債 |といいます。もう一つ の「特例公債」、これが悪い国債です。ここに書いてあるよう に、道路みたいに将来世代に資産を残すことなく、負担のみ を残すもの。子供たちには何の利益にもならない、道路も作 らない、今日のために飲み食いする、その為に借金をする、そ れが「特例公債」。だから財政法もそれを禁じてたんですけど も、「財政法」の特例として、つまり特例の法律を作って、そし て「特例公債」を出した。ここで謝らなくちゃいけないのが、私 はその時の国債課長なんです。私が「特例国債 |を作った訳 ではありませんが、特例国債は平成が始まる前からそういう 法律があってやってきたんだけれども、それに加担した、言っ てみればA級戦犯の一人であります。だからこそ私は役所も 飛び出し、こういうことを子供たちに、若い人たちに言ってこ れを止めさせなくてはいけない、という事を言ってる。私は今 「NEWS ZERO」を辞めてバラエティー番組に出ているん ですが、これから放送始まると思いますが、「特例公債、絶対 駄目 という事を私は言ってますんで。もしご覧いただければ 有り難いと思いますが、とにかく「特例公債 | だけは私は何と してでもこれはもう止めなければいけないと思います。

もう、実は日本の借金897兆円のうち真っ当な「4条公債」 を超えて「特例公債 | 614兆円、GDPを上回った額になって いるという事は、本当、子供たちにとっては大変な事です。た だでさえ少子高齢化が進んでこれから数多くのお年寄りを 養っていかないといけないところに加えて、我々がもう作って しまった財政の借金を、彼らや彼女たちに"増税"という形で 押し付けていいのか、という事であります。私は「NEWS ZE RO」の時でも、安倍総理に対して、この事に関しては厳しく 質問をいろいろとしました。一回、安倍総理にはイヤホンを取 られたこともありましたけれども、だけどこういう事をしっかり、 子供たちや若い世代にわかってもらわないといけないという

● 令和元年度「会員の集い」(特別)講演会報告

のが私の思いであります。

それともう一つは、この地域は台風19号※10は大丈夫だったでしょうか? 東京都内でも多摩川周辺大変だったですし、東北地方、私も先週東北に行ってましたけれども、福島の方はほんとに被害が大変でした。もう皆さん大体、まだまだ温暖化とは関係ないんだと、トランプさんはじめ、一部の人は言ってますけども、だいたい皆さんは地球温暖化が何らかの形で関わっているんじゃないかと考えていると思います。これからの100年間で1.1~6.4℃上がるというのも国連の研究機関の発表であります。【図12参照】

【図12】地球温暖化

(気温上昇)

これまでの 100 年間 0.74℃↑ これからの 100 年間 1.1~6.4℃↑

こういう中で、私は一つだけ皆さん方にお知らせしたい数字として持ってきたのが「電気」。【図13参照】どうやって電気を起こしているのかという事になりますけども、大きく分けて『化石燃料』、石油や石炭、天然ガスを燃やして蒸気を作って、その蒸気をタービンに吹き付けてそのタービンを回してる、つまり「火力発電」ですね、「化石燃料」。それから『水力発電』ですね。ダムを作って。それから『原子力』、「原子力」も要するに核反応を通じて温度を上げて、それでもって水蒸気の蒸気を出して、タービンに吹きつけるんですが、それを化石燃料を燃やすのが「火力発電」、原子力はそれを核反応を用いてやるという違いですけども「原子力」。それから『その他』というのが「太陽光」や「風力」の様な「再生可能エネルギー」であります。これ、主要国を見て日本が「化石燃料」を一番多く使っています。石炭火力もまだまだであります。石炭が一番、二酸化炭素を出します。

こういう現状をこれからどうするのか、原発については福島の第一原発があります。私も福島第一原発の中には12回入りましたけれども。作業環境はどんどん良くなっていますけれども、あれほどの大惨事、本当に「原発をこれからどうするのか」というのは、一つの大きな課題です。が、これを見て、特徴的なのは、ドイツは『その他』が多い。28%再生可能エネルギー、自然エネルギーを使っているのがドイツであります。フランスは非常に地球温暖化についてナーバスな国なんですが、この化石燃料8%というのも、本当に二酸化炭素を出していないんですが、一方で原発が73%と、原発でほとんど電気を起こしているのがフランスであります。

こういうなかで日本というのはどうすべきか、スウェーデンの グレタ・トゥーンベリさんという16歳の女子高生が、毎週金曜 日に学校を休んでストライキをやり始めて、それが大きなムー ブメントとなって、今年の秋の国連総会でも、気候変動会議 でグレタさんが演説をしましたけれども、そういう気候変動と いうのは子供の世代、孫の世代に大きな影響を及ぼすもの であります。

【図13】発電電力量に占める各電源の割合:2016年

	化石燃料	水力	原子力	その他
日本	80	8	2	П
ドイツ	56	3	13	28
フランス	8	П	73	7
米国	65	6	20	9

(注) 化石燃料: 石炭、石油、ガス

これについてどう考えるべきか、私は先ほど国を動かす大 きな手段として「投票用紙」と「日銀券」と言いました。例えば この問題について、皆さん方、今もう小売電気、電気の自由 化が始まっています。だからこの地域(大田区)に住む人も、 もうこれからは東電から電気を買う必要はありません。いろん な会社が「電気を買いませんか」と皆さんの家にも色んなチ ラシが入っていると思います。例えば、私たちが自分たちの 持っている「日銀券」を使って、もうこれからは再生可能エネ ルギーで発電しているところから電気を買おうと、そういう電 力会社と契約を結ぼう、と。今、生協やコープが再生可能エ ネルギーをよくやっていますが、そういうところに皆さん全員、 皆さんのお手元にある「日銀券」を投票するという決断をした ら、これはもう「原発」は明日から全部無くなります。やはり電 力会社が一番欲しいのは、皆さん方の「日銀券」。その「日銀 券 | の行くところに会社は適時反応しながら今まで生きてき た訳ですから、もし、消費者が自分の「日銀券」の投票先を変 えれば。だから私は、「原発」の問題、「原発」が良い悪いは 言いませんですけども、「原発」の問題というのは政治的な 問題であると同時に、これ、消費者だけでも決断できる問題 でもあります。こういうことを我々はどう考えたらいいのか、と いうことも一つ大きな課題だと思います。

今まで私は色々、問題を言ってきましたけれども、「NEWS ZERO」の中でも、とにかく若い人たちにこういう事を伝えたかった。私が話して聞いてくれないんだったら、櫻井翔さんに言ってもらおうとか、又吉さんに言ってもらおうとか、そういう事を考えながらいろいろとやって"若い人たちにわかって貰いたい"という事をやってきましたけれども、まだまだ道半ばです。その中で平成26年版の「子ども・若者白書」が出たときに、【図14参照】これ若者の意識です。「社会を変えられる」と思っている若者の割合なんですが、ご覧の通り各国の若者に比べて、日本の若者が一番低いんですね。私はこのことがほんとうに問題だと思います。先ほど言った少子高齢化の進展、巨額の財政赤字、そして世界的な問題の地球温暖化。本当に若い人たちが、これから超えなければいけないときに、こういう事で本当に良いのだろうか、というのが私の思いであります。

【図14】 若者の意識

今を生きる若者の意識〜国際比較からみえてくるもの〜 平成 26 年版 子ども・若者白書 (概要版) - 内閣府

	日	韓	米	英	独	仏	スウェーデン
社会を変えられる	30.2%	39.2	52.9	45.0	52.6	44.4	43.4
将来の希望	61.6%	86.4	91.1	89.8	82.4	83.3	90.8

今まで話しをしてきたことで、私が今、本当に思っているのは、日本でも"保守"か"リベラル"かだとか、"右"か"左"かという論争の対立がありますが、私はそういうことよりも"今日"か"明日"か。【図15参照】とにかく「明日の世代にツケを回して今日、楽な生活をする」と、そういうことが良いのか、「明日の世代の事を考えて今日、少しくらいは生活が、住みにくくなるかもしれない、不便になるかもしれないけれども、明日の事を考えて今日我慢しようかという政策」、こういう対立の構図に持っていかないと、なかなか日本はサスティナブル(持続可能)な社会にはならないのではないかというのが私の思いであります。

「NEWS ZERO」でも、こういうような思いは言いこんできたつもりだったんですけども、なかなかその思いは伝わらなかったと思います。「NEWS ZERO」を卒業して、もう、一年くらい経ちます。私も色んなところで講演させて頂いていま

【図15】政策の対立軸

保守かリベラルか

右か左か

→今日か明日か

すけれども、今度は若い人たちに向かってこういう事をどんど ん言っていきたいと思ってまして。今後、今日この教室で皆さ んにお話したことを、来年にかけても、今度は全国の高校生、 高校を回って、今、言ったような話をしながら、高校生に「君た ち奮起しろ!」と、「君たちの問題なんだ。右がいいとか左がい いとかの問題じゃない、そうじゃなくて君たちには何の関係も ないのに、これからいっぱい税金を取られるような社会が待っ ているんだよ」と。「こんなに災害が多いと、君たちが色んな 夢を持っていて、色んな夢を追いかけようと思っているのに、 その災害で大変な事になるかもしれない。|「将来君たちの 未来を奪うものとしての財政赤字だとか地球温暖化、こうい うことについて君たちはこれから真剣に考えていってくれよ」 と、言いたいと思うんですが、ただ"今日"か"明日"かとなった 時に、今の政治は"今日"の有権者しか見ていません。だから 与党も野党も有権者に優しい言葉は言うけれども、耳の痛 い事は野党も言わない。たぶん、私の言っているように、「こ れからは行政のサービスカットも増税も必要だ」「とにかく借 金を無くさないといけない」と言った途端に落選します。私も 落選というのは本当にきつかったです。多くの人が私の元か ら離れていくんです。でも、誰かがそういう事を言っていかな いと、これからの将来、何も展望できない。私は若い人たちの 気持ちはよくわかるんです。だって入れたいと思う政党が無 いじゃないですか。そうなんです、今、若者の味方の政党がな いから、だからこそ、こういう若者の世代の事を考えた政治グ ループというのを早く作っていかないと、なかなかこれから日 本は大変な時代が来るな、というのが私の思いであります。

ただ、こういう事を私が言っていましても、皆さん方の中から「村尾、また増税なんていう事を言うけれども、政府のやっていることは信じられないよ」という人はいっぱいいると思います。私が、冒頭ここでお話したような三重県庁のカラ出張もそうでした。まずは、こういう事を皆さんにお願いするんであれば、透明な政府、透明なガラスの中で行政や政治を行うような、そういう体質を改善していくことが真っ先に必要だと思います。

今、私が「平成でやり残したこと、令和でやるべきこと」というのは、今日皆さんにお知らせしたようなことであります。私の考えに対しては色んなご意見があるかと思いますけれども、私のスピーチを終わる事としたいと思います。どうもありがとうございました。







▼ 相沢さん

ありがとうございます。ピシーッと締まって、私、司会という 立場を忘れておりましたけれども、これから今の若者たちに借 金的な物を残してはいけないんだという。そんなことは漠然と 思っていますけれども、やはり基本の根底からご理解されて いる村尾先生なので説得力はやはり凄いなと。本当にありが とうございました。

- ※1 北川 正恭(きたがわ まさやす):政治家、政治学者、三重県議会議員を歴任。三重県知事、衆議院議員、
 - 三重県知事は1995年4月21日~2003年4月20日の2期就任。
- ※2 『ウェークアップ!』日本テレビ系列局で放送された報道・情報 番組。1991年~2005年 土曜日8:00~9:25放送
- ※3 『ウェークアップ!ぶらす』2005年から放送の報道番組。『ウェークアップ!』の後番組。
- ※4『NNNきょうの出来事』日本テレビ系列のニュース番組。1954年~2006年放送。
- ※5 『NEWS ZERO』2006年10月2日~2018年9月29日までは大 文字表記。それ以降は『news zero』
- ※6 公益財団法人日本生産性本部
- ※7 ジャスティン・トルドー 2015年11月4日 カナダ首相に就任
- ※8 2019年11月2日(土) イングランドvs南アフリカ 横浜国際総合競技場で開催
- ※9 net「正味の」「純粋な」「中味だけの」「そのものの」などを意味する
- ※10 令和元年東日本台風 2019年10月12日に日本に上陸し、 関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、 甚大な被害をもたらした。日本政府はこの台風の被害に対し、 激甚災害、特定非常災害(台風としては初)、大規模災害復 興法の非常災害の適用を行った

● 備 考 ●

【図1】国立社会保障・人口問題研究所 「日本の将来推計人口(平成29年推計)」より

【図2】日本生産性本部より

【図3】2018年版「中小企業白書」より

【図4】内閣府の資料をもとに作成

【図8】財務省の資料をもとに作成

【図5】【図6】OECDの資料をもとに作成

【図7】【図9】【図10】【図11】財務省資料より

【図12】全国地球温暖化防止活動推進センターの資料より

【図13】経済産業省・資源エネルギー庁「エネルギー白書2019」より

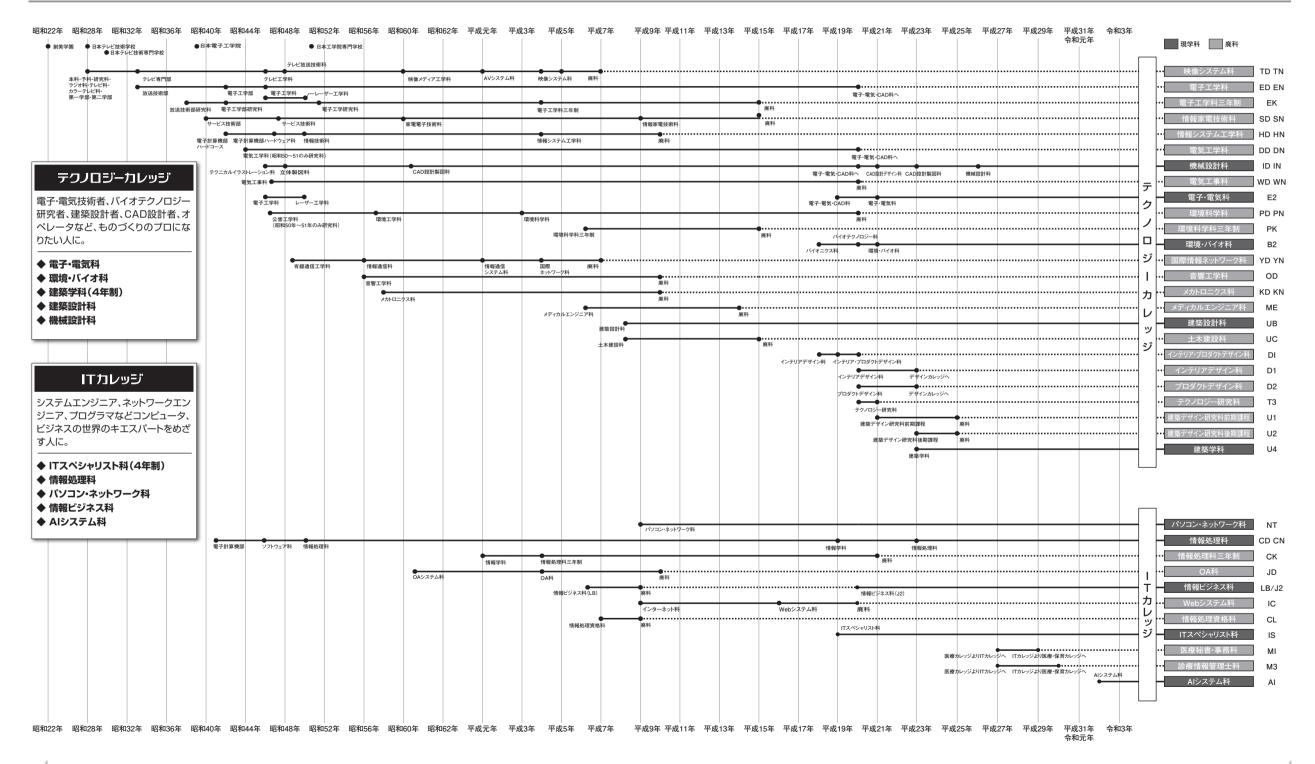
【図14】平成26年版子ども・若者白書(概要版)—内閣府

以上、村尾信尚さんによる特別講演会でした! ありがとうございました!

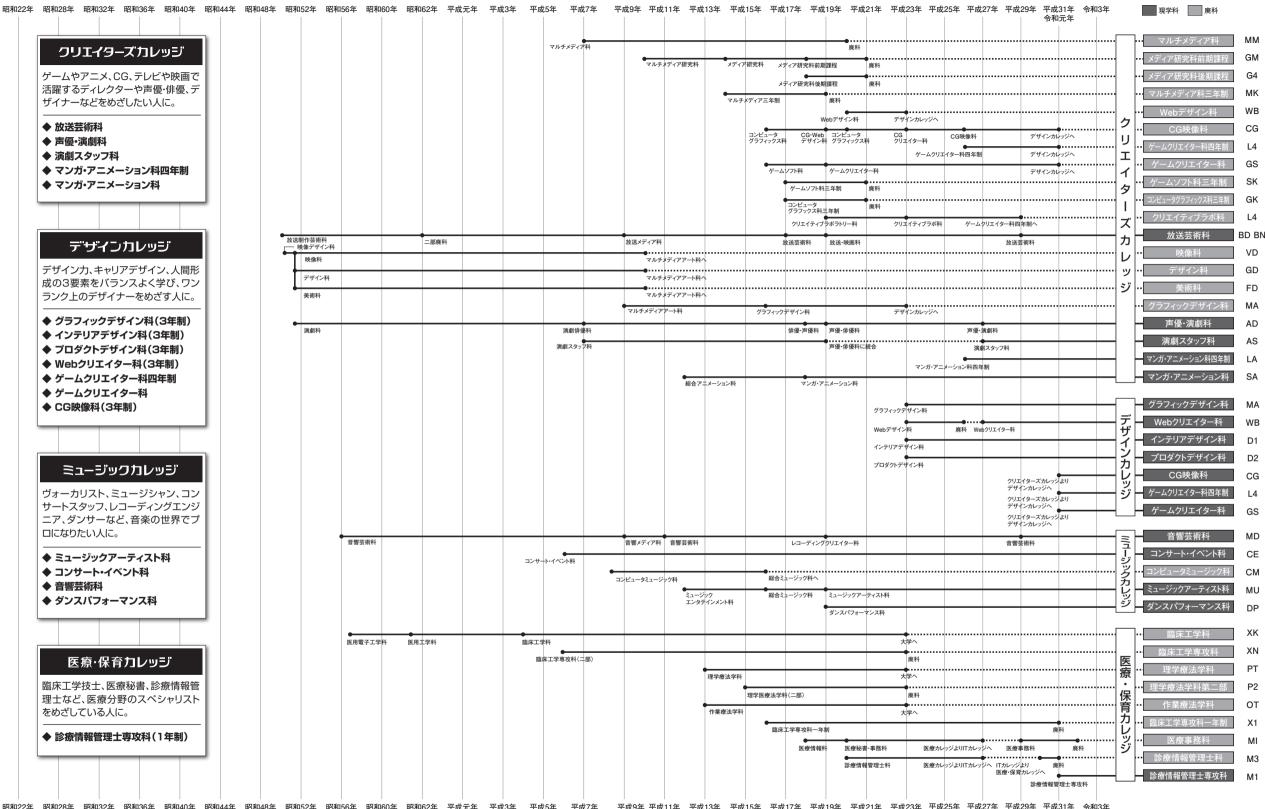
蒲田校 学科の変遷

実践的なカリキュラムで学べば、 あなたの未来は無限大。 あらゆる業界をカバーする多彩な学科群。

日本工学院(蒲田)には、それぞれに高い専門性を備えた6つのカレッジのもと、個々の分野で真に 社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人 として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院 という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。



日本工学院ニュース/学科の変遷



昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年 平成3年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年 平成19年 平成19年 平成21年 平成23年 平成25年 平成27年 平成27年 平成31年 令和3年 令和元年

日本工学院ニュース/学科の変遷 日本工学院ニュース/学科の変遷 59

写真でみる 校舎の変遷

昭和22年(1947年)5月、片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5丁目)に絵画、洋裁教育を目的 に創設された「創美学園」。以来70年以上の歴史を誇る片柳学園 蒲田校校舎の変遷をたどりました。



創立時の校舎



増築校舎が完成



木造校舎が完成



増築した木造モルタル2階建て校舎



1号館が完成



2号館が完成



3号館が完成



5号館が完成



当時の6号館(旧5号館)が完成



7号館が完成



6号館(旧5号館)が完成



8号館が完成



アニメ・デザイン館 (6号館を増築)が完成













● 平成22年4月 新3号館 完成 ● 平成28年7月 新1・2号館、片柳アリーナ 完成

第54回 かまた祭 テーマは「星河一天~生かすそれぞれの個性~」



令和元年11月2日・3日の2日間、第54回かまた祭が実施されました。テーマは「星河一天 ~生かすそれぞれの個性 ~」。夜空に無数の星が帯状になり、川のように輝いて見えることを意味する言葉で、その無数の星を学生一人一人の個 性と重ね合わせ表現し、テーマとしました。またもう一つ大きな変革にもチャレンジしました。「学生主体」をモットーとし、 本校のスケールメリットでもある"東京工科大学と日本工学院専門学校の連携"を密にした、"学生主体"の運営に挑みまし た。今までの経験をもとに、より「学生による学園イベント」として委員会発足から運営に至るまで多くのコミュニケーショ ンを重ね、取り組みました。かまた祭初日、片柳記念ホールでの開会式は、東京実業高等学校フェニックスレジメントドラム アンドビューグルコーによるオープニングアクト(演奏)に始まり、VRを駆使したアリスちゃんのMCアシスタント、千葉理 事長挨拶、青木西蒲田女塚町会長さまのご挨拶をいただき、東京工科大学実行委員長と日本工学院専門学校実行委員長 による共同開会宣言で華々しくスタートしました。片柳ホール、片柳アリーナ、セントラルプラザ、3号館エントランスなど 様々な場所で、学生たちの工夫を凝らしたイベントや模擬店が繰り広げられ、多くの来場者にもお越しいただき、楽しんで いただきました。また各科の特色を生かした成果発表や展示も行われ、見どころの多い、盛り沢山な内容となりました。著 名な皆様にもかまた祭へ駆けつけていただき、多くの刺激を与えていただきました。校友会の講演にNEWS ZERO元メ インキャスター・村尾信尚様、学生起案イベントにはSHOWROOM代表取締役社長・前田裕二様、声優・津田健次郎様など 様々な分野で活躍する方々より貴重なお話を伺うとともにエールをいただき、学生たちにとって実り多き学園祭となり、 大盛況の中で終えることが出来ました。 (第54回「かまた祭」実施本部長 声優・演劇科 科長 吉村智樹)

令和元年度 卒業証書伝達式



新型コロナウイルス感染症が拡大し始めていた2月中に、政府より発表された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえ、卒業生および保護者の皆様の安全を考慮し、令和元年度卒業証書授与式の中止を発表いたしました。 (2月28日)

卒業証書の授与は、3月17日に学科別、卒業生のみで執り行われました。3密を避けるよう、時間・場所が重ならないよう工夫をし、クラスごとに分かれ、担任の先生から卒業証書を受け取りました。盛大にお祝いをすることが出来ず残念ですが、ご卒業された学生の皆さんがめでたく卒業の日を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

この学び舎で得た知識や技術、経験や友を糧や思い出として、これから社会で大いに活躍してくださることを期待して います。

懇親会・同窓会等 紹介 ●

日本工学院専門学校では、各地で同窓会(懇親会)や講演会、見学会などを開催しております。 皆様も是非、ご参加ください。



福島県支部 懇親会



岩手県支部 懇親会





宮崎県支部 懇親会



群馬県支部 懇親会



兵庫県·香川県支部有志 忘年会



宮城県支部 学校見学会





校友会通常総会











かまた祭 校友会イベント















ITスペシャリスト科 同窓会

元学生委員会 同窓会

地区支部長会

近畿•中国•四国地区支部長会









九州·沖縄地区支部長会









キャリアサポートセンターからの報告

キャリアサポートセンターは、就職・進学 といった卒業後の進路に向けた支援をし ています。昨年は、「U·I·Jターン就職支援 協定 | を宮城・秋田・青森・福島・宮崎の各県 と締結いたしました。インターンを始め各 県の企業情報などを提供いただくなどの 連携が出来るようになりました。今春の卒





業生は学生優位な求人状況で進路決定率も高い状況でしたが、現在活動中の学生は、新型ウイルスの影響によ り、今後の希望する進路にどのように影響するかが、とても心配になってきたところであります。しかしながら、過 去の就職氷河期と言われる就職難の時代でも、本校の学生は進路をしっかりと歩むことができたという経験があ り、これは何をおいても各方面で活躍されている諸先輩方がいらっしゃるお陰と感じております。現在、卒業期の 学生達は、このような環境の中でも未来を見つめ、勉学に励みつつ活躍の場を探しております。どうぞ後輩たち のために、希望する専門分野の道が開かれますようお力添えを頂けたら幸甚です。ご求人等がございましたら、ご 一報いただけますようお願いいたします。

キャリアサポートセンター長のご挨拶



センター長 今泉 剛

校友会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年7月よりセン ター長を拝命いたしました今泉と申します。会員各位様には日頃学生支援でお世話に なっていながら、なかなかご挨拶の機会を持てずお詫び申し上げます。さて、ここ数年の 就職状況は良好な環境にありましたが、今回のコロナ禍により21年卒の就活は大混乱と なってしまいました。企業訪問もままならず、例年開催の「合同企業説明会」なども休止と なりました。そのうえ今回の状況は、今後の採用活動環境にも大きな影響を及ぼして行く ものと考えられます。こうした中、当センターも環境の変化に対応しながら学生支援に注 力して参りますので、会員各位様よりも益々のご支援をお願いできればと存じます。どう ぞ宜しくお願い申し上げます。

求人情報ご提供のお願い

当校後輩学生へのご求人、業界へのアルバイト情報が有りましたら、 下記までご連絡ください。尚、お問い合わせの際には、 当校のOB&OGである旨をお伝えください。



日本工学院専門学校 教育・学生支援部 キャリアサポートセンター担当

TEL:03-3732-5610(直通) FAX:03-3732-1123

E-Mail: job-kmt@stf.neec.ac.jp

Webからの直接求人申込(新卒対象のみ)は 当校HPより「採用企業の皆様へ」のバナーよりご入力ください。

令和2年3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方 が、定年または一身上のご都合により退 職されましたのでお知らせいたします。

氏 名	所属等(退職時)
石山 聡	八王子校 キャリアサポートセンター
多田 美紀	蒲田校 教育・学生支援部
花田 通貴	蒲田校 ミュージックカレッジ
山形 英惠	蒲田校 ミュージックカレッジ
梅澤 君枝	蒲田校 ミュージックカレッジ

永年のご指導ありがとうございました!

学校法人 片柳学園 日本工学院専門学校 教員募集のお知らせ

日本工学院専門学校では全学科にかかわる教員(正規職員·契約職員)·常勤講師·非常勤講師の募集をして おります。ぜひ、卒業生の皆様のスキルを後輩の育成にお役立て下さい。本校の教育理念にご賛同いただき、 教育に熱意のある方のご応募をお待ちしております。卒業後、実社会で経験され、身につけられた知識、技術 及び社会人として必要なマナーを活かし、教育に熱心に取り組むことができる方を希望しております。なお応 **募学科によって求めるスキル、募集資格等が異なりますので、詳細は下記のホームページをご覧下さい。**

応募学科

全カレッジ 全学科

URL: https://www.katayanagi.ac.jp/recruit/

※ホームページに掲載のない学科については下記までお問合せください。

お問い合わせ先

〒144-8655東京都大田区西蒲田5-23-22 日本工学院専門学校 教育·学生支援部 教員採用担当 宛 E-maill: wadaytk@stf.neec.ac.jp 教育·学生支援部 和田

f 校友会Facebookのご案内

校友会では、Webサイト「校友会NeT」と並行して、Facebookページを運用しています。
「会員の集い」の案内や学校行事の案内等を、写真と共に掲載しています。
また会員同士のコミュニケーションの場としてご利用いただくことにより、
懐かしい名前に出会うこともあるかもしれません。ぜひご覧ください!
(ご覧いただくには、Facebookのアカウント登録が必要です)



https://www.facebook.com/kamatakouyukai/

パソコン版





.....

スマートフォン版





日本工学院専門学校校友会ソーシャルメディアポリシー

日本工学院専門学校校友会(以下、校友会)では、 会員・準会員(学生)、教職員ならびに関係者が ソーシャルメディア(Web、blog、Facebookな ど)を利用するに当たり、以下の姿勢・行動や基本 ポリシーを守るものといたします。



基本ポリシー

- (1) 不特定多数の人が利用可能な媒体であるという事を意識し、校友会の会員・準会員(学生)、教職員、その他の第三者に対し不利益や損害を与える行為、プライバシーや財産などを侵害する行為、名誉もしくは信用を毀損する行為、権利や人権を侵害する行為、またはその恐れのある行為をしないよう注意をします。
- (2) 公序良俗に反する行為、犯罪行為または犯罪に結びつく行為、またはその恐れのある行為を行わないように注意をします。
- (3) 特定の個人や集団、または特定の思想、心情、宗教、政治等に対する誹謗中傷や差別的、排他的な発言を行いません。
- (4) 営利を目的とする行為や、宗教、政治の勧誘、またはその準備を目的とする行為は行いません。
- (5) 違法性のあるコンテンツや有害なプログラムを使用する行為、またはその恐れのある行為、誹謗・中傷・差別的表現を含む発言や投稿は行いません。
- (6) 法律、法令または条例に違反する行為、またはその恐れのある行為は行いません。
- (7) その他、校友会が不適切と判断する行為は行いません。
- (8) ソーシャルメディアにおいて発信した情報が、瞬時に伝達され、一度拡散した情報は容易には消去できないことを理解したうえで、表現や記述には細心の注意を払い情報発信を行います。

ご利用の皆様へ

- (1) 校友会公式ソーシャルメディアの利用は、利用者の責任において行われるものとし、ご利用中に発生した直接・間接の損失・損害に対し、校友会はいかなる責任も負いません。
- (2) 校友会は情報をソーシャルメディア上に掲載する際には、細心の注意を払いますが、その内容の正確性、妥当性、ご利用目的への適合性、安全性について保証するものではありません。
- (3) 校友会は、予告なしに掲載内容を変更・削除することがあります。また、予告なしにソーシャルメディア 自体の運営を中断または中止することがあります。
- (4) 校友会公式ソーシャルメディアに掲載されている情報(内容、商標、標章、ロゴマーク、画像、音声等を含む)に関する一切の著作権、商標権、その他の知的財産権は、原則、校友会に帰属します。また、無断で、私的利用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、複製等することを禁止します。
- (5) 校友会公式ソーシャルメディアのご利用に際しては、日本工学院専門学校校友会ソーシャルメディアポリシー「基本ポリシー」および「ご利用の皆様へ」を遵守しご利用くださいますようお願いいたします。

校友会Facebookのご案内

「校友会ラウンジ」利用規定

1 利用資格

- ① 日本工学院専門学校校友会会員および準会員。 ただし、準会員のみでの使用は出来ません。準会員が利用を希望する 場合は、教職員が責任者となり、一切の管理責任を負っていただきます。
- ② 校友会会員が代表者または責任者である団体・グループ。
- ③ 学校法人片柳学園の教職員。
- ④ 日本工学院専門学校校友会会長が認めた者および団体・グループ。

2 利用目的

会議、待ち合わせ、親睦会など様々な目的で使用できますが、目的によっては、校友会事務局の判断でお断りする場合があります。

ただし、利益を得ることを目的とした事業ならびに政治活動・宗教活動を伴う集会には利用できません。

3 校友会ラウンジ概要

○面積:約116m ○定員:40名

利用可能な設備:プロジェクター(パソコン・DVD接続可)、スクリーン、ホワイトボード、DVD、冷蔵庫、電気ポット、急須、湯飲茶碗。

設備の利用については、無料です。

4 利用時間

平日 10:00~17:00

学校が休みの時には、利用できません。

利用する場合は2週間前までに校友会事務局に届け、校友会事務局の承認を得なければなりません。また、校友会行事のある場合はこれを優先といたします。

上記時間以外の利用に関しては、校友会事務局にご相談願います。

5 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、校友会事務局に E-mail、FAX、郵便等でご提出願います。先着順で申し込 みを受け付けます。ただし、校友会行事等を優先とさせて いただくため、使用をお断りする場合がありますので、予め ご了承願います。

●申込用紙は校友会事務局☎03-3732-8183にご請求いただくかホームページをご覧ください。http://www.kouyukai.net/



「校友会について」より校友会ラウンジ利用規定 及び使用申込(PDF)をダウンロードしてください。

かまた題字作家紹介



本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銈介(セリザワケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校6号館東側に流れる呑川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院研友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。

芹澤 銈介 先生 略歴

明治28年(1895) 静岡市に生まれる。

大正 5 年(1916) 東京高等工業学校図案科卒業。

大正14年(1926) 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れ る。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び 柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一 転機となる。

昭和3年(1928)沖縄紅型に感銘を受ける。

昭和6年(1931)雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間 受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への 端緒となる。

昭和7年(1932) 国画会会員・川端康成「雪国 | 装幀。

昭和 9 年(1934) 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。

昭和13年(1938) 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型 の技を受ける。

昭和20年(1945) 型染めカレンダー創始。

昭和24年(1949) 女子美術大学教授となる。

昭和31年(1956) 型絵染で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。

昭和41年(1966) スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美 術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復 途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡 遊、紫綬褒章を受ける。

昭和51年(1976) 文化功労者となる。フランスの国立グラン・バレ美術館において「芹濹介展 開催。

昭和58年(1983) フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。

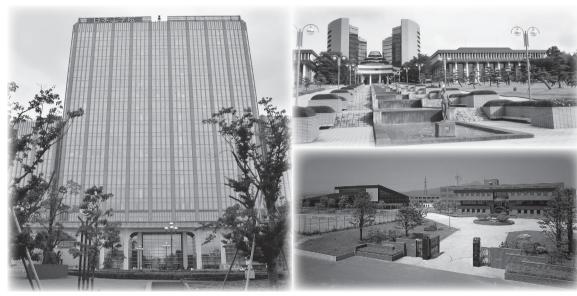
昭和59年(1984) 4月5日死去(享年89歳)。

個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の 個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ◆校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、 個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ◆会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な 手段によって収集させていただいております。得られた 個人情報は、校友会に関する目的(校友会誌「かまた」並 びに「校友会会員の集い」の案内・議事録の発送、出欠の 確認、学校法人片柳学園からのお知らせなど校友会が 認めた業務)のみで使用いたします。また、会員に対する 校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)を明示し、会員か らの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ◆校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理 し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対 する個人情報の提供は致しません。
- ◆個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者と の間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよ う義務づけを致します。
- ◆会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望 される場合には、校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp) までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ◆校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

○ 入 学 金 免 除 制 度



学校法人片柳学園の設置する学校(日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日 本工学院北海道専門学校、東京工科大学)卒業牛子女、兄弟姉妹および孫又は在校牛の兄弟 姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。

該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に出願書類と共に提出し てください。

兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教育・学生支援部へ 申請し、手続を行ってください。

※「入学金免除申請書」の受付は、2021年3月31日(水)までとします。

「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の 「各種資料請求用紙」にて請求

教育・学生支援部より 「入学金免除請求書 | を送付

必要事項を記入·押印

出願書類と共に教育・学牛支援部へ郵送



WEB

日本工学院専門学校ホームページ (www.neec.ac.jp)

画面右側、「卒業生のみなさま」

入学金免除制度説明ホームページ (www.neec.ac.ip/entry/graduate/exemption) PDFファイルにて 「入学金免除申請書」をダウンロード

必要事項を記入・押印

出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送

~会員近況メッセージ~

お元気ですか?

全国から、海外からこの1年間(2019年8月~ 2020年6月) に、校友会事務局に届いた会員の皆さ んの近況報告。

思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い 浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなで おろしたり・・・。

このコーナーが、そのような温かい出会いや思 いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。な お、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありま したことをおわびいたします。



氏名(旧姓)/住所(都道府県) 学科/期の順で表示しています。 「順不同」 ※イラストはイメージです

山川 光雄 沖縄県

雷気工学科 第19期生

日本国は今、少子化影響もあり、色々な業種で人材不足に陥って います。沖縄県は入域観光客の増加によって建築バブルになっ ています。沖縄県出身の技術者諸君、地元に戻ってきてくれ~!

田中 信夫

広島県

テレビ専門部 第11期生

家電メーカーサービスの仕事から引退して4年になります。今は畑 違いの自動車部品を製造する会社でパートとして働いています なぜなら飲み代に神楽観戦、そして毎週、汐音温泉に行く為です。 まだまだ長生きしなくては。

佐々木 吉光

青森県

公害工学科 第9期生

卒業して37年、今もその時勉強したことを活かして環境関連全般 の仕事に就かせていただいております。「その時、情熱を今も」。

渡辺 誠一

北海道

サービス技術科 第11期生

○69歳(2019.08)、人生でやり残しが無い様に心がけています。 ○学友の顔が懐かしいです。

○次回は会員の集いへ参加したいと思います。

喜多 臣洋

北海道

サービス技術科 第11期生

北海道支部会員の集い、本年(2019年)は旭川ですえ。札幌以 外も良いですえ。小生、当日に仕事についています。ご案内を感謝 申し上げます。

松本 政己

大阪府

メカトロニクス科 第2期生

自宅でささやかな鍼灸院を営んでいます。

元気で過ごしています。



田畑 諒

東京都

グラフィックデザイン科 第17期生

東京で就職し、新卒で入社した会社に今も在籍しております。 今年で4年目になります。

阿部 清司

静岡県

サービス技術部 第3期生

1950年生まれですから69歳です。現役で頑張っています。昭和 40年2号館校舎の写真を拝見して当時を振り返り、懐かしく思い 出して、何とも言えない気持ちになりました。

计野 信作

沖縄県

電子工学部 第22期生

民放退職後、総務省地デジ受信者支援センター勤務。そして NHK沖縄放送局(契約)を平成28年3月末終了。その後は毎日ト レーニングジム通いで自由な生活を!健康づくりに励んでいます。

石川 清昭

沖縄県

電子工学研究科 第24期生

九州管区警察局沖縄県情報通信部に12年間勤務。その後、沖 縄県高等学校教諭として20年勤務しています。沖縄水産高等学 校勤務です。

井上勝弘 和歌山県

電気工学科 第16期生

週末にマイボートで釣りを楽しんでいます。また若い時に楽しんだバ イクをいじって遊んでいます。



仲均(旧姓:井川) 奈良県

雷子工学科 第38期牛

10月にユースホステル研究会のOB会を実施します。 (2019.09現在)

石井 勝美 奈良県

電気工学科 第8期生

中央電力保安協会に勤めています。日本工学院専門学校での 修行を生かした資格は、必ず身を助ける糧となります。定年後から 始められました。

山形県 土屋 英男

放送技術部 第8期生

第53回かまた祭に参加して大変良かったです。又、村上憲郎さん のAIについての講義は大変参考になりました。50年ぶりで、あまり に学校も変わり、驚きました!

山崎 茉李 (旧姓:安藤)

山形県

コンサート・イベント科 第8期生

第2子妊娠中です。2020年3月に出産予定です。

谷口 靖男 大阪府

演劇俳優科 第23期生

現在、ソフトウェア会社の事務職として働いています。現会社は営 業職として転勤で全国を回り、実家の近くの大阪に住んでいます。

濱野 準一 埼玉県 雷子工学科 第46期牛

平成31年1月に再独立しました。今は農業オートメーションのIT設 計をしています。これとは別に電検3種の資格を取る勉強も始めま した。

小野寺 徹 岩手県

情報処理科 第18期生

現在、出身地にて建築業と不動産業の会社で社長をしております。

埼玉県 大宮 修

テレビ専門部 第17期生

時代は4K、8Kへ。真空管の白黒テレビ、実習でよく修理していました。

大川 義明 山形県

情報技術科 第10期生

リタイヤして田舎で静かにしています。 同期会みたいなものがあれば参加したいです。

蔦垣 春雄

長野県

雷気工学科 第2期牛

現在、マンション管理会社で働いています。68才になりましたが元 気で頑張って過ごしたいです。同期生の方々「かまた」誌で会える よう近況投稿をお願いします。次号を楽しみに待ちます。

塩田 栄

千葉県

電子工学研究科 第27期生

転職して1年半、霞が関でお手伝いをさせていただいています。 加えて、いとこの子供が八王子校でお世話になっています。

高良 武紀

岡山県

医用電子工学科 第2期生

看護師免許をとって10年経ちます。 今では色々でき、ベテランの分野で 頑張って働いています。日本工学院 時代が懐かしいです。



井口 幸雄

長野県

情報処理科 第23期生

卒業して40年。振り返ると「あっと言う間 | にNTTの定年を迎えま した。同期の皆さん、お元気ですか? 久しぶりに会いたいですえ。 おじんやおばんになった姿を見てみたいです。私は高校野球の審 判をやりながら若者を装っています。

酒井 紀子

長野県

情報処理科 第26期生

卒業して36年・・・今年初めて支部会に参加してみようと思います。

土屋 晴夫

長野県

サービス技術科 第11期生

SD11期の皆様、卒業50周年カウントダウンします。 2・・1・・0 (2022年3月) 記念式典を計画しましょうか? 浅井 茂

長野県

サービス技術科 第32期生

電気と介護の接点を模索しながら日々行っています。 みんな元気かな?

和田 修一

大阪府

電子工学研究科 第22期生

高知県で20年間、鮪・鰹の釣り、遊びをして高知の校友会に参加 していましたが、後期高齢者に成り、平成7年に、また大阪の古巣 に帰ってきました。高知では髙野支部長(事務局注※現副支部 長)や皆さんにお世話になり、土佐特有のおもてなし宴会を楽しん で来ました。2019年9月28日の大阪の会合に出席したいです。

片桐 豊一

長野県

雷子工学科 第26期牛

会社を退職し、家庭菜園を楽しんでいます。 今後とも宜しくお願い申し上げます。



井原 健治

長野県

電子工学部 第18期生

45年間メーカーサービス会社に勤務して、6年前退職しました。「か また祭 | も私の時は3~4回目でした。2m四方もある超大型(当時 は最新型)コンピュータによる占い(相性診断)が大人気でした。懐 かしいです!

星月 征男

愛知県

電子工学部 第18期生

「潰れない学園を創る」の"蒲田の片柳精神"。現役時代にお目 にかかった際に片柳創立者先生は、お答えになりました。まさに名 言であると感銘を受けました。混沌とした国内外を見るにつけ、未 来を先取りされた人財育成・実践教育と学園経営が今、見事に 開花。我が母校の未来永劫であることを、確信しました。片柳先生 の"蒲田の片柳精神"が我が75歳の肉体に根付くことを改めて 座右の銘にしています。

菊池 瞭汰

東京都

電子・電気科 第10期生

昨年から異動に伴い大手町で保守管理のお仕事をしています 今年で2年目になりましたが、まだまだ勉強することが沢山あり、忙 しい毎日を送っています。

堀上 剛

情報処理科 第33期生

会社人生も残り少なくなりました。下の子供(娘)も受験生。工学 院関連の大学には希望する学科が無く、残念ですが、別の学校 を受験の予定。当時の先生方は引退されてもお元気でしょうか? 蒲田もだいぶ様変わりして大きく発展されているようですね。機会 があったら、訪問してみたいです。

酒匂 政博

鹿児島県

東京都

放送制作芸術科 第4期生

来年で還暦をむかえます。4BNの皆さん、お元気でしょうか?

平井 康美

北海道

公害工学科 第9期生

来年で定年の年齢を迎えます。卒業後ずっと環境分析の仕事を しています。校友会で北海道支部の支部長を務めています。同じ 学科の卒業生とお会いできるのを楽しみにしております。

寺下 正夫

兵庫県 立体製図科 第12期生

良い時代に皆さんと学べたことが大切な思い

出です! バイクで一緒に遊んだ皆、お元気で しょうか? 僕は今も乗っていますよ!



石黒 一博

新潟県

情報処理科 第28期生

製造部の責任者として毎日が戦いです。

吉田 茂夫

新潟県 電子工学科 第40期生

60歳再雇用でまだ働いています。

長谷川 勝雄

新潟県 電気工学科 第16期生

2019年7月定年退職しました。今後は専業農家をやります。 現在孫3人です。

川村 孝

新潟県 情報処理科 第23期牛

2019年6月に、寮で一緒だった先輩(岡村さん)と電話で話しまし た。久しぶりでした。いつか会えればと思います。

~会員近況メッセージ~ お元気ですか? 73

袖山 恵子 (旧姓:小林)

新潟県

情報処理科 第30期生

子供3人とも各々社会人になり一安心です。親になり、両親の大変さが身にしみます。本当に感謝です。

石田 辰雄

新潟県

放送技術部 第1期生

令和元年9月9日の台風15号が関東を通過、大きな被害が出ました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。私も昭和34年、伊勢湾台風の時に蒲田寮にお世話になっていましたが、蒲田の寮が腰のあたりまで水が上がり、別の下宿に移動した事を思い出したところです。

三ヶ田 美香子 (旧姓:阿部)

秋田県

情報処理科 第28期生

10年前にパソコン教室の運営をやめ、現在は全く畑違いのワイン 製造を行っております。なかなか参加できずにおりますが、地元秋 田のブドウでワインを作っていますので、よろしくお願い致します。 いつか参加したいです!



原田 さやか

秋田県

声優·俳優科 第39期生

地元就職ですが、行事ではよく司会を任せられ、工学院で学んだ事を生かせています。

解良 信介

埼玉県

映像デザイン美術科 第1期生

昨日、片柳鴻前理事長の学園葬に出席し、献花して参りました。 思い起こせば40年前、当時大学の建築学科に落ちまくり、挫折感 たっぷりで、日本電子工学院のパンフレットを取り寄せました。芸術 への興味もありましたので、できたばかりの映像デザイン美術科へ 1期生として入学。プレハブ校舎でしたが、楽しい2年間でした。画 家でもあった加藤正先生の勧めで建築写真の世界に飛び込み 今年で42年、まさに天職を得た感があります。

最近ではTVで流れる工学院のCMに「こんな学校に入りたい!」と 小三の孫が叫んでいます。益々のご発展を祈ります。

いつも創立者片柳先生の表紙絵とエピソードを楽しみにしています。

清水 順一郎

兵庫県

電子計算機部 ソフトウェア科 第6期生

気付けば71歳、リタイヤ後6年。今、生涯学習大学で漢字学、市の 生涯学習講座で歴史・他の講座等で暇を持て余すことなく、頭を 働かせています。

松浦 慎悟

兵庫県

電子工学科 第40期生

60歳となりましたが、シニアとして頑張ります。蒲田は出張先の滞在先としてお世話になっています。

大多和 尚子(旧姓:和泉)

石川県

情報処理科 第32期生

娘が東京工科大学の医療保健学部看護学科に合格し、2019年の4月から初めての1人暮らしをしながら勉強を頑張っています。今から看護師になる娘を楽しみに、親として見守っています。

本田 隆

新潟県

放送技術部 第6期生

喜寿を越えて、自治会老人サークルに、そしてカラオケを、ネットで機器を集め、YouTubeの動画カラオケなど、テレビにマイクでボケ防止? と日夜唄っている今です。



田代 總幸

新潟県

放送技術部 第10期生

年々歳々昭和遠のき、はや77歳と成り、余命楽しんでおります。 蕎麦打ちの同好会・実演会をやっています。

渡邉 秀彦

新潟県

公害工学科 第4期生

かまた寮の仲間と4年に1回、4人で集まり、旅行をしています。 来年は西伊豆を旅行する予定です。

須貝 徳夫

新潟県

テレビ放送技術科 第33期生

出張時、母校周辺を散策。発展していて嬉しい限りです。

佐藤 順

新潟県 放送技術部 第14期生

70歳から村上市瀬波温泉で旅館業を始めました。「木もれびの宿ゆのか」です。楽天かじゃらんでご覧ください。

林 降信

長野県

情報処理科 第22期生

2019年3月に半導体製造・販売会社を定年退職致しました。現在、 県の出先機関で臨時職員として働いています。同期の皆さん元 気ですか?

足立 隆男 (旧姓:山本)

静岡県

電子計算機部 ソフトウェア科 第6期生

現在70歳、体の要所要所に故障を抱えながらも2反5畝の稲作と 少々の野菜作りをしながら余生を送っています。

山本 惇

静岡県

放送技術部 第12期生

13年前、40年間勤務した航空計器会社 技術部を定年退職し、現在は地元のおもちゃ図書館で、トイドクターとしておもちゃの修理を行っています。

相川 正吉

静岡県

東京都

公害工学科 第3期生

かまた祭実行委員会渉外部の仲間は元気ですか。共に苦労をした実行委員会メンバーの皆さんも元気ですか。その苦労も今は良き思い出です。

金指 くるみ

ダンスパフォーマンス科 第8期生

ダンスインストラクターとして働いています。中国へダンス講師アシス タントとして同行したり、貴校での体験講師としても活動し、大好き なダンスを仕事にできて幸せです。貴校でダンスを学べて良かった です。

河合 正彦

静岡県

音響工学科 第4期生

校友会誌に日吉寮で一緒に過ごした仲間が出ていないか楽しみ に見ています。もう30年も前の話です。

遠藤 重義

電子工学部 第20期生

静岡県

卒業後40年間、総合電気メーカーに勤務し、60歳で定年退職。それから11年間、無線・電子工作・旅行と楽しんで来ました。現在は家庭菜園を中心にのんびりやってます。地域の行事も多く充実しています。

池田 義雄

静岡県

環境工学科 第10期生

建築士を取得し住宅の検査をしていますが、省エネルギーなど環境のことはいつも忘れないです。

石川 欣正

福島県 サービス技術科 第21期生

この間、40年ぶりに蒲田・川崎へ行ってきました。あまりにも都会になり過ぎて迷子になりそうでした。時代は変わっているんだとつくづく感じて帰って来ました。

瀧本 喜八郎

岡山県

電子工学科 第25期生

多摩川寮208号、舎監は佐々木先生、舎監室でバイトしてました。 同期・寮のみなさんどうしてますか? 懐かしい! 連絡ください。

深川 裕明

福岡県電子工学科 第40期生

今年40年ぶりに学校を見に行きました。もう昔の面影はありません

でしたが、大きな学校になっているんですね。

菰田 隆行

放送制作芸術科 第5期生

放芸5期の仲間で今年2回集まりを持ちました。懐かしい想い出話 と、これからの老後の心配の話に花が咲き(?)ました(笑)。私を覚 えている方、仲間に加わりませんか? 連絡をお待ちしてます。

南 綾香

福岡県

福岡県

福岡県

マンガ・アニメーション科 第9期生

コミックジーンで「ブロードキャスト」連載中。(関東在住です)

堤 愛子 (旧姓:中山)

音響芸術科 第13期生

娘が高校受験真っ只中です。高校卒業後は私の後輩になり、私 と同じ寮に入ってみたいと申してます。…が、娘よ、あの頃と校舎 が全く違うぞ。母校感薄めだけど誇らしいものです。

愛媛県 大西 俊雄

電気工学科 第15期生

2018年11月、蒲田キャンパスを見学しました。地下から地上20階 までスケールの大きさに驚きました。また機会をみて行ってみたい です。

田村 元一 神奈川県 公害工学科 第6期生

2019年に定年を迎え、現在、再雇用社員として頑張ってますよ。 当時のユースホステル研究会の皆さん、お元気ですか?

渡辺 一雄 東京都 放送制作芸術科 第5期生

今後の社会はロボットが世の中の産業を革命すると言われていま す。AIシステム科の新設は、母校が本格的なAIの最先端校となる ことに期待しています。

下里 由香(旧姓:上田) 東京都 音響芸術科 第4期生

NHKサービスセンターを退職後、医療事務 の仕事をしています。休日はアマチュアオー ケストラでコントラバスを演奏しています。 今年(2019年)6月にはドイツで演奏して来 ました。公私共に忙しい日々を送っています。



新堀 裕美子(旧姓:和泉) 神奈川県

情報処理科 第29期生

息子が同じ専門学校を卒業し、東京工科大学へ入学し、娘も 2019年、東京工科大学へ入学。お世話になっています。

佐和 恵美 茨城県

俳優・声優科 第31期牛

昨年、登録販売者の資格を取得しました。2020年には一人前の お薬担当者として働くことになりました。人のお役に立つ仕事をし たくて早数年…もうすぐ夢が叶います。楽しみです。

秋田 秀雄 茨城県

サービス技術科 第30期生

現在、自分は農業を頑張っています。長男も姉妹校である東京工 科大学を2年前に卒業し、一人暮らしをしながら医薬品卸売の仕 事を頑張ってくれています。

髙栖 政勝 茨城県

電気工学科 第10期生

2019年10月、東京ガス墓張ビルにて環境保全・建物管理を業 務として、近隣の建物の皆さんと来年のオリンピック・パラリンピック (幕張メッセ会場)の盛り上げを実行委員会に協力しています。

望月 幸昌

静岡県

公害工学科 第4期牛

卒業して42年経ちますが、かまた寮の友人と親交があり、お茶とみ かんを新潟と山梨に送っています。新米と酒、ぶどうと桃が届きま す。来年は静岡に来てもらう予定です。

尾崎 征史

静岡県

医用工学科 第7期生

卒業して28年が過ぎました。30年を記念してまた鈴木みゆき先生 を交えて会いたいですね。

今野 沙織

東京都

演劇俳優科 第27期生

東京で舞台を続けています。



上野 德三

鹿児島県

家電電子技術科 第33期生

現在、海上自衛隊鹿屋航空基地内にてボイラーや空調設備を含 む、建物の設備管理業務の仕事をしています。還暦を過ぎました が、大学生の息子と娘がいるので、まだまだ頑張りたいと思います。

井口 郁生

鹿児島県

環境工学科 第10期生

昨年、孫が生まれ爺さんになりました。25歳で起業した会社も創業 30年を超え、この辺りでいいかなって思い、ヨットを購入。数年後の 日本一周に向けて準備中です。寄港先で同窓生に会えたら嬉し いですネ。百名山もトライ中です。

中野 康樹

群馬県

テレビ放送技術科 第32期生

昨年、息子が蒲田校に入学しました。来年は早卒業です。 (2019年11月現在)

布施 雅彦

宮城県

臨床工学専攻科 第7期生

小児総合病院に務め、体外循環を頑張っています。

先崎 広

東京都

臨床工学科 第21期生

学校(日本工学院)の先輩のおかげで今の自分があります。 卒業生が多く、非常にありがたいです。

相築 裕

東京都

放送制作芸術科 第1期生

タクシードライバー歴15年目突入! その傍らタレント事務所に所属し て5年目に入りました。CM・再現ドラマ等に出演しております。

渡辺 昭一

有線通信工学科 第3期生

福島県

約40年前、有線通信工学を学び、卒業後、電電公社へ入社、以 来一貫してネットワーク業務に従事、工学院で学んだ技術が私の 仕事の原点となりました。

松本 英明

沖縄県

雷子工学科 第44期牛

卒業してから37年、医療機器の修理・営業を続けております。同じ クラスだった皆さん、お元気ですか。

新井 司

神奈川県

電子工学科 第41期生

一昨年、定年となりましたが、元気に嘱託職員として働いています

渡部 一也さん 平成 2 年 情報技術科 22期卒業 平成30年12月7日

稲葉 佐知仁さん 昭和54年 サービス技術科 25期卒業 平成29年3月14日

太田 ちずるさん 昭和61年 情報処理科 29期卒業 平成22年3月9日

大野 富数さん 昭和46年 配譜 (製が) 日本 6 期卒業 平成29年10月1日

大槻 光雄さん 昭和52年 電子工学科 36期卒業 平成29年12月2日

河野 忠さん 昭和50年 テレビ放送技術科 25期卒業 令和元年9月25日

柳田 泰さん 平成 4 年 電子工学科 53期卒業 平成27年5月10日

石川 三春さん 昭和55年 電子工学科 41期卒業 平成26年3月20日

白石 裕さん 昭和50年 電子工学科 32期卒業 平成26年1月29日

和田 治光さん 昭和55年 テレビ放送技術科 30期卒業 平成30年8月8日

町田 勇さん 昭和45年 配舗 御パカコース 5 期卒業 平成30年5月20日

田中 哲夫さん 平成元年 情報処理科 32期卒業 平成28年5月25日

田胡 宏之さん 平成26年 情報処理科 51期卒業 平成26年10月31日

大角 秀雄さん 昭和51年 電子工学科 34期卒業 平成26年12月20日

藤原 英理花さん 平成18年 放送メディア科 30期卒業 平成31年3月23日

吉田 雄貴さん 平成13年 土木建設科 4 期卒業 平成27年1月11日

安藤 秀孝さん 昭和58年 電子工学科 44期卒業 平成24年12月 岡部 豊貴夫さん 昭和55年 が送制作芸術科 4 期卒業 平成30年5月20日

安藤 則幸さん 昭和57年 情報処理科 25期卒業 平成16年2月

加藤 正幸さん 平成元年 放送制作芸術科 13期卒業 平成30年7月

松本 寿浩さん 昭和59年 テレビ放送技術科 34期卒業

牛久 広之さん 平成25年 ツエイテイラネテリー科 3 期卒業 平成26年11月

中村 英郎さん 昭和60年 電子工学科 46期卒業 平成30年9月

加藤 義則さん 昭和50年 情報処理科 15期卒業 平成28年

会員からのお便りでした! これからもたくさんのお便りお待ちしております!

心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

重廣 忠雄さん 昭和31年 研究科 11期卒業 令和元年6月15日 新田 尚さん 昭和58年 サービス技術科 29期卒業 平成26年

千葉 享良さん 昭和52年 電子工学科 36期卒業

新城 治さん 昭和48年 雷子工学科 29期卒業 平成31年2月13日 青田 國男さん 昭和48年 電子工学科 29期卒業 平成31年3月25日

河本 吉裕さん 昭和57年 情報処理科 25期卒業 令和元年

今 良寿さん 昭和42年 放送技術部 16期卒業

平山 幸治さん 昭和55年 放送制作芸術科 4 期卒業 平成31年正月 川原 康廷さん 昭和54年 電子工学科 40期卒業 平成31年1月30日

大矢 久美子さん 昭和56年 情報処理科 24期卒業 平成31年1月19日 細貝 信介さん 昭和54年 テレビ放送技術科 29期卒業

後藤 泰さん 昭和59年 電気工事科 11期卒業 平成31年1月

山口 春雄さん 昭和47年 ソフトウェア科1年制 10期卒業 川越 亮祐さん 平成12年 放送メディア科 24期卒業 平成23年

鶴田 昭男さん 昭和57年 電子工学科 43期卒業

小林 正夫さん 昭和52年 電気工学科 12期卒業 皆川 秀夫さん 昭和56年 電気工学科 18期卒業

田宮 淳一さん 昭和59年 情報処理科 27期卒業 令和元年5月9日

佐藤 豊さん 昭和55年 情報処理科 23期卒業 20年ほど前

浦木 静也さん 昭和63年 音響工学科 6 期卒業 平成27年9月10日 小林 稔さん 昭和63年 情報処理科 31期卒業 平成28年1月

柳川 英雄さん 昭和52年 電気工学研究科 14期卒業 平成30年7月1日

学校法人 片柳学園 日本工学院専門学校 校友会誌

校友会事務局 大两/栗原

お問い 合わせ

令和2年7月31日発行

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL, 03-3732-8183 FAX, 03-3732-1576 校友会ホームページ http://www.kouyukai.net メールアドレス koyukai@stf.neec.ac.jp

~会員近況メッセージ~ お元気ですか?

VISATEURSJEIS 在会費割 のご乗れ

三井住友トラストVISAゴールドカード

通常年会費 11,000 円(税込)が

ロードサービスVISAゴールドカード

通常年会費 12.100 円(税込)が

2年目以降も年会費割引は継続します

新規ご入会キャンペーン・新規入会プレゼント実施中!!

詳しくは同封のチラシをご覧ください

皆様のお申込みをお待ちしております

三井住友信託銀行グループ 三井住友トラスト・カード



'女子会」「ゴルフコンペ」

"ホテルメトロポリタンエドモント"さんを学校にお呼びしたり、お店を特別に貸し切っていただいたり と、ビュッフェスタイルで開催された「女子会やります!! |。

小春日和に、熱海市街や海を眺めながらのラウンドとなった「ゴルフコンペー。 「会員の皆様に、より楽しんでいただける企画を!!と始まった新イベントをご紹介いたします!

|女子会||第1弾 4月28日(日) 開催 ||蒲田キャンパス3号館12階 学生ラウンジにて



第2弾 11月10日(日)開催 品川プリンスホテル カフェ・レストラン24にて



「ゴルフコンペ」第1弾 12月15日 (日) 開催 西熱海ゴルフコースにて



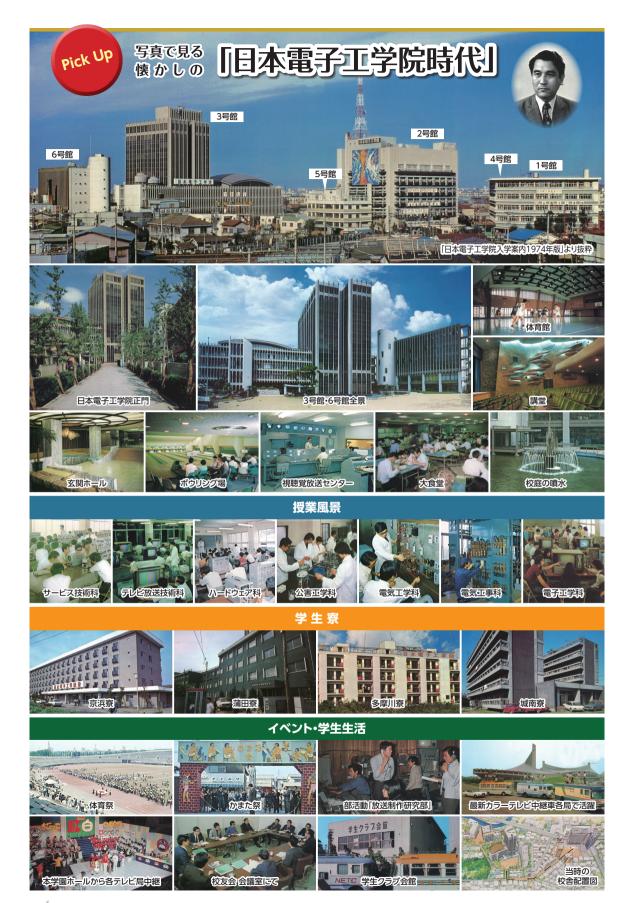
て子会第3弾やゴルフコンペだけではなく、 今後も新しいイベントを企画していきますので、ぜ ひご参加ください!! 随時アップしますのでチェック していてくださいね♪

日本工学院専門学校



日本工学院専門学校





日本工学院の

再入学優遇制度」

日本工学院を卒業後、本校の他学科に再入学をする場合、 入学金を免除し、また学費も減免いたします。

日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校の2年制学科以上の学科を卒業または卒業 見込みの方が、本校の他学科へ再入学を希望する際、入学選考料・入学金の免除および授業料 等の減免をする制度です。

日本工学院は、2つの学科の専門知識・技術を習得することで、将来の活躍の幅を広げたい方を 応援します。

たとえば…

スポーツトレーナー科で トレーナーのスキルを習得



鍼灸科ではり師・

鍼灸治療もできるトレーナーとして、 アスリートを支えることが可能!



対象者 日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校2年制学科以上の卒業生、 または当該年度卒業見込みの学生

条 件 希望する学科の定員に余裕がある場合に限ります

再入学優遇制度内容

全額免除 選者料

全額免除 入学金

※ 半期ごとに申請・審査をして決定します

- 在学中半期ごとに15万円減免(年間最大30万円)
- *「若きつくりびと奨学金制度」「片柳学園入学金免除制度」「留学生奨学金制度」との併用はできません
- *金額については、再入学年度用募集要項をご参照ください

問い合わせ先

授業料

日本工学院専門学校 教育·学生支援部 ☎ 03-3732-1111(代) 日本工学院八王子専門学校 教育·学生支援部 ☎ 042-637-3111(代)

写真で見る 懐かしの「日本電子工学院時代」 「再入学優遇制度」のお知らせ 87

「教育訓練給付金」のお知らせ (授業料 最大70%給付)

「教育訓練給付金」とは、労働者が自ら受講費用を負担して一定の教育訓練を受けた場合に、 厚生労働省がその費用の一部を支給するもの。

日本工学院では、資格試験の受験率・合格率、就職・在職率などの基準を満たしたとして、 現在下記の学科・コースが認定されています。

あなたのキャリアアップを国が支援する制度を、ぜひご活用ください。

日本工学院専門学校				
情報ビジネス科 秘書・事務コース	機械設計科			
電子・電気科 電気工学コース				
日本工学院	八王子専門学校			
放送芸術科 カメラマンコース	情報ビジネス科			
放送芸術科 映像編集コース	ロボット科			
放送芸術科 制作コース	電子・電気科 電気工学コース			
放送芸術科 美術コース	電子・電気科 電気工事コース			
放送芸術科 音声コース	土木•造園科			
放送芸術科 照明コース	鍼灸科			

支給対象

受講開始前までに通算2年以上の雇用保険の被保険者期間のある方 (これまで教育訓練を受けたことがある方には別の条件があります)

支給内容(専門実践教育訓練)

支給額上限=40万円/年(受講後1年以内に資格取得をし、就職した場合56万円/年) **支給期間**=原則2年(資格につながる場合は最長3年)

申請方法等 詳細は

厚生労働省ホームページ(教育訓練給付制度について)または、 ハローワークインターネットサービス(教育訓練給付)をご覧ください。

https://www.neec.ac.jp/

日本工学院は、社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が 困難な学生に対し、返済不要の奨学金(6タイプ)を給付します。 ※対象:2021年度入学生

	プラン	対象者	給付額	定員	審査	採用試験(二次審査)日 (申請受付期間)
新	成績優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・高等学校の評定平均値4.0以上の方 ・高等学校3年間の欠席日数が7日以内の方 ・高等学校0先生の推薦のある方	50 万円	100 名		受験場所: 入学希望校 8/17 周
平者 (2021年38年)	課外活動 優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・課外活動における優秀な成績を修めた方 (次の3~3の)すれか) ・高等学校文化連盟や体育連盟等所属のクラブ 活動の大会で所定の成績を修めた方 (高等学校が①相当以上と認める大会等で優秀 な成績を修めた方 (3本校主催のコンテスト等で上位に入選した方 ・ 出席良好の方 ・ 高等学校の先生の推薦のある方	2年次前期20万円 ※4 2年次後期10万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※4	100 名		(2020 7/6~30) **6 (37文度與字金 圖字生精語主 在除く 9/12 金 **7 (8/17~9/3 圖字生精語生 は 9/1~2)
ー年以内の方	資格 特待生	次のすべてを満たす方 ・本校所定の資格を1つ以上取得した方 (実用英語技能検定2級以上、実用数学技 能検定準1級以上、日本漢字能力検定2級以 上、TOEIC400点以上、その他工業系資格、 IT系資格、商業系資格ほか※2) ・出席良好の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	10万円 1年次後期 採用試験結果により給付額を 決定します	100 名	一次審查●書類審查二次審查●筆記試験(一般常護・小論文)	10/17 生 (10/1~8) 留学生特待生 を除く
業見込みの方)向け	就学支援 奨学金	次のすべてを満たす方 ・高等学校の評定平均値3.5以上の方 ・出席良好の方 ・日本学生支援機構奨学金(貸与型)予約 採用者(予約申込中の方も含む)で世帯 年収450万円以下の方 ・高等学校の校長先生の推薦のある方	1年次後期20万円 1年次後期20万円 **3 2年次前期10万円 1年次後期20万円 **3 2年次前期22万円	100 名	●面接試験	10/19~11/5 图学生精倍生 は10/19~11/3 1/23年 (12/17~20211/14 图学生精倍生 は12/17~1/12) 2/13年
既卒者前	再進学 特待生 ^{再チャレンジ応援 学び直し優遇制度}	高等学校を卒業した方 本校以外の専門学校を卒業した方 短期大学を卒業した方 大学を卒業した方 社会人の方	30 万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※4 10 万円 1年次後期 採用試験結果により給付額を決定します	100 名		1/22~2/4 留学生精特生は1/22~2/2) 受験場所:本校以外※8 留学生特待生を除く 9/5生 6日
图学出前	留学生 特待生	● 日本語学校に在籍し出席率90%以上で、かつ次の①~⑤のいずれかに該当する方 ● 日本語学校在籍者以外で、次の①~④のいずれかに該当する方 ①日本語学社試験1級(N1)合格者 ②日本智学試験(EJU)260点以上取得者 ③BJTビジネス日本語能力テスト(JLRT)で480点以上取得者 ④国内あるいは外国の大学を卒業した方(学士取得者) シ上記と同等の能力があると、日本語学校の校長先生が認める方	36万円 1年次後期20万円 2年次前期16万円 ※4	100 名	一次審査 ●書類審査 二次審査 二次審査 ●筆記試験 (日本簡能力・作文) ●面接試験	(2020 7/20~8/19) 11/21 ± 22 = (10/26~11/13)

- 高等学校卒業者、文部科学省高校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校3年以上修了者、本校校長が認める学校を卒業した方。
- ※2 その他の資格は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。 ※3 就学支援奨学金に採用された方は、初年度学費の分納(月払い)が選択できます
- ※4 2年次の給付可否は、入学後の各学期での学業成績(上位3/4以上・出席良好)等による継続判定のうえ決定します。
 - ●学業・人物ともに優秀な方を対象とします。 ●奨学金給付審査料は無料です。ただし、推薦入学、一般入学、AO入学の選考料は、 二年制学科 20,000 円、三・四年制学科 25,000 円です。
 - ●採用試験結果により採用・不採用を決定します。 ●給付方法は、学費納入金からの減額です。

- ※6 AO 入試エントリーの方のみ対象。 ※7 AO 入試エントリーの方、既卒の方および留学生のみ対象。 ※8 開催地は「若きつくりびと奨学金要項」をご覧ください。
- ●休学または退学等をする場合は、給付額を返還していただきます。 ●本校の他の特待生制度および再入学優遇制度との併用(併給)はできません。片柳学園入
- 学金免除制度、日本学生支援機構の奨学金制度や民間団体等との併給は可能です(「就学支 援奨学金」のみ日本学生支援機構の給付奨学金との併給はできません)。
- ●申請方法・その他の詳細は、「若きつくりびと奨学金要項」でご確認ください。

200 0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジーカレッジ スポーツ・医療カレッジ

奨学金要項 のご請求は、 左記フリーダイヤル

苦きつくりびと